

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
500 栽培			
510 生理・生態, 土壌・肥料, 農業気象など			
511 発生・形態			
有馬 進・芝山秀次郎	1998	パイプモデルを応用したサツマイモ根系形成経過の解析.	海と台地 8: 39-42.
江口 壽彦	2003	空気中でのサツマイモの塊根形成 — 葉数および根径の異なる植物について.	根の研究 12(4): 209. (講要)
江口 壽彦・吉田 敏	2007	(P-4) サツマイモ根に施用したスクロースおよびサイトカイニンが塊根形成に及ぼす影響.	根の研究 16(2): 77. (講要)
伊東秀夫	1946	甘藷に塊根と章魚脚と細根がどうして出来るか.	農及園 21(3): 112-114.
伊東秀夫・土屋四郎・森田義彦・林隆之助・鈴木耕三	1948	甘藷の塊根形成に関する研究 第4篇 塊根発達過程の研究.	園学雑 17(3-4): 146-159.
伊藤 潔	1946	甘藷の塊根形成に関する基礎的研究.	園学雑 16(1-2): 33-52.
伊藤 潔	1947	甘藷の塊根形成に関する基礎的研究 第2報 頸の肥大に関する調査.	園学雑 16(3-4): 192-194.
伊藤 潔	1947	甘藷の塊根形成に関する基礎的研究 第3報 不定根の第二次根(側根)の塊根化に関する調査.	園学雑 16(3-4): 195-196.
井浦 徳	1969	甘藷品種の塊根における萌芽原基の形成発達に関する研究. (甘藷の萌芽性に関する研究 第6報)	九州農試彙報 14(3): 247-272.
川崎通夫・松田智明・上野 修・中村保典・新田洋司	1998	サツマイモ塊根におけるデンプンの合成と蓄積に関する形態学的・免疫細胞化学的研究.	日作関東支報 13: 74-75. (講要)
川崎通夫	2008	イモ類作物における貯蔵性栄養器官の成立に関する機能形態学的研究.	作物学会講要集 225: 390-393. (講要)
古城坤三	1960	甘藷の塊根生成機構に於ける諸葉の意義について (第1報) 諸葉の形状と塊根.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (6), pp.12-
国分禎二	1974	カンショ塊根の肥大. (作物の形態と機能 11)	農業技術 29(2): 53-58.
Kokubu, T., Murata, T. and Endo, F.	1982	Anatomical observations on the fertilization and embryogenesis in sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	Japan J. Breeding 32(3): 239-246.
小巻克巳	2010	“章の概説. 節の概説. (1) 植物学的分類.”, 1 分類, 起源, I サツマイモの起源と伝播, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.29-31.
Kono, Y. and Mizoguchi, T.	1982	The origin of root periderm in the sweet potato plant, <i>Ipomoea batatas</i> Lam.	Jpn. J. Crop. Sci. 51(4): 535-541.
熊谷 亨	2010	“エ 花・種子.”, (1) 形態, 1 形態・生理・生態, II サツマイモの特性, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, p.68.
松村任三	1889	解剖上甘藷根造構を説く. 第二版圖入り.	植雑 3(24): 37-43.
三澤武雄	1941	芋類の根群に関する研究.	農業世界 36(2): 77-
村田達郎・松田 靖	2003	サツマイモ (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.) の受精から胚発生過程と低稔実性との関連における組織学的研究.	育種学研究 5(1): 1-23.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
中島哲夫・川上雄三	1969	サツマイモの根における不定芽の分化について.	日作紀 38(3): 447-453.
中野明正・杉本和之	2003	こんな根どうだ根 第8回サツマイモ.	根の研究 12(4): 169.
中谷 誠	2010	“章の概説. 節の概説. (1) 形態 ([2]のエ)を除く). (2) 生理・生態. [16]を除く”, 1 形態・生理・生態, II サツマイモの特性, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.59-83.
二井内清之	1950	甘藷の根芽の形成について 1. 形成の機構 (第1報).	島根農専研報 1: 13-23.
小倉 謙	1945	甘藷の塊根形成に関する解剖學的考察.	農及園 20(8,9): 331-334., 381-383.
小倉 謙	1945	甘藷の塊根形成に関する解剖學的考察.	農及園 20(9): 381-383.
坂本 敏	2004	“IV 開花と結実. ”, サツマイモの起源と特性, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.50-56.
関 功介・鈴木伸秀・長谷川 孝・千脇真澄・武長 宏・坂田洋一・田中重雄	2001	(2Bp-10) サツマイモ毛状根を用いた塊根形成過程の解析.	第19回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム(東京)
杉山直儀	1948	甘藷の塊根形に関する研究.	沖縄農業 (與儀農事試) 2(5):
杉山直儀	1948	甘藷の塊根形に関する研究.	沖縄農業 (與儀農事試) 2(6):
Tanaka, M., Yoshinaga, M., Nakazawa, Y. and Nakatani, M.	2001	(009) Studies on storage root formation process of sweet potato using storage root formation suppressed mutant.	Plant & Cell Physiol. 42(suppl.): s34. (abs)
Teramura, T.	1979	Phylogenetic study of <i>Ipomoea</i> species in the section <i>Batatas</i> .	Mem. Coll. Agr. Kyoto Univ. 114: 29-48.
土屋哲郎・松田智明・長南信雄	1993	ジャガイモ塊茎における維管束の分布と連絡およびその組織内デンプン蓄積との関係.	日作紀 62(2): 172-182.
津久井重紀夫	1991	さつまいもの葉と柄.	いも類振興情報 28: 13-16.
渡邊清彦	1939	甘藷の花に就いて.	日作紀 11(1): 135-146.
山下正隆	2002	サツマイモにおける根系の形成とその分布特性.	根の研究 11(3): 119-124.
保井コノ	1946	サツマイモの葉による再生現象, 特に其發蕾との關係に就て.	遺伝学雑誌 21(3-4): 36-37.
吉村泰幸・窪田文武	2000	格子交差法によるサツマイモ個葉の葉脈長の推定.	日作紀 69(1): 92-94.

512 生理・生態			
安達克樹	2010	“16) 窒素固定. “, (2) 生理・生態, 1 形態・生理・生態, II サツマイモの特性, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編). Application of gas-phase oxygen	いも類振興会, 東京, pp.83-84.
Agarie, S., Morokuma, M., Uchida, H., Kubota, F. and Agata, W.	1994	electrode to the measurement of photosynthetic potential in <i>Ipomoea batatas</i> leaves	J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 38(3-4): 225-230.
縣 和一・箱山 晋	1991	サツマイモの光合成速度および葉面積生産速度の品種間差並びに品種育成過程における変化.	九大農學藝誌 46(1-2): 23-31.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
相見靈三・西尾隆雄	1956	甘藷に於ける澱粉の形成と蓄積に関する細胞生理的研究.	日作紀 24(3): 201-206.
青木常盤	1942	藪苗増産の研究 主として甘藷塊に於ける萌芽抑止物質の機轉に就いて. 第一部 甘藷塊根に於ける萌芽部位の移動.	日作紀 14(1): 79-90.
青木常盤	1943	藪苗増産の研究 主として甘藷塊根に於ける萌芽抑止物質の機轉について. 第二部 萌芽發根分布密度の變化に就いて.	日作紀 14(3-4): 273-278.
Araki, Y., Karita, S., Tsuchiya, T., Kondo, M. and Goto, M.	2010	Family 17 and 28 carbohydrate-binding modules discriminated different cell-wall sites in sweet potato roots.	Biosci. Biotechnol. Biochem. 74(4): 802-805.
大後美保	1942	甘藷のホルモン處理に就いて(豫報).	日作紀 13(3-4): 271-274.
Eguchi, T., Kitano, M. and Eguchi, H.	1994	Effect of root temperature on sink strength of tuberous root in sweet potato plants (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.).	BIOTRONICS 23: 75-80.
Eguchi, T., Kitano, M. and Eguchi, H.	1995	Effect of air humidity around tuberous root on sink strength in sweet potato plants grown in a solution-air culture	BIOTRONICS 24: 45-49.
Eguchi, T., Kitano, M. and Eguchi, H.	1996	New system of hydroponics for growth analysis of sweet potato tuber.	BIOTRONICS 25: 85-88.
江口壽彦	2003	空気中でのサツマイモの塊根形成: 葉数および根径の異なる植物について.	根の研究 12(4):209.
Eguchi, T. and Yoshida, S.	2011	Tuberous root thickening: A rapid response to hypoxia in sweetpotato (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.).	Environ. Control in Biol. 49(1): 47-50.
Eguchi, T., Ito, Y. and Yoshida, S.	2012	Periodical wetting increases α -tocopherol content in the tuberous roots of sweetpotato (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.).	Environ. Control in Biol. 50(3): 297-303.
江口壽彦・伊藤祐二・吉田敏	2013	短時間の冠水處理の時期および回数がサツマイモ塊根の抗酸化物質含量に及ぼす影響.	生物環境工学会講要集 2014: 200-201.(講要)
江口壽彦・伊藤祐二・吉田敏	2014	一時的な冠水がサツマイモ塊根に及ぼす影響.	生物環境工学会講要集 2014: 240-241.(講要)
Eguchi, T., Ito, Y. and Yoshida, S.	2015	Instantaneous flooding and α -tocopherol content in tuberous roots of sweetpotato (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.).	Environ. Control in Biol. 53(1): 13-16.
Eguchi, T. and Yoshida, S.	2016	Time-course pattern of electrolyte leakage from tuberous roots of sweetpotato (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.) after short-term high temperature.	Environ. Control in Biol. 54(4): 183-185.
江原 薫・関岡 行	1962	甘藷におけるSucrose-C ¹⁴ の転流・蓄積におよぼす空中湿度および土壤湿度の影響.	日作紀 31(1): 41-44.
遠藤沖吉	1951	日 語 形 成 時 に 於 け る 電 位 変 化 に 就 いて	日作紀 20(1-2): 1-4.
遠藤沖吉	1952	甘藷形成の機作について.	日作紀 20(3-4): 274-275.
藤井健雄・椎名不二雄	1947	甘しょ品種の萌芽及芽の伸長と温度の關係について.	農學 1(7): 438-440.
Fujita, M. and Yoshizawa, T.	1990	Metabolism of deoxynivalenol, a trichothecene mycotoxin, in sweet potato root tissues.	J. Food Hyg. Soc. Japan 31(6): 474-478.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
藤田時雄	1950	甘藷の挿苗初期に於ける根の解剖学的研究.	三重大農学術報告 1: 7-13.
海 梅栄・窪田文武	2001	サツマイモ個葉の老化に伴う光合成, 光呼吸およびPSII量子収率の変化ならびに品種間差.	九大農学芸誌 56(1): 73-81.
海 梅栄・窪田文武	2006	ワセリン・シーリング葉のクロロフィル蛍光値によるサツマイモ個葉の炭酸固定能力の評価.	九大農学芸誌 61(2): 185-191.
長谷川 浩・和田士郎	1950	甘藷品種の炭素同化作用について.	九州農業研究 6: 27-28.
平井源一	1953	甘藷の栄養生理に関する研究 (第1報) 加里対窒素の比率といもの肥大蓄積との関係.	日作紀 21(3-4): 282-283.
平井源一	1953	甘藷の栄養生理に関する研究.	大阪學藝大紀要 (B 自然科学) 1: 196-203.
平井源一	1955	甘藷の栄養生理に関する研究 (第3報) 一塊根の乾物重%, 気孔, 葉の加里含有率との関係一.	大阪學藝大紀要 (B 自然科学) 3: 174-187.
平井源一	1956	甘藷の栄養生理に関する研究 (第4報) 一甘藷の蔓性体重/葉生体重率の品種間差違と甘藷葉の加里含有率の品種間差違との関係一.	大阪學藝大紀要 (B 自然科学) 4: 155-159.
平井源一	1958	甘藷品種の蒸散量と甘藷品種分布について.	日作紀 26(4): 252-254.
平井源一	1969	甘藷の塊根乾物重歩合の変異に関する作物生理学的研究.	大阪教育大紀要 (第III部門 自然科学) 17(2): 33-92.
北條良夫	1971	<i>Ipomoea</i> 属野生種および栽培種間の接木植物における物質生産.	農技研報告 D22: 145-164..
北條良夫・村田孝雄・吉田智彦	1971	甘しょ接木植物における塊根の発育.	農技研報告 D22: 165-191.
北條良夫・加藤真次郎	1973	<i>Ipomoea</i> 属近縁野生植物における物質生産.	農技研報告 D24: 35-60.
北條良夫・加藤真次郎	1976	<i>Ipomoea</i> 属接木植物におけるsourceとsinkとの相互関係.	日作紀 45(1): 117-123.
北條良夫	1989	“生育ステージと生理, 生態 (I ~ III)”, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 13」(農文協編).	農文教, 東京, pp.171-199.
北條良夫	2004	“II 塊根の形成と肥大. ”, サツマイモの起源と特性, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.29-38.
北條良夫	2004	“III 塊根の肥大と物質生産. ”, サツマイモの起源と特性, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.39-49.
堀金 彰・田宮誠司・小卷克己・小原明子・勝見明美	1997	(84) フィールドアナライザーを用いた甘しょアマラーゼの圃場分析.	日作紀 66(1): 168-169.(講要)
井堀信行・岩船美都・松本 泉・蘇武 毅・葛西身延・澤田信一	2003	Sink-limit状態に置かれたサツマイモ葉からのRuBPCase活性阻害物質の精製.	植物生理学会講要集43

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
井堀信行・岩船美都・橋本尚樹・葛西身延・澤田信一	2004	sink-limit状態に置かれたサツマイモ葉からのRubisco活性阻害物質の精製-2.	植物生理学会講要集45
伊川秀治・大西真人・中村 優・藤田剛嗣・河野邦晃・岩井謙一	2019	栽培初期の高地温が芋焼酎原料用サツマイモ「コガネセンガン」の塊根へ与える影響.	日作紀 88(3): 214-215.
今福民三	1938	甘藷塊根生成機作に関する研究 (第1報).	農及園 13(4): 954-964
Imahori, Y., Kishioka, I., Uemura, K., Makita, E., Fujiwara, H., Nishiyama, Y., Ishimaru, M., Ueda Y. and Chachin, K.	2007	Effects of short-term exposure to low oxygen atmospheres on physiological responses of sweetpotato roots.	J. Japan. Soc. Hort. Sci. 76 (3): 258-265.
今泉吉郎・塩島角次郎	1950	甘藷の生育並に養分吸収に関する調査研究.	静岡農試 50周年論文集 49-70.
今関英博	1971	(3A12) サツマイモ切片の酵素生成と分解におけるエチレンの作用.	植物生理学会講要集12: 102.
井上重陽・山崎 力・松浦正視	1952	作物の耐寒性に関する研究 第1報 大豆・甘藷・胡瓜・南瓜.	高知大研報 (自然科学) 2: 59-67.
Iwata-Inoue M., Matsui, R., Fukuyama, M. and Sakaguchi, K.	2002	Changing Point of chilling sensitivity in arrhenius plots of NMR relaxation times (T_1 , T_2) in sweet potato tubers. (the 48th Annual Meeting)	Cryobiology and Cryote 48(2): 101-108.
井上俊介・安藤光博・湯浅高志	2019	サツマイモ傷害・腐敗の原因としての酵素活性化に関する検討.	作物学会講要集 248: 153. (講要)
Ishida, A., Kubota, F., Kadowaki, M. and Saitou, K.	1999	Source activity evaluation by grafted leaves in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) cultivars.	J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 44 (1-2): 73-80.
伊藤アカネ・田部記章・田茂井政宏・横田明徳・重岡 成	2016	(3aA13) シンク能強化のためのサツマイモ由来不定根原基形成因子の単離.	植物生理学会57回年会
伊東秀夫	1946	甘藷の塊根形成に関する研究 第2報 水耕栽培に依る甘藷根形成.	農及園 21(1): 13-14.
伊東秀夫・森 英男	1947	甘藷の塊根の肥大生長と通気について.	農學 1(7): 435-438.
伊東秀夫	1950	“甘藷の塊根の基礎研究.”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園藝中央會編).	日本園藝中央會, 社村(長野県北安曇郡), pp.132-
Ito, H. and Kato, T.	1960	Sugars in the acid hydrolysates on polysaccharides (Part I) Sugar composition of sweet potato starch	Tohoku j. Agr. Res. 10(4): 333-345.
井浦 徳・中馬克己・丸峯正吉	1953	甘藷の萌芽性に関する研究 第2報 甘藷品種の圃場萌芽, 貯蔵萌芽, 苗床萌芽の差異について.	九州農業研究 12: 67-68.
岩崎康男・田中康彦	1950	甘藷の生化学的研究 (第1報) 塊根の低温処理によるカタラーゼ, オキシダーゼ及びパーオキシダーゼの消長.	園学雑 19(3-4): 234-238.
岩崎康男・田中康彦	1952	甘藷の生化学的研究 (第2報) 成育並に貯蔵期間に於けるカタラーゼ, オキシダーゼ及びパーオキシダーゼの消長.	園学雑 21(1): 55-57.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
岩崎康男・佐々木幸夫	1952	甘藷の生化学的研究(第3報の2) 採苗後の甘藷太白種の炭水化物の含有量について.	園学雑 21(1): 58.
岩崎康男・他	1952	甘藷の生学的研究.	日本農業研究所報告 3: 37-54.
岩澤正美	1947	甘藷の炭素同化作用と収量.	農及園 22(6): 311-312.
岩澤正美	1948	甘藷の炭素同化作用と収量に関する研究(第2報).	農及園 23(3): 206.
門脇正行・窪田文武・齋藤和幸	2001	サツマイモ植物体へのスクロース溶液供給が塊根への炭素分配と塊根生産に及ぼす影響.	日作紀 70(4): 575-579.
Kadowaki, M., Murayama, N. and Kubota, F.	2002	Effect of sucrose solution injection at different growth stages on production and ADP-glucose pyrophosphorylase activity of roots in sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> Lam. cultivars.	J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 47(1): 13-20.
門脇正行・中村勲人・安田 登	2006	糖溶液供給がサツマイモの発根, 初期生育および収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 222: 88-89. (講要)
門脇正行・中村勲人・安田 登	2007	糖の種類, 糖溶液の供給期間および浸透圧がサツマイモ苗の生育に及ぼす影響.	作物学会講要集 224: 108-109. (講要)
門脇正行・安田 登・山根智子・吉永 優	2008	(P-26) サツマイモ新旧品種における個葉光合成速度の品種間差異.	日作紀 77(2): 266-267. (講要)
門脇正行・山下尋揮・足立浩崇・磯上憲一	2017	‘べにはるか’以降に育成されたサツマイモ新品種の光合成と乾物生産.	作物学会講要集 244: 59. (講要)
加藤真次郎・小林宏信・北條良夫	1972	甘しょ一葉挿し植物における ¹⁴ C-光合成産物の転流.	日作紀 41(2): 147-154.
加藤真次郎・北條良夫	1972	<i>Ipomoea</i> 属近縁野生種および栽培種間の接木植物における ¹⁴ C-光合成産物の転流.	日作紀 41(4): 496-505.
加藤真次郎・北條良夫	1974	生育段階の異なる <i>Ipomoea</i> 属接木植物における ¹⁴ C-光合成産物の転流.	農技研報告 D25: 31-58.
加藤真次郎・北條良夫	1976	<i>Ipomoea</i> 属接木植物における ¹⁴ CO ₂ 同化葉位と光合成産物転流との関係.	日作紀 45(2): 351-356.
加藤真次郎・北條良夫	1978	<i>Ipomoea</i> 属接木植物の茎における ¹⁴ C-光合成産物の転流速度および転流係数.	農技研報告 D29: 113-131.
加藤真次郎・北條良夫・下坪訓次	1979	<i>Ipomoea</i> 属接木植物における葉身の発育段階と ¹⁴ C-光合成産物の転流.	日作紀 48(2): 254-259.
加藤真次郎	1993	甘しょにおける光合成産物の転流(その1) -シンク・ソースの基礎研究と品種育成への応用 -.	いも類振興情報 35: 5-10.
加藤真次郎	1993	甘しょにおける光合成産物の転流(その2) -シンク・ソースの基礎研究と品種育成への応用 -.	いも類振興情報 36: 6-11.
加藤照孝	1942	甘藷根の初期生長に関する二三の観察.	教育農藝 11(10): 1229-1235.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Kawai, K. and Ueyama, K.	1965	The enzymic degradation of starch in the steamed root-tuber of sweet potato. Isolation and some properties of isoamylase of sweet potato.	Memoirs of Osaka Gakugei University. B, Natural sciences 13: 97-108.
Kawasaki, M., Matsuda, T., Nakamura, Y., Ueno, O., Taniguchi, M., Nitta, Y. and Miyake, H.	2002	Structural and immunocytochemical characterization of the synthesis and accumulation of starch in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) tuberous root.	Plant Produc. Sci. 5(2): 152-159.
木場三朗	1955	植物斑点性病害の病態生理学的研究 4. 単純性病斑被害葉に於ける生理的障害の恢復に就て.	九大農學藝誌 15(3): 275-285.
木場三朗	1961	斑点性病害が作物の収量に及ぼす影響の機構について I 病斑形成の為に起こるサツマイモ葉の乾重の日変化の異状.	九大農學藝誌 18(4): 353-370.
小林 章・福島與平	1944	甘藷の塊根の分化生理.	農及園 19(3): 311-312.
小林 章・福島与平	1944	甘藷塊根の分化生理 (II) 土壤反應が体内養分及び塊根分化に及ぼす影響.	農及園 19(5): 499-500.
古城坤三	1932	甘藷苗の發根に關する研究.	臺灣農事試報 307: 30-40.
古城坤三	1936	甘藷の塊根形成に關する研究.	臺灣農事試報 355: 455-481.
古城坤三	1956	甘藷栽培に於けるマレイン酸ヒドロジッド (MH)の応用 I .MHの甘藷の生育に及ぼす影響.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (1), pp.21-
古城坤三	1957	甘藷栽培におけるマレイン酸ヒドロジッド (MH)の応用 (2).	大阪府立大農業短大 研究と資料 (4), pp.45-
古明地通孝・財津昌幸・田中滋郎	1984	カンショの乾物生産におけるLAIとNARの關係についての一考察.	九州農業研究 46: 50.
古明地通孝・田中滋郎・財津昌幸	1985	カンショの塊根生産におけるLAIと乾物分配率の關係.	九州農業研究 47: 53.
古明地通孝	2004	“生産物から見た収量の構成. ”, サツマイモ栽培の基礎理論, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.95-100.
古明地通孝	2004	“1.総乾物生産量. ”, “2.分配効率. ”, “3.多収生育相. ”, 乾物生産から見た収量の成立, サツマイモ栽培の基礎理論, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.101-114.
小中伸夫	1972	カンショに対するコリン処理効果の作物生理学的研究.	千葉農試特別報告 3: 1-22.
小清水卓二・西田 緑	1949	甘藷蔓苗の体内擴散型生長素の動靜と結藷との關係.	植雜 62(735-736): 146-153.
上妻道紀・渡辺 泰・下坪訓次・中谷 誠	1984	カンショ葉身の光合成速度の品種間差.	九州農業研究 46: 48-49.
上妻道紀・湯田保彦・江畑正之	1986	カンショ多収技術に關する研究 第3報 カンショ葉身の着生位置と光合成速度.	九州農業研究 48: 69.
窪田文武・縣 和一・諸隈正裕	1991	カンショにおける個葉光合成速度の支配要因の解明 第1報 表皮剝離法および表皮剝離葉の光合成速度について.	日作紀 60(4): 510-514.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
窪田文武・飯塚恵治・縣和一	1993	カンショにおける個葉光合成速度の支配要因の解明 第2報 一葉挿し接木植物の光合成と根再生産におけるシンク・ソース関係.	日作紀 62(2): 248-256.
Kubota, F., Yoshimura, Y. and Agata, W.	1993	Stomatal movement and CO ₂ exchange rate of sweet potato plant (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) in relation to water environments. — A comparison between native and improved varieties —.	J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 38(1-2): 97-110.
Kubota, F., Nada, K. and Agata, W.	1994	Photosynthetic control factors in a single leaf of sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> Lam. 3. Estimation of <i>in vivo</i> rubisco activity from the CO ₂ exchange rate of a peeled leaf.	Jpn. J. Crop. Sci. 63(1): 89-95.
熊野誠一・藤瀬一馬	1965	甘藷根の呼吸特性について.	日作紀 34(1): 30-34.
藏之内利和・中村善行・高田明子・熊谷 亨	2008	サツマイモの低温下伸長性・萌芽性検定のための低地温制御栽培装置.	作物学会講要集 225: 322-323. (講要)
藏之内利和・中村善行・高田明子・田宮誠司・中谷 誠・熊谷 亨	2009	サツマイモ蒸切干加工用品種の品質・収量関連形質に及ぼす気象の影響.	作物学会講要集 227: 90-91. (講要)
葛上 久	1957	甘藷における同化物質の生成, 移動に及ぼすMHの影響.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (4), pp.61-
葛上久	1958	甘藷体内の植物ホルモンとM・Hの関係について (1) 植物ホルモンの実験法についての検討.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (5), pp.37-
葛上久	1960	甘藷地上部のホルモン分布とMHの内生IAAへの影響 (II) 甘藷体内の植物ホルモンとMHの関係について.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (6), pp.25-
葛上久	1961	日光遮蔽が甘藷の初期生育及び体内成分に及ぼす影響について.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (7), pp.39-
松原茂樹・石黒 迅	1937	甘藷塊根の肥大生長と地上部の發育並に氣象との關係.	農及園 12(2): 571-580.
Matsuo, T., Ito, S., Murofushi, N., Takahashi, N., Kobayashi, M. and Chishiki, T.	1984	Identification of gibberellins in the seeds of sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) and several other convolvulaceae plants.	Agric. Biol. Chem. 48(12): 2935-2941.
Minamikawa, T.	1961	Mechanism of cold injury in sweet potatoes. II Biochemical mechanism of cold injury with special reference to mitochondrial activities.	Plant & Cell Physiol. 2(3): 301-309.
Nagata, T. and Saitou, K.	2009	Regulation of expression of D3-type cyclins and ADP-glucose pyrophosphorylase genes by sugar, cytokinin and ABA in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.).	Plant Produc. Sci. 12(4): 434-442.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Nagata, T., Hara, H., Saitou, K., Kobashi, A., Kojima, K., Yuasa, T. and Ueno, O.	2012	Activation of ADP-glucose pyrophosphorylase gene promoters by a WRKY transcription factor, AtWRKY20, in <i>Arabidopsis thaliana</i> L. and sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.).	Plant Produc. Sci. 15(1): 10-18.
中 潤三郎・大森 浩・榎谷 勝	1952	甘藷の生理的特性に関する研究 (第1報) 生育期間中に於ける新薯内貯蔵炭水化物の消長について.	日作紀 21(1-2): 145-146.
中 潤三郎・大森 浩	1953	甘藷の生理的特性に関する研究 (第2報) 育苗期間中に於ける種薯内貯蔵炭水化物の消長について.	日作紀 22(1-2): 105-106.
中 潤三郎・大森 浩	1953	甘藷の生理的特性に関する研究〔第3報〕生育期間中に於ける新薯内窒素化合物の消長について.	日作紀 22(1-2): 107-108.
中 潤三郎・大森 浩	1954	甘藷の生理的特性に関する研究 (第4報) 育苗期間中に於ける種薯内窒素化合物の消長について.	日作紀 23(1): 37-38.
中 潤三郎・大森 浩	1954	甘藷の生理的特性に関する研究 (第5報) 挿苗発根に伴う体内成分の轉移について.	日作紀 23(1): 39-40.
中 潤三郎・玉置 秩	1956	甘藷の生理的特性に関する研究 VI 育苗期間中における蔓内成分の消長について.	香川農大報告 7(2): 180-185.
中 潤三郎・玉置 秩	1957	甘藷の生理的特性に関する研究 VII 生育期間中の地上部並びに地下部における炭水化物消長の相互関係について.	香川大農報 9(2): 47-53.
中 潤三郎・玉置 秩	1957	甘藷の生理的特性に関する研究 VIII 生育期間中の地上部並びに地下部における窒素化合物消長の相互関係について.	香川大農報 9(2): 54-58.
中 潤三郎・玉置 秩	1959	甘藷の生理的特性に関する研究 XII. 塊根形成に伴う根の生理的変化について.	日作紀 28(1): 124-125.
中 潤三郎	1962	甘藷の生育過程に関する作物生理学的研究.	香川大農紀 9: 1-96.
中 潤三郎・玉置 秩	1967	甘藷の塊根における貯蔵炭水化物の分布について	日作四国支紀事 3: 46-53.
中島哲夫・野々山重男	1972	サツマイモ塊根における不定芽の発育ならびに萌芽に影響する要因について.	日作紀 41(4): 454-458.
中村研三	1990	(V-3) 遺伝子発現でみたイモにおける物質集積の制御.	土肥要旨集 36: 35-35.(講要)
中村三七郎・今村駿一郎・小倉弘司	1954	甘藷の生理学的研究 (I) 既存の根が新生する根に及ぼす肥大抑制作用について.	鹿児島大農学術報告 3: 14-20.
中村三七郎・今村駿一郎・小倉弘司・小西通夫	1956	甘藷の生理学的研究 (II) 発根初期に与えた肥大抑制条件が甘藷の形状特に諸梗の長さには及ぼす影響.	鹿児島大農学術報告 5: 91-98.
中谷 誠・渡辺 泰・古明地通孝	1987	(31) サツマイモ一葉挿し接ぎ木植物による塊根の潜在的Sink能力の評価.	日作紀 56(2): 61-62.(講要)
中谷 誠・古明地通孝	1988	(114) サツマイモ塊根のADPグルコースピロホスホリラーゼ活性とでんぷん含量の関係.	日作紀 57(2): 227-228.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Nakatani, M., Oyanagi, A. and Watanabe, Y.	1988	Tuber sink potential in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) . I. Development of tuber sink potential influencing the source activity.	Jpn. J. Crop. Sci. 57(3): 535-543.
中谷 誠	1989	酵素免疫測定法によるサツマイモの内生アブシジン酸の簡易な定量法.	日作紀 58(1): 137-139.
中谷 誠・古明地通孝	1989	(106) サツマイモならびに近縁野生種の生育に伴う地下部のIAA, ZR, ABA含量の変化.	日作紀 58(2): 211-212.(講要)
中谷 誠・古明地通孝	1990	(75) サツマイモ塊根におけるZR, ABAレベルの部位間差.	日作紀 59(2): 149-150.(講要)
Nakatani, M. and Komeichi, M.	1991	Tuber sink potential in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) . II. Estimation of tuber sink potential of cultivars using single leaf grafts.	Jpn. J. Crop. Sci. 57(3): 544-552.
Nakatani, M. and Komeichi, M.	1991	Changes in the endogenous level of zeatin riboside, abscisic acid and indole acetic acid during formation and thickening of tuberous roots in sweet potato.	Jpn. J. Crop. Sci. 60(1): 91-100.
中谷 誠・古明地通孝	1991	サツマイモにおける内生ゼアチンリボシド並びにアブシジン酸レベルの塊根内部位間差.	日作紀 60(2): 322-323.
中谷 誠・幸田泰則	1992	バレイショ茎断片培養法を用いた数種塊根茎作物の抽出物の塊茎形成活性の比較.	日作紀 61(3): 394-400.
Nakatani, M. and Komeichi, M.	1992	Relationship between starch content and the activity of starch synthase and ADP-glucose pyrophosphorylase in tuberous root of sweet potato.	Jpn. J. Crop. Sci. 61(3): 463-468.
中谷 誠・古明地通孝	1992	サツマイモ根の発育に伴う内生IAA含量の変化.	日作紀 61(4): 683-684.
中谷 誠・松田智明	1992	サツマイモ塊根におけるゼアチンリボシドの免疫組織化学的検出.	日作紀 61(4): 685-686.
新美 洋	2014	ダイコン-サツマイモ有機畦連続使用栽培システム. (特集 高品質水稻・野菜生産と堆肥利用)	土づくりとエコ農業 46(2): 31-37.
西田孝太郎・伊藤耕太郎	1937	甘藷の化学的研究 (第2報) 甘藷生育中炭水化物の變化に就て.	醸造學雜誌 15(3): 184-186.
西中未央・高田明子・藏之内利和・中村善行・片山健二	2020	食用サツマイモ品種における栽培方法・収穫後の短期貯蔵が品質関連形質に与える影響および高糖度に関わる要因の解明	日作紀 89(2): 110-118.
Nishiuchi, H.	1954	Experiment of artificial tuberization of the root of sweet potato in a glass pipe by the temperature gradient referring to the effect of the temperature-system, and relation of the partial moisture to the tuberization. (Agriculture)	Bull. Univ. Osaka Prefect. Ser. B (Agr. & Biol.) 3: 115-118.
野口彌吉・菅原友太	1940	甘藷塊根の形成機構に関する研究.	農及園 15(1): 1-8.
農林省農業改良局 (編)	1949	12. 甘藷増収に對する種物生長物質利用試験.	園芸試験場年報(昭和22年度): 15-

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Okamoto, S., Oji, Y. and Izawa, G.	1966	The variation of the respiration with aging in sweet potato slices.	Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric. (Ser. Agr. Chem.) 7(2) : 34-
折谷隆志・折谷隆之・葭田隆治	1972	甘藷塊根の生長阻害物質について.	日作紀 41(2): 166-172.
Runion, G.B., Prior, S.A., Monday, T.A. and Ryan-Bohac, J.	2018	Effects of elevated CO ₂ on growth of the industrial sweetpotato cultivar CX-1.	Environ. Control in Biol. 56(2): 89-92.
坂井健吉・広崎昭太	1959	甘藷における塊根肥大の早晚性に関する研究 第1報 2, 3の特性と塊根肥大との関係.	日作紀 27(2): 303-304.
坂本 敏	1989	“IV 開花と結実”, 生育ステージと生理, 生態, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 13」(農文協編).	農文教, 東京, pp.201-207.
Sasaki, K., Oki, T., Kobayashi, T, Kai, Y. and Okuno, S.	2014	Single-laboratory validation for the determination of caffeic acid and seven caffeoylquinic acids in sweet potato leaves.	Biosci. Biotechnol. Biochem. 78(12): 2073-2080.
Sasaki, K., Oki, T., Kai, Y., Nishiba Y. and Okuno, S.	2015	Effect of repeated harvesting on the content of caffeic acid and seven species of caffeoylquinic acids in sweet potato leaves.	Biosci. Biotechnol. Biochem. 79(8): 1308-1314.
Sawada, S., Sakai, N. and Sano, T.	1999	Feed-forward effects on the photosynthetic source-sink balance in single-rooted leaves of sweet potato.	Plant Produc. Sci. 2(2): 87-91.
関岡 行	1961	甘藷の葉に与えたP ³² の移動蓄積におよぼす温度の影響.	日作紀 29(2): 273-275.
関岡 行	1961	甘藷におけるSucrose-C ¹⁴ の転流蓄積におよぼす温度の影響.	日作紀 30(1): 27-30.
関岡 行	1962	甘藷におけるSucrose-C ¹⁴ の転流・蓄積におよぼす光の強さの影響.	日作紀 31(2): 159-162.
関岡 行	1963	2・3根菜類における同化物質の転流・蓄積におよぼす環境要素の影響 (I) 物質の転流・蓄積と植物体内の部分温度との関係.	九大農學藝誌 20(2): 107-118.
関岡 行	1963	2・3根菜類における同化物質の転流・蓄積におよぼす環境要素の影響 (II) 物質の転流・蓄積と地温および気温との関係.	九大農學藝誌 20(2): 119-130.
関岡 行	1963	2・3根菜類における同化物質の転流・蓄積におよぼす環境要素の影響 (IV) 物質の転流・蓄積と光との関係.	九大農學藝誌 20(4): 283-291.
関岡 行	1963	2・3根菜類における同化物質の転流・蓄積におよぼす環境要素の影響 (V) 物質の転流・蓄積と湿度との関係.	九大農學藝誌 20(4): 293-299.
関岡 行	1964	2・3根菜類における同化物質の転流・蓄積におよぼす環境要素の影響 (III) 作物の生育および物質蓄積と温度との関係.	九大農學藝誌 21(2-3) 131-148.
菅原友太	1942	甘藷に於ける株の越冬と開花結実との關係に就て.	日作紀 13(3-4): 239-248.
菅原友太	1951	作物の根部に於ける酸素要求度に関する研究 第1報 作物根による硝酸鹽の生化学的還元と品種間差異について.	日作紀 20(1-2): 139-144.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Sugawara, T. and Gu, J.Y.	2003	Functional constituents in sweetpotato tops and how they differ during their growth period.	Sweetpotato Res. Front 15: 2.
Sugiyama, T., Suye, S. and Hashizume, T.	1983	Mass spectrometric determination of cytokinins in young sweet-potato plants using deuterium-labeled standards.	Agric. Biol. Chem. 47(2): 315-318.
Sugiyama, T. and Hashizume, T.	1989	Cytokinins in developing tuberous roots of sweet potato.	Agric. Biol. Chem. 53(1): 49-52.
Sugiyama, T.	1995	Changes in cytokinin concentrations in root exudate during the development of sweet potato plants.	Bull. Fac. Agric., Meiji Univ. 103: 11-19.
Sugiyama, T.	1996	Quantitative changes of six cytokinins in tuberous roots during the development of sweet-potato plants.	Bull. Fac. Agric., Meiji Univ. 109: 23-31.
滝口洋佑・赤井重恭	1971	サツマイモ培養組織における furanoterpenoidsの生合成について.	日植病報 37(5): 387.(講要)
Takizawa, Y. and Chikaraishi, Y.	2014	Are baby sprouts eating the proteins in the mother sweet potato?	Res. Org. Geochem. 30(1): 29-32.
Tanaka, Y. and Uritani, I.	1979	Effect of auxin and other hormones on the metabolic response to wounding in sweet potato roots.	Plant & Cell Physio. 20(8): 1557-1564.
田中 勝・吉永 優・中沢芳則・中谷 誠	2001	変異体を用いたサツマイモ塊根形成過程の解析.	植物生理学会年会要旨集 41th.: 101.
戸苅義次・明峯英夫	1947	甘藷の塊根形成に関する研究.	農及園 22(5): 225-230.
戸苅義次	1950	甘藷塊根形式に関する研究.	農事試報告 68: 1-96.
戸苅義次・白沢義信	1955	甘藷の生育に伴う体内成分の消長.	日作紀 24(2): 99-102.
戸苅義次	1991	甘藷萌芽形成に関する品種間差異覚え書.	農業技術 46(5): 214-215.
Tsubone, M., Kubota, F. and Saitou, K.	1997	Effects of grafting on the activity of adenosine 5' -diphosphate glucose pyrophosphorylase and tuberous root production in sweetpotato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.).	Jpn. J. Crop. Sci. 66(3): 509-510.
津野幸人・藤瀬一馬	1962	甘藷の乾物生産に関する研究 第1報 甘藷光合成作用の諸特性について.	日作紀 31(2): 145-149.
津野幸人・藤瀬一馬	1963	甘藷の乾物生産に関する研究 第2報 群落の乾物生産と乾物生産構造.	日作紀 31(3): 285-288.
津野幸人・藤瀬一馬	1964	甘藷の乾物生産に関する研究 第3報 養分吸収と乾物生産との関係.	日作紀 32(4): 297-300.
津野幸人・藤瀬一馬	1964	甘藷の乾物生産に関する研究 第4報 体内養分濃度と乾物分配比率.	日作紀 32(4): 301-305.
津野幸人・藤瀬一馬	1964	甘藷の乾物生産に関する研究 第5報 乾物生産特性の品種間差異 (1) 乾物生産と養分吸収並びに乾物分配率の品種間差異.	日作紀 32(4): 306-310.
津野幸人・藤瀬一馬	1964	甘藷の乾物生産に関する研究 第6報 乾物生産特性の品種間差異 (2) 呼吸作用の品種間差異.	日作紀 32(4): 311-314.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
津野幸人・藤瀬一馬	1964	甘藷の乾物生産に関する研究 第7報 乾物生産特性の品種間差異 (3) 光合成作用の品種間差異.	日作紀 32(4): 315-318.
津野幸人・藤瀬一馬	1965	甘藷の乾物生産に関する研究 第8報 光合成能力に關与する要因の解析.	日作紀 33(3): 230-235.
津野幸人・藤瀬一馬	1965	甘藷の乾物生産に関する研究 第9報 加里の肥効と乾物生産との關係.	日作紀 33(3): 236-241.
津野幸人・藤瀬一馬	1965	甘藷の乾物生産に関する作物学的研究.	農技研報告 D13: 1-132.
内村 力	1971	甘しょ「コガネセンガン」の生理生態的な2, 3の知見について.	九州農業研究 33: 26.
渡辺和之	1969	土壤の物理性と作物の生育および収量との關係 第9報 根の生態的特性からみた甘藷の過剰栄養生長機構について.	日作紀 38(4): 652-656.
山下知治	1950	葉内カリウム含有度の日變化に關する研究.	植雑 63(747-748): 174-182.
彌富道男・窪田文武・縣和一・諸隅正裕	1992	液相型酸素電極法によるカンショ葉の光合成速度の測定.	日作紀 61(2): 312-313.
Yonebayashi, K., Katsumi, N., Nishi, T. and Okazaki, M.	2014	Activation of nitrogen-fixing endophytes is associated with the tuber growth of sweet potato (mass spectrometry).	Mass Spectrometry (質量分析) 62(6): 1-4. 3(1): A0032.

513 土壤・肥料			
足立文彦・野津修一・本田裕基・春日純子・松本真悟	2019	カリウム施肥による塩基不均衡に起因するサツマイモの糖度低下.	作物学会講要集 248: 75.(講要)
相本涼子・白尾 吏・餅田利之・脇門英美	2019	(7-1-26) キャベツ根こぶ病対策としての高pH管理がサツマイモ収量等に及ぼす影響.	土肥要旨集 65: 115.(講要)
相澤高亮	1941	腐植土壤に於ける甘藷三要素試験成績.(關西支部講演會講演要旨)	土肥誌 15(2): 131-132.(講要)
荒川祐介・増田泰三・正岡淑邦	1995	(34) かんしょの収量と品質に及ぼす施肥窒素, カリウムの影響.	土肥要旨集 41: 396.(講要)
荒川祐介・増田泰三・正岡淑邦	1996	(6) かんしょの収量と品質に及ぼす施肥窒素・カリウムの影響 (第2報).	土肥要旨集 42: 373.(講要)
荒川祐介・正岡淑邦	1998	(11-10) 栄養条件によるかんしょ塊根への成分集積の差異.	土肥要旨集 44: 105.(講要)
荒川祐介・正岡淑邦	1999	(11-12) かんしょ塊根へのタンパク質集積の品種間差異.	土肥要旨集 45: 135..(講要)
荒川祐介・正岡淑邦・山本克巳・倉田裕文	2003	(12) 豚尿を利用したかんしょの無窒素・無カリ栽培.	土肥要旨集 49: 301.(講要)
荒川祐介・正岡淑邦・倉田裕文・山本克巳	2005	曝気豚尿の利用によるカンショの減化学肥料栽培.	土肥誌 78(2): 193-197.
浅野次郎・川口菊雄・木村 進・太田 充・横森達郎	1984	(8-34) 砂地根菜類の生育反応と品質的特徴.	土肥要旨集 30: 137.(講要)
樗木直也	2004	(9-46) カンショ水耕栽培による塊根内部黒変症の原因解明の試み.	土肥要旨集 50: 80.(講要)
趙 炳薫・和田秀徳・松本 總	1991	(12) 植物根をプローブとした土壤環境要因の解析 (第1報) サツマイモ立枯病害の発生と土壤環境因子.	土肥要旨集 37: 263.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
船津正人・大熊裕一・白井建史・園田直・北川隆徳・沖園清忠・安原貴臣	2015	過湿土壌のサツマイモ栽培における酵母抽出物含有資材(CW2)の生育改善効果.	作物学会講要集 239: 168. (講要)
古江広治・森田重則・田中正一	2005	(4) 家畜ふん堆肥連用下でのキャベツ-カンショ体系の窒素収支.	土肥要旨集 51: 303. (講要)
古江広治・田中正一	2007	(9) 家畜ふん堆肥連用が土壌化学性とカンショ, キャベツの収量性に及ぼす影響.	土肥要旨集 53: 300. (講要)
雁野勝宣・タレブレ イスラム・長谷川功・桃木徳博・大場和彦・木方展治・細木 寿	1995	カンショを対象とした新耕うん・畦立法による降水浸透および肥料溶脱制御技術.	九州農試報 29: 1-19.
原田正夫・大村 豊	1939	第廿五試験 昭和十三年度東大農學部に於ける甘藷に対する鹽安硫安の肥效比較試験. 「塩化アンモニアの肥料効果試験 第1輯」.	徳山曹達, 徳山, pp.113-
長谷川 功・三尾智秋・林田至人・飯塚隆治	1987	(23) 食用かんしょの肥培管理と養分吸収特性 (1) マルチ栽培での収量・品質と養分吸収.	土肥要旨集 33: 345. (講要)
長谷川 功・三尾智秋・林田至人・飯塚隆治	1988	(17) かんしょによる養分収奪の特徴.	土肥要旨集 34: 304. (講要)
長谷川新一・菊池 正	1953	“VII, 甘藷に対する灌漑時期及び水量に関する試験 (中間報告)”, B. 畑地灌漑の方法とその効果に関する研究, 畑地灌漑に関する研究集録 (農林省農業改良局研究部 編)	農林省農業改良局研究部, pp.45-
橋本 尚・西村康平	2005	野菜栽培におけるエコ農法支援のための土壌管理技術の確立 1) 土壌タイプ別・野菜の種類別エコ農法 (3) 砂丘未熟土におけるサツマイモ栽培.	砂丘野菜試験成績書 2003/2004: 61-62.
鳩野哲也・上村幸廣・脇門英美	1992	稲わら施用が甘しょの品質・収量に及ぼす効果.	九州農業研究 54: 59.
鳩野哲也・上村幸廣・脇門英美	1992	(6) 稲わら施用が甘しょの品質・収量に及ぼす効果.	土肥要旨集 38: 354. (講要)
早川岩夫・武井昭夫・嶋田永生	1975	(7) 露地そ菜の省力施肥に関する研究 (第8報) 肥料形態およびマルチの有無がサツマイモの生育に及ぼす影響.	土肥要旨集 21: 60-61. (講要)
平松琢雄	1939	甘藷増産上施肥合理化の重要性.	土肥誌 13(8): 529-532.
本田 仁・岩間志郎	1959	甘藷肥料三要素適量試験.	茨城農試研報 2: 33-36.
杜冠華・森悦子・寺尾寛行・続 栄治	1998	木酢液と木炭の混合物がサツマイモの生育に及ぼす影響.	日作紀 67(2): 149-152.
市川幸吉	1891	燐酸肥料を甘藷に施したるの結果.	大日本農會報告 125: 36.
市来征勝・野々山芳夫	1985	(8-22) 下水汚泥コンポストの施用がサツマイモおよびキャベツに及ぼす影響.	土肥要旨集 31: 120. (講要)
市来征勝・野々山芳夫	1985	(22). 下水汚泥コンポスト多量施用畑におけるサツマイモ塊根部異常症.	土肥要旨集 31: 329. (講要)
市来征勝・後藤 忍・池田健一郎	1988	(30) 基盤整備畑における青果用サツマイモに対する施肥法 (第1報) 異なる土壌における堆肥および窒素の施用量とベニアズマの生育, 収量および養分吸収量.	土肥要旨集 34: 319. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
市来征勝・後藤 忍・池田健一郎	1988	(31) 基盤整備畑における青果用サツマイモに対する施肥法 (第2報) 異なる土壌における堆肥および窒素の施用量とベニアズマの品質.	土肥要旨集 34: 320.(講要)
出井嘉光・高橋 児	1957	(3) 畑作物の酸性障害に関する研究 (第4報) 粟及び甘藷について.	土肥要旨集 3: 99.(講要)
飯塚隆治・三尾智秋・長谷川 功	1986	(5-61) 暖地黒ボク土におけるカンショとライムギの微量元素吸収の特性.	土肥要旨集 32: 78.(講要)
飯塚隆治・長谷川 功・三尾智秋・林田至人・宮沢数雄	1986	(25) 土壌の養分状態と早植カンショの養分吸収経過 (第3報) 器官・時期別の要素含有率と栄養診断の試み.	土肥要旨集 32: 299.(講要)
飯塚隆治・三尾智秋・林田至人	1989	(10) 作物体要素濃度の重回帰分析による栄養診断の試み (第2報) 品種を異にした場合のサツマイモ.	土肥要旨集 35: 344.(講要)
飯塚隆治・三尾智秋	1990	(12) 青果用かんしょのマルチ栽培による栄養特性.	土肥要旨集 36: 201.(講要)
飯塚隆治・桃木徳博・日高 操・山川 理・増田泰三・三尾智秋	1992	(8) 土壌集積N判定のための高感度かんしょ品種の検索.	土肥要旨集 38: 348.(講要)
飯塚隆治・増田泰三・三尾智秋	1993	マルチ栽培下サツマイモ品種コガネセンガンの好適栄養状態の簡易診断法.	土肥誌 64(1): 81-84.
飯塚隆治・三尾智秋・増田泰三	1993	(10) 黒ボク土かんしょ畑への各種有機物還元法の評価.	土肥要旨集 39: 351.(講要)
飯塚隆治・五島一成	1993	(11) 食用かんしょの品質形成過程 (予報).	土肥要旨集 39: 366.(講要)
今川 正・鈴木 忠・戸田敏郎	1950	甘藷栽培に当り窒素質肥料の種類が収量品質及貯蔵力に及ぶ影響に関する試験成績.	農芸 3(5): 15-19.
猪野 誠	2004	“土壌条件と品質.”, “植付時期と品質.”, “マルチ資材と品質.”, 食用サツマイモの収穫技術, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.168-175.
犬飼義明・芝山秀次郎	2003	施肥法および土壌温度の相違がカンショ塊根中の遊離糖含量に及ぼす影響.	Coastal bioenvironment 2: 37-42. (発行:佐賀大海浜)
Islam, A.F.M.S., Kitaya Y., Hirai, H., Yanase, M, Mori, G. and Kiyota, M.	1998	Sweetpotato cultivation with rice husk charcoal as a soil aerating material under wet lowland field conditions.	Environ. Control in Biol. 36(1): 13-20.
磯部勝孝・藤井秀昭・坪木良雄	1992	(26) 粉炭施用による土壌環境の変化とサツマイモの発根促進について.	土肥要旨集 38: 294.(講要)
磯部勝孝・藤井秀昭・坪木良雄	1996	木炭の施用がサツマイモの収量に及ぼす影響.	日作紀 65(3): 453-459.
井浦 徳・永松土巳	1964	火山灰土壌地帯における甘藷の生育性向上. (第30回例会 シンポジウム)	日作九州支報 21: 42-45.
岩井 巖	1951	甘藷の無機栄養に関する研究 (第1報) 施用窒素量と甘藷の生育に伴う体成分の消長. (第22回日本農学大会部会講演要旨(I))	土肥誌 22(1): 78.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
岩井 巖・畑佐邦男・池ヶ谷賢次郎	1953	施用窒素量が甘藷の生育並びに無機成分の含有量に及ぼす影響.	岐阜大農研報 2: 113-119.
伊沢悟郎・岡本三郎	1958	(77) 甘藷の生育期間中における還元糖非還元糖及び澱粉の変化.	土肥要旨集 4: 19.(講要)
Izawa, G. and Okamoto, S.	1959	Effect of mineral nutrition on contents of organic constituents in sweet potato plants during growth.	Soil Sci. Plant Nutri. 4(4): 163-170.
城 秀信	2009	硝酸化成作用阻害による生理障害の発生とアンモニア過剰障害の簡易判定方法の検討.	九州農業研究発表会要旨集 72: 60.(講要)
門田龜一	1939	施肥法の改善に依る甘藷の増産に就て.(日本農學會大會本會部會講演要旨)	土肥誌 13(5): 297-300.(講要)
門田龜一	1943	甘藷の施肥量に就て.	土肥誌 17(7): 316-318.
門脇正行・西原由香・林司直・足立文彦・井藤和人・春日純子・松本真悟・安田 登	2013	窒素施肥量がサツマイモの塊根生産の及ぼす影響.	作物学会講要集 236: 170.(講要)
門脇正行・星野 司・井出泰史・足立文彦・城惣吉・松本真悟・井藤和人	2018	窒素施肥量がサツマイモの窒素固定および収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 246: 97.(講要)
門脇正行・興梶萌子・米倉朱音・城 惣吉・松本真悟	2020	サツマイモ栽培における窒素施肥量が植被率, 地温, 窒素固定および収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 250: 40.(講要)
梯 美仁・黒島忠司・武市啓志	1996	連作砂地畑における微細粒子の除去が土壌の物理性とサツマイモの生育, 収量および品質に及ぼす影響.	徳島農試研報 32: 29-34.
梯 美仁・黒島忠司	1998	(16) 砂地畑における肥培管理とサツマイモの品質.	土肥要旨集 44: 324.(講要)
梯 美仁・黒島忠司	1999	(1-8) サツマイモ栽培における砂地畑土壌の適正粒径組成.	土肥要旨集 45: 4.(講要)
梯 美仁・黒島忠司	1999	サツマイモ栽培における砂地畑土壌の適正粒径組成.	徳島農試研報 35: 20-25.
梯 美仁・黒島忠司・黒田康文	2002	砂地畑土壌の粒径組成がサツマイモの収量・品質に及ぼす影響.	土肥誌 73(3): 319-322.
梯 美仁・小川 仁	2003	(20-13) 砕砂の客土がサツマイモの収量・品質に及ぼす影響.	土肥要旨集 49: 161.(講要)
梯 美仁・小川 仁	2006	砕砂の客土がサツマイモの収量・品質に及ぼす影響.	徳島農試研報 3: 1-11.
金田雄二	1977	園芸作物の品質と土壌環境に関する研究 -1- カンショ "高系14号" の皮色に及ぼす土壌環境の影響について.	静岡農試研報 22: 24-31.
金田雄二・河森 武	1978	(13) 園芸作物の品質と土壌環境に関する研究 (第3報) カンショ高系14号の皮色に及ぼす塊根中の炭水化物について.	土肥要旨集 24: 62.(講要)
葛西善三郎・衣川堅二郎・浅田浩二	1956	高等植物に吸収された無機栄養素の行動 (第6報) さつまいもに吸収された無機養分の分布と葉序との関係.	土肥誌 27(2): 83-85.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
春日井新一郎・松本通夫・鶴岡正登	1941	甘藷の生育に對する通氣の影響に就て(日本農學會大會本會部會講演要旨).	土肥誌 15(5): 356-357.(講要)
河野 隆・酒井 一・緑川 覚二	2002	かんしょの窒素吸肥特性に関わる一考察について.	茨城農総セ農研研報 6: 23-30.
川島祿郎	1936	うん苔及び甘藷の葉に於ける加里飢餓現象.	土肥誌 10(3): 295-303.
川嶋次夫・吉田栄一・遠山良樹・中村信夫	1960	甘藷の窒素適量試験.	九州農業研究 22: 152-153.
川嶋次夫・吉田栄一・遠山良樹・中村信夫	1960	(511) 甘藷に對する窒素の施用法.	土肥要旨集 6: 19.(講要)
柯貴城・平井光代・正田誠・久保田 宏	1988	サツマイモ焼酎蒸留廢液の農地還元利用.	土肥誌 59(2): 156-163
小林 透・持田秀之	1999	土壤の種類が色素原料用カンショの収量および色素含量に与える影響.	九州農業研究 61: 21.
児玉三郎・中馬克己	1968	施肥条件の差異が甘しょの生育・収量におよぼす影響.	九州農業研究 30: 109-110.
児玉三郎・中馬克己・田上三夫	1971	甘しょの多収畑と普通畑における生育相および土壤環境の差異.	九州農試報 15(4): 493-514.
児玉敏夫・鈴木信治	1957	土壤構造が作物の生育に及ぼす影響.	関東東山農試研報 10: 69-79.
児玉敏夫・野本達郎・渡辺和之	1959	土壤通氣と甘藷の生育収量との關係 第1報 土壤の粗密, 肥料の多少と生育収量.	日作紀 27(3): 372-374.
小玉泰生・井上健一・脇門英美・上村幸廣	2003	(21) キャベツ原料用甘しょ栽培体系における環境負荷低減施肥技術.	土肥要旨集 49: 311.(講要)
小関拓也・西脇順子・浅木直美	2019	(P32) サツマイモ圃場におけるリビングマルチの有無による土壤透水係数の経時変化.	土壤物理学大会講要集 61(2019): 76-77.(講要)
久米隆志・江口 洋・野口純隆	1989	(6) 火山砂礫土畑の水利用技術に関する研究 第2報 原料用カンショに對するかん水と施肥改善の相乗効果.	土肥要旨集 35: 356.(講要)
草野 秀・市来秀夫・田上三夫	1964	(27) 甘藷の機械化栽培体系における施肥法に関する研究(第1報) 施用法と施用量について.	土肥要旨集 10: 24-25.(講要)
眞方孝浩・赤木 康・上原 剛・野中仙三郎	1996	甘藷-小麦・イタリアンライグラス体系の黒ボク土畑における有機物および資材連用効果.	九州農業研究 58: 53.
眞方孝浩・赤木 康・上原 剛・野中仙三郎	1996	(2) 甘藷-小麦・イタリアンライグラス体系の黒ボク土畑における有機物および資材連用効果.	土肥要旨集 42: 385.(講要)
間宮 広	1953	早掘甘藷に對する加里と窒素の施用法.	農業技術 8(6): (31-32.)
正岡淑邦・荒川祐介	1999	カンショの適正なカリウム施用量の推定.	九州農業研究 61: 48.
正岡淑邦・荒川祐介	1999	(9) カンショへの適正なカリウム施用量の推定.	土肥要旨集 45: 460.(講要)
増田大祐・橋本 尚	2005	砂丘地基幹野菜の効率的な高品質安定生産技術確立研究 2)サツマイモにおけるマルチ栽培技術の確立(2)有機物のうね面施用による生分解性マルチ分解促進技術.	砂丘野菜試験成績書 2003/2004: 87-89.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
増田泰三・荒川祐介・正岡淑邦	1995	(11-2) 窒素栄養条件によるサツマイモの成分集積.	土肥要旨集 41: 109.(講要)
増田泰三・荒川祐介・正岡淑邦	1995	(35) 養分投入によるかんしょの生育特性と成分変動の品種間差異.	土肥要旨集 41: 397.(講要)
増田泰三・東野仁美・若元美希	2013	(8-1-25) 砂質と粘土質の圃場でのサツマイモによる土壌施用セシウム(Cs-132.9)の吸収.	土肥要旨集 59: 158.(講要)
増田泰三・内田光洋・金澤由香・森 祥子・吉田政孝	2015	(8-1-13) 砂質と粘土質の土壌でのサツマイモのつるぼけ特性を活用した表層施用セシウムの吸収.	土肥要旨集 61: 156.(講要)
松元 順	2004	(VI-5) 現状のリユースからリサイクルに移行する民間活力は期待できるのか? 「産業として成り立たせる発想と経営の視点」-サツマイモ総合利用実証プラントより-. (VI 公開シンポジウム 堆肥を使って活き活き循環農業 -リスク問題と新技術-)	土肥要旨集 50: 235.(講要)
松尾英俊・松下研二郎・川上國喜	1950	甘藷に対する加里の肥効について (その2) 窒素加里施用比率と澱粉生成量の関係について. (第21回日本農学大会土壌肥料学部会)	土肥誌 21(2): 132-133.(講要)
松尾英俊・松下研二郎・井田勝実	1952	甘藷に対する加里の肥効について 第3報 澱粉含量との関係について.	九州農業研究 9: 65-66.
松尾英俊・井田勝実	1952	甘藷に対する加里の肥効について 第5報 加里の追肥について.	九州農業研究 10: 95-96.
松尾光弘・久藤至彦・寺尾寛行・小川紹文・安藤定美・西脇亜也	2011	サツマイモの生育および収量に対するメタン発酵消化液の施用効果.	宮崎大農研報 57: 11-21.
松下研二郎・宇田川義夫・藤島哲男	1967	南九州に於ける火山灰土壌の生産力について (第1報) 夏作(甘しょ)期間中における土壌成分の溶脱 (ライシメーター試験).	九州農業研究 29: 140-142.
松浦 章	1947	甘藷の施肥と土性との関係.	農及園 22(5): 235-238.
松浦 章・月森善一・山根忠昭	1952	土壌の酸化還元が作物の生産力に及ぼす影響 (第八報) -甘藷の水掛栽培とEhの関係.	土肥誌 23(1): 82.(講要)
三橋達雄	1988	(6) 甘しょ生産力の一考察 -特に土壌・理化学性との関連-.	土肥要旨集 34: 248.(講要)
三輪 晋・小中伸夫	1970	砂壤土と火山灰壤土におけるかんしょの生育経過の差異に関する試験.	千葉農試研報 10: 32-37.
宮丸直子・西田公一・大城徳夫・謝花 治	2017	(P7-1-24) 久米島におけるカンショ栽培の実態と課題.	土肥要旨集 63: 145.(講要)
宮沢数雄・林田至人・伊東裕二郎・飯塚隆治・M. Djazuli	1986	(14) 土壌の養分状態と早植かんしょの養分吸収経過 (2) かんしょ畑の土壌養分状態.	土肥要旨集 32: 280.(講要)
持田秀之・立石 靖・小林 透・新美 洋	1999	(17-19) 輪作に伴う線虫密度及び土壌理化学性の変遷 -カンショを主軸作物とした輪作体系において-.	土肥要旨集 45: 197.(講要)
餅田利之・相本涼子・重光雄・脇門英美	2020	(6-2-19) 青果用サツマイモ主体の有機輪作栽培における作物収量, 土壌の化学性及び生物性の変化. (6-2 畑地土壌肥沃度 2020年度岡山大会)	土肥要旨集 66: 94.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
森 清文・渋川 洋・古江広治	2010	(11) 種子島の黒ボク土壌で発生した原料用サツマイモ生育障害の発生要因.	土肥要旨集 56: 300.(講要)
森 清文・西 裕之・古江広治・脇門英美・松元順・渋川 洋・相本涼子・小玉泰生・井上健一・永田茂穂・山下純一・森田重則・後藤 忍	2012	家畜ふん堆肥の連用が普通畑作物収量と養分収支並びに土壌化学性に及ぼす影響.	鹿児島農総セ研報(耕種) 6: 39-48.
森 清文・脇門英美・古江広治	2013	(2) リン酸肥沃度に応じた原料用サツマイモのリン酸減肥栽培.	土肥要旨集 59: 307.(講要)
森 清文・久保寺秀夫・西 裕之・古江広治	2015	種子島の土地利用型作物圃場における黒ボク土のpH(H ₂ O)低下要因.	土肥誌 80(4): 299-302.
森 清文・重水 剛	2016	(7-1-20) 施肥法の違いが原料用サツマイモ収量等に及ぼす影響.	土肥要旨集 62: 125.(講要)
森 清文・竹牟禮 穰・溜池雄志・大村幸次・杉本光穂	2018	(7-1-10) 原料用サツマイモ小苗栽培における施肥量の違いが収量性に及ぼす影響.	土肥要旨集 64: 116.(講要)
森田敏雄	1957	窒素の施用法の差異が甘藷の塊根形成及び肥大に及ぼす影響に就て [1].	新潟大教(教育科学)6: 42-52.
森田敏雄	1963	土性と窒素肥料の分施がサツマイモの地上部生育相ならびに塊根の着生および発育に及ぼす影響について(予報)	園学雑 32(2): 143-148.
森田敏雄	1964	土性および窒素と加里の多用がサツマイモの地上部生育相ならびに塊根の着生および発育に及ぼす影響について.	園学雑 33(1): 75-80.
森田敏雄	1965	サツマイモの増肥栽培における土性と窒素対加里の施用比率について(予報).	新潟大教紀要.7:50-58.
森田敏雄	1967	窒素の施用時期がサツマイモの地上部生育相ならびに塊根の着生および発育に及ぼす影響.	園学雑 36(1): 114-121.
森田敏雄	1967	窒素対加里の施用比率がサツマイモの地上部生育相ならびに塊根の着生および発育に及ぼす影響.	園学雑 36(4): 421-426.
森田敏雄	1969	窒素給源の差異がサツマイモの地上部生育相ならびに塊根の着生および発育に及ぼす影響.	園学雑 38(2): 162-168.
森田敏雄	1970	窒素肥料の組み合わせがサツマイモの地上部生育相ならびに塊根の着生および発育に及ぼす影響.	園学雑 39(3): 239-244.
森田敏雄	1970	窒素施肥期がサツマイモの塊根形成期における地上部生育ならびに根系の発達に及ぼす影響.	園学雑 39(4): 331-337.
森田敏雄	1971	窒素の施肥期からみたサツマイモの窒素吸収と地上部生育相ならびに塊根の着生および発育との関係について.	園学雑 40(1): 29-34.
向井 登・木下祝郎	1963	(3B6) 甘藷苗より新生する根の生長及び糖組成に対する諸薬剤の影響 特にナフテン酸及びC.S.L.の効果.	土肥要旨集 9: 38.(講要)
永尾嘉孝	1995	(8) 長崎県下五島地区かんしょ畑の土壌特性.	土肥要旨集 41: 383.(講要)
永尾嘉孝	1998	(8) かんしょ「ベニオトメ」に対する海砂客入, 籾殻鋤込みの効果.	土肥要旨集 44: 344.(講要)

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
長友 誠・上蘭一郎・有村恭平・森 清文・古江 広治	2017	黒ボク土畑における可給態リン酸含量に対応したリン酸施肥. [技術レポート]	土肥誌 88(1): 48-52
中島幹文・芦田敏之・滝井高央	1979	(10-19) 化学処理方式によるし尿の有機質肥料化に関する研究 (第3報) -物理的特性試験並びに,甘藷の収量に及ぼす影響-	土肥要旨集 25: 164.(講要)
中園 昭・永井芳雄	1963	塩化物並びに硫酸塩が甘藷の収量及び品質に及ぼす影響について.	九州農業研究 25: 217-218.
中園 昭・永井芳雄	1963	(35) 塩化物ならびに硫酸塩が甘藷の収量および品質におよぼす影響について.	土肥要旨集 9: 50-51.(講要)
中園充紀・上蘭一郎・長友 誠	2004	(6) 家畜ふんペレット堆肥を利用した有色甘しょの生産技術.	土肥要旨集 50: 314.(講要)
新美 洋	2009	(9) ダイコン-サツマイモ体系における畦連続使用条件下の養分収支.	土肥要旨集 55: 317.(講要)
野中仙三郎・赤木 康・横山明敏・有村玄洋	1986	(23) 土壌管理法の違いがカンショの生育・収量に及ぼす影響.	土肥要旨集 32: 298.(講要)
農商務省農事試験場	-	甘藷三要素試験.	農事試験成績(明治32年度): 70-71.
小川 仁・梯 美仁・井上光弘・田邊賢二・尾谷 浩	2003	(16-19) 砂地畑におけるサツマイモの高品質栽培のための土壌水分管理技術.	土肥要旨集 49: 132.(講要)
小川 仁・梯 美仁	2003	徳島県における砂地畑土壌の理化学性の実態.	徳島農研報 1: 7-18.
小川 仁	2004	砂地畑におけるサツマイモを高品質化栽培するための土壌水分管理技術.(全国野菜技術情報 四国ブロック)	農耕と園芸 59(5): 168-170.
小川 仁・梯 美仁・井上光弘・田邊賢二・尾谷 浩	2006	砂地畑における土壌水分の推移がサツマイモの収量および品質に及ぼす影響.	徳島農研報 3:13-19.
小川和夫・草野 秀	1979	サツマイモの苗が吸収する種イモ由来の窒素について.	土肥誌 50(2): 159-160.
Ogiyama, S., Suzuki, H., Sakamoto, K. and Inubushi, K.	2010	Absorption of zinc and copper by maize and sweet potato in an arable field after pig farmyard manure application - contribution of arbuscular mycorrhizal fungi and effects of wood charcoal application.	HortResearch 64: 9-18. (Fac. Hort., Chiba Univ.)
大橋照次・野原定夫・信田守雄・白木 実	1962	(18) 飼料作物の栽培に関する土壌肥料的学的研究 (第1報) 蔓刈甘藷にたいする施肥法の研究.	土肥要旨集 8: 87.(講要)
岡本三郎・王子善清・伊沢伍郎	1965	(4D・4) 甘藷切断根の呼吸に及ぼすカリの影響 (第2報).	土肥要旨集 11: 81.(講要)
Okamoto, S. and Oji, Y.	1966	Effect of mineral nutrition on metabolic change induced in crop plant roots (IV) Effects of potassium nutrition on glycolysis in sweet potato roots.	Soil Sci. Plant Nutri. 12(5): 1-7.
Okamoto, S.	1967	Effect of mineral nutrition on metabolic change induced in crop plant roots (V) Respiration in sweet potato roots.	Soil Sci. Plant Nutri. 13(4): 87-93.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
岡本三郎	1968	(6-38) K欠乏と甘藷及び大麦切断根の呼吸.	土肥要旨集 14: 86.(講要)
Okamoto, S.	1969	The growth and the respiration in roots of sweet potato plants under a moderate potassium deficiency.	Soil Sci. Plant Nutri. 15(4): 175-182.
Okamoto, S., Ikeda, K. and Yoshikura, J.	1971	Effect of potassium nutrition on contents of chemical constituents in sweet potato plants.	Sci. Rep. Hyogo Univ. Agric. 10(1): 103-106.
小野 忠・矢野輝人	1992	(4) 黒ボク土壌における窒素施用量と食用カンショの品質 第1報 蒸しいもの糖濃度について.	土肥要旨集 38: 353.(講要)
小野 忠・矢野輝人	1992	黒ボク土壌における窒素施用量と食用カンショの品質 第1報 蒸しいもの糖濃度について.	九州農業研究 54: 57.
小野 忠・矢野輝人	1995	黒ボク畑土壌での青果用カンショの品質変動と要因解析.	大分農技セ研報 25: 77-94.
折本美緒	2007	サツマイモの収量, 品質向上のための土づくり. (野菜特集 根菜類の土づくり・土壌管理)	農耕と園芸 62(9): 157-161.
大崎 満・上田宏幸・但野利秋	1991	(2) サツマイモの多収性と窒素反応性.	土肥要旨集 37: 219.(講要)
Osaki, M., Ueda, H., Shinano, T., Matsui, H. and Tadano, T.	1995	Accumulation of carbon and nitrogen compounds in sweet potato plants grown under different nitrogen application rates.	Soil Sci. Plant Nutri. 41(3): 547-555.
Osaki, M., Ueda, H., Shinano, T., Matsui, H. and Tadano, T.	1995	Accumulation of carbon and nitrogen compounds in sweet potato plants grown under deficiency of N, P, or K nutrients.	Soil Sci. Plant Nutri. 41(3): 557-566.
Osaki, M., Matsumoto, M., Shinano, T. and Tadano, T.	1996	A root-shoot interaction hypothesis for high productivity of root crops.	Soil Sci. Plant Nutri. 42(2): 289-301.
大屋一弘	1974	ジャーガル土壌におけるサツマイモ収量におよぼす窒素とりん酸の肥効.	琉球大農学術報 21: 99-107.
大屋一弘	1975	窒素およびりん酸施用量と秋植サツマイモの養分吸収.	琉球大農学術報 22: 191-202.
大屋一弘	1975	(23) 秋植サツマイモの収量におよぼす窒素とりん酸の効果.	土肥要旨集 21: 85.(講要)
Oya, K., Tokashiki, Y. and Ishimine, Y.	1977	Effects of potassium fertilization on the yields of sweet potato autumn crop grown on a calcareous soil of Okinawa.	Sci. Bull. Coll. Agr. Univ. Ryukyus 24: 191-197.
大山金四郎・草水 崇・吉田徳重・福田幸雄	1961	(355) 火山灰畑における磷酸の肥効 (第4報) 菜種大豆甘藷について.	土肥要旨集 7: 58.(講要)
坂本知昭・片山(池上)礼子	2020	砂壤土圃場における異なる施肥方法がサツマイモ品種「兼六」塊根の収量と品質に及ぼす影響.	日作紀 89(1): 29-33.
坂本知昭・片山(池上)礼子	2020	異なる施肥方法が非湛水水田圃場におけるサツマイモ「兼六」塊根の収量と品質に及ぼす影響.	日作紀 89(2): 151-155.
佐伯雄一・下入佐克志・三重野 愛・赤尾勝一郎・杉本安寛・長友由隆	2004	芋製焼酎粕施用農耕地における硝酸態窒素濃度の経時的変化 - 第1報 現地調査 -.	宮崎大農研報 50(1-2): 31-39.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
佐伯雄一・中村扶沙恵・三重野 愛・下入佐克志・赤尾勝一郎・杉本安寛・長友由隆	2004	芋製焼酎粕施用農耕地における硝酸態窒素濃度の経時的変化 第2報 圃場試験.	宮崎大農研報 50(1-2): 41-48.
関川 清・仁平照男・木内 香	1961	(36) 塩化物肥料の甘藷にたいする肥効.	土肥要旨集 7: 82.(講要)
下西 恵・児玉寿人	1987	黒ボク土に対するボラ等の客土が食用カンショの品質に及ぼす影響.	九州農業研究 49: 66.
新庄莉奈・田中愛子・矢野勝也・近藤始彦	2017	土壤の滅菌がサツマイモの生育と窒素固定能へ及ぼす影響 - 作付履歴の異なる土壤間での比較 -.	作物学会講要集 244: 69.(講要)
篠原茂幸・勝木田博人・猪野 誠	1984	(10-20) カンショの収量, 塊根異常症の発生に及ぼす窒素施用量とマルチの影響 (第1報) 紅赤について.	土肥要旨集 30: 171.(講要)
篠原茂幸・勝木田博人・猪野 誠	1985	(45) カンショの収量, 塊根異常症の発生に及ぼす窒素施用量とマルチの影響 (第2報) ベニコマチについて.	土肥要旨集 31: 265.(講要)
篠原茂幸・猪野 誠・勝木田博人	1985	カンショ塊根の粗皮症状の発生と発生株の養分吸収.	千葉農試研報 26: 79-85.
篠原茂幸・猪野 誠・武田英之・岡部達雄・竹内栄次郎・勝木田博人	1986	千葉県香取地域におけるカンショの塊根異常症の発生実態と土壤の化学性.	千葉農試研報 27: 71-80.
篠原茂幸・勝木田博人	1987	(8-34) カンショを基幹とする作付体系における土壤管理法 - 落花生及びサトイモの導入効果 -.	土肥要旨集 33: 134.(講要)
篠原茂幸・猪野 誠・木村伸男・勝木田博人	1987	(2) カンショを基幹とする作付体系における土壤管理法 落花生, サトイモを結合した体系の優良事例.	土肥要旨集 33: 260.(講要)
篠原茂幸・猪野 誠・勝木田博人	1987	黒ボク土壌におけるカンショ・紅赤の窒素施用法.	千葉農試研報 28: 39-50.
篠原茂幸・猪野 誠・木村伸男・勝木田博人	1989	カンショを基幹とした優良作付体系における土壤養分の動態.	千葉農試研報 30: 51-60.
鹽島角次郎・星 静	1936	甘藷の窒素天然供給量に就て.	土肥誌 10(3): 73-76.
鹽島角次郎	1948	甘藷の吸肥能力に就て.	土肥誌 19(3): 71-73.
塩島角次郎・星 静・長谷川 勳	1950	甘藷蔓の肥効に関する試験.	農及園 25(10): (25-26).
塩島角次郎	1952	蒔薯類と施肥の問題.	農業技術研究 6(2): 12-14.
Siqinbatu, Y.K., Hirai, H., Shibuya, T. and Endo, R.	2014	Effects of soil water content on the growth of sweet potato grown in sandy soil.	Eco-engineering 26(3): 75-80.
菅原友太	1938	加里鹽の濃度を考慮せる甘藷の培養比較研究.	土肥誌 12(2): 154-160.
杉島 浩・鶴内孝之	1968	麦-甘藷の作付体系における深耕・多肥の効果について (II) 甘藷の生育・収量.	九州農業研究 30: 111-113.
Sulaiman, H., Sasaki, O., Shimotashiro, T., Chishaki, N. and Inanaga, S.	2004	Effect of calcium concentration on the shape of sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) tuberous root.	Plant Produc. Sci. 7(2): 191-194.
田川一郎・鈴木喜代志・牧 慧	1969	(23) 甘藷澱粉廃水の耕地内放流に関する研究 (第3報) 水稻に対する影響.	土肥要旨集 15: 75.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
高濱雅幹・細淵幸雄・野田智昭・植野玲一郎・宗形信也	2013	(14) 土壌の違いがサツマイモの収量および品質に及ぼす影響.	会報(北海道園芸研究談話会) 47(平25): 32-33.(講要)
建部雅子・米山忠克	1992	カンショ・バレイショのアスコルビン酸含有率に対する窒素および遮光処理の影響.	土肥誌 63(4): 447-454.
田中 明・草場美保子	1997	異なる土壌におけるサツマイモの栽培実験.	海と台地 5: 83-87. (佐賀大海浜台地)
田中福代・山本幸洋・吉永 優・寺門純子・藤原伸介	2004	(12-16) 高アントシアニン作物における桂皮酸誘導体代謝の特徴.	土肥要旨集 50: 110.(講要)
田中福代・藤原伸介	2005	(P10-3) ¹³ Cトレーサー法によるカンショ塊根への新規同化炭素取り込みの特性の解析 カンショデンプン中炭素の ¹³ CアバUNDANSの測定.	土肥要旨集 51: 90.(講要)
豊橋試験地	1950	甘藷に対する硝安石灰窒素施用法.	農芸 3(7): 17-19.
津野幸人	1966	甘藷の乾物生産とカリの肥効.	加里研究 11: 1-10.
内山知二・梯 美仁・小川 仁・中嶋律之・五島博信	2005	(15) 砂地畑でのカンショ栽培における光学式水分センサーの応用 - 各種砂質土壌における単波長センサーのキャリブレーション.	土肥要旨集 51: 289.(講要)
上田理紗子・矢野勝也	2020	サツマイモ窒素固定能に与える土壌養分環境の影響.	作物学会講要集 250: 42.(講要)
上 藪一郎・長友 誠・井上健一・三浦伸之・西裕之・古江広治・大浦典子・佐野智人・須藤重人	2013	(P8-2-10) 黒ボク土畑のキャベツ-サツマイモ栽培体系における施肥窒素由来のN ₂ O排出量.	土肥要旨集 59: 188.(講要)
宇田川義夫	1972	甘しょ栽培と“DD(硝化抑制剤)”入り肥料.	農業と科学 184: 4-5.
宇都木久夫・本田宏一・小坪和男・石川 実	1981	(13) サツマイモの品質に関する調査研究 第1報 土壌の理化学性がサツマイモの形状におよぼす影響.	土肥要旨集 27: 261.(講要)
宇都木久夫・岩瀬一行・本田宏一・小坪和男・石川 実	1984	サツマイモの商品性向上に関する研究 第2報 土壌肥料的にみた丸いもの発生要因とその対策について.	茨城農試研報 23: 109-121.
和田 稔・室田 昇	1966	(13) 豚の甘藷畑多頭放牧が跡地土壌におよぼす影響(第1報).	土肥要旨集 12: 31.(講要)
和田 稔・野中仙三郎・福本 勇・古沢広海	1967	(11) 豚の甘藷畑多頭放飼が跡地土壌に及ぼす影響(第2報).	土肥要旨集 13: 49.(講要)
若澤秀幸・河合 徹・神谷径明・堀田 柏・青島洋一・鈴木則夫・中神敏・山田金一・堀兼 明・堀内正美・高橋和彦・水本順敏・松本昌直	1994	堆きゅう肥の連用が黄色土及び黒ボク土畑土壌に及ぼす影響(第1報) 土壌の理化学性の変化とキャベツ, カンショの収量.	静岡農試研報 38: 85-98.
脇門英美・上村幸廣・嶋野哲也	1992	土壌の違いと甘しょの品質(形状).	九州農業研究 54: 58.
脇門英美・嶋野哲也・上村幸廣	1992	(5) 土壌の違いと甘しょの品質(形状).	土肥要旨集 38: 354.(講要)
脇門英美・上村幸廣・嶋野哲也	1992	土壌の違いがカンショの品質に及ぼす影響.	鹿児島農試研報 20: 11-18.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
脇門英美・小玉泰生・井上健一・上村幸廣	2002	家畜ふん堆肥の連用と気象変動が原料用甘しょの収量に及ぼす影響.	鹿児島農試研報 30: 17-15.
脇門英美・井上健一・上村幸廣	2004	(16-13) 家畜ふん堆肥の連用による原料用甘しょの収量と気象要因の関係.	土肥要旨集 50: 136.(講要)
脇門英美・井上健一・上村幸廣	2004	(4) 豚ふん堆肥の連用が原料用甘しょの収量に及ぼす影響.	土肥要旨集 50: 267.(講要)
渡辺和之・児玉敏夫	1965	土壌の物理性と作物の生育および収量との関係 第III報 土壌容気率, 土壌空気組成と甘藷の生育および収量との関係.	日作紀 33(4): 418-422.
渡辺和之・尾崎 薫・屋敷隆士	1968	土壌の物理性と作物の生育および収量との関係 第VII報 甘藷の塊根肥大におよぼす土壌空気組成ならびに土壌粗密の影響とその相互作用について.	日作紀 37(1): 65-69.
渡辺和之・尾崎 薫	1968	土壌の物理性と作物の生育および収量との関係 第VIII報 通気処理が甘藷の養分吸収および塊根肥大におよぼす影響.	日作紀 37(1): 70-74.
山田 潤	1953	傾斜畑の土壌水分と甘藷の生育・収量.	農業技術 8(6): (32-33.)
山口至一	1955	甘藷の施肥について.	農芸 8(6): ???
山本英記	1992	土壌管理からみた徳島県かんしょの現状と問題点.	いも類振興情報 31: 2-6.
山中捷一郎・田中 明・寺中真紀子	2000	農業廃棄物を原料とする新園芸培地の開発 - サツマイモ栽培による実証試験	九大農學藝誌 54(3-4): 149-156.
安田 登・山根智子・土倉まゆみ・土本浩之・広瀬佳彦・磯上憲一・春日純子・山岸主門・松本真悟・門脇正行	2015	収量, 品質および収益を考慮した島根県の砂丘地でのサツマイモ品種‘ベニアズマ’の栽培における最適窒素施肥量.	農業生産技術管理学会誌 22(3): 81-86.
米山忠克・寺門純子・増田泰三・中西康博・E.V.Dacanay	1997	(11-13) $\delta^{15}\text{N}$ からみたサトウキビ, カンショ, ソルガムの窒素固定.	土肥要旨集 43: 117.(講要)
吉田智彦・北条良夫・村田孝雄	1970	甘しょ塊根の発育に関する研究 深層施肥が塊根収量におよぼす影響.	日作紀 39(1): 105-110.
吉江修司・廣保 正	1950	三要素の欠除期が甘藷の成育に及ぼす影響について. (第20回日本農学会大会講演要旨)	土肥誌 20(3): 92.(講要)
吉江修司・廣保 正	1950	三要素の時期的欠除が甘藷の品質に及ぼす影響に就て. (第21回日本農学大会土壌肥料学部会(II))	土肥誌 21(2): 136-137.(講要)
吉江修司・広保 正	1953	甘藷に対する施肥の基礎的研究.	千葉大園学報 1: 62-76.
吉野 実・北山登喜男・草水 崇・野口純隆・福田幸雄	1965	(16) 甘藷の裂かい現象の原因究明に関する理論的考察.	土肥要旨集 11: 38.(講要)
吉野 実	2965	甘藷に対するPCP尿素の施用法.	農及園 40(10): 1965-1668.
—	1911	第一 甘藷肥料試験其ノ一(四十三年). , 第二 甘藷肥料試験其ノ二(四十三年).	沖縄農事試成績報告 第壹號, pp.4-5, 6-11.

514 内生菌 (endophyto)

足立文彦	2015	島根県でのサツマイモ栽培における窒素固定内生菌の効率的利用 生産者の挿穂栽培条件が窒素固定内生菌と物質生産, 食味関連形質に及ぼす影響の解	島根大学生物資源科学部 ミッション研究課題成果報告書 2014: 158-159.
------	------	---	---

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
安達克樹・中谷 誠・持田秀之	2000	(8-24) カンショに内生する窒素固定細菌の分離.	土肥要旨集 46: 64.(講要)
安達克樹・持田秀之・高畑康浩	2002	(8-14) サツマイモの茎に内生する窒素固定細菌.	土肥要旨集 48: 41.(講要)
Adachi, K., Nakatani M. and Mochida, H.	2002	Isolation of an endophytic diazotroph, <i>Klebsiella oxytoca</i> , from sweet potato stems in Japan.	Soil Sci. Plant Nutri. 48(6): 889-895
Adachi, K., Mochida, H. and Takahata, Y.	2002	Endophytic diazotrophs inhabiting sweetpotato stems.	Sweetpotato Res. Front 14: 1.
A. Jr. Constancio Asis・安達克樹・大脇良成・赤尾勝一郎・田中 勝・高畑康浩・藤原伸介	2005	(8-4) 国内の複数地域で採取したサツマイモ・サトウキビからの内生窒素固定細菌の分離とサツマイモ無菌苗への内生窒素固定細菌の接種試験.	土肥要旨集 51: 50.(講要)
郷間秀夫・木嶋利男	1992	サツマイモ組織より分離された細菌のウリ科植物に対する定着性.	日植病報 58(1): 105.(講要)
井藤和人	2015	島根県でのサツマイモ栽培における窒素固定内生菌の効率的利用 屋上薄層緑化圃場で栽培したサツマイモの窒素固定活性について, サツマイモ内生窒素固定菌の群集構造について.	島根大学生物資源科学部 ミッション研究課題成果報告書 2014: 154-155.
井藤和人	2016	島根県でのサツマイモ栽培における窒素固定内生菌の効率的利用.	島根大学生物資源科学部 ミッション研究課題成果報告書 2015: 52.
門脇正行	2015	島根県でのサツマイモ栽培における窒素固定内生菌の効率的利用 砂土条件下におけるサツマイモの窒素施肥量に対する反応とその品種間差異.	島根大学生物資源科学部 ミッション研究課題成果報告書 2014: 156-157.
門脇正行	2016	島根県でのサツマイモ栽培における窒素固定内生菌の効率的利用 砂土条件下におけるサツマイモの窒素施肥量に対する反応とその品種間差異.	島根大学生物資源科学部 ミッション研究課題成果報告書 2015: 8.
木嶋利男	1990	シクラメンおよびサツマイモの無病徴の組織内から分離される細菌および糸状菌.	日植病報 56(1): 148-149.(講要)
木嶋利男・熊田欽丈	1991	サツマイモの組織内に内在する細菌の諸性状.	日植病報 57(1): 72.(講要)
木嶋利男・郷間秀夫・米内貞夫	1991	サツマイモから分離された細菌を用いたユウガオつる割病およびキュウリつる割病の防除.	日植病報 57(3): 426.(講要)
木嶋利男・郷間秀夫・米内貞夫	1991	サツマイモから分離された細菌を用いたトマト萎ちよう病の防除.	日植病報 57(3): 426.(講要)
木嶋利男	2013	植物病理最前線 健全なシクラメンとサツマイモの組織内から分離される微生物.	医と食 5(6): 278-280.
Loshakova, K., Tanaka, A., Shinjo R., Yano, K. and Kondo, M.	2017	Effect of diazotrophic endophytes on grows in sweet potato.	作物学会講要集 244: 70.(講要)
増原 学・P. VIRAKORNPHANICH・高木洋子・仙北俊弘	1994	圃場におけるサツマイモ (<i>Ipomea batatas</i>) 根へのVA菌根菌の感染.	日植病報 60(3): 319.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
大脇良成・中谷 誠・田中福代・藤原伸介・中澤芳則・吉永 優・田中 勝・安達克樹・米山忠克	2001	(8-25) $\delta^{15}\text{N}$ 値を指標にしたサツマイモ品種の窒素固定能の評価.	土肥要旨集 47: 60.(講要)
大脇良成・寺門純子・山川博幹・田中福代・米山忠克・藤原伸介	2006	サツマイモ体内からのエンドファイト <i>nifH</i> 遺伝子の検出.	植物生理学会講要集 47: 587.
大脇良成・寺門純子・藤原伸介	2009	(8-2) サツマイモより分離した <i>Bradyrhizobium</i> 属内生窒素固定菌の接種効果.	土肥要旨集 55: 55.(講要)
大脇良成・寺門(塔野岡)純子	2014	(P3-2-3) 抗生物質耐性株を用いたサツマイモへのエンドファイト接種効果の解析.	土肥要旨集 60: 45.(講要)
清水 友・A. Asis Jr. Constancio・安達克己・中西康博・佐伯雄一・長友由隆・赤尾勝一郎	2004	(8-3) サツマイモ及びサトウキビに内生する窒素固定エンドファイト細菌の分離と同定.	土肥要旨集 50: 54.(講要)
清水 友・佐伯雄一・A. ASIS Jr Constancio・安達克樹・伊志嶺正人・中西康博・長友由隆・赤尾勝一郎	2004	(22) サツマイモに内生する窒素固定細菌の分離と内生菌の資化性について.	土肥要旨集 50: 320.(講要)
田中愛子・竹本大吾・鈴木孝延・上坂一馬・山口信雄・大谷元泰・中谷内修・荒川賢治・田中伸和	2021	サツマイモに見出された <i>Agrobacterium</i> 由来 <i>Acs</i> 遺伝子の機能解析.	日植病報 87(1): 39.(講要)
田中和憲・清水 友・佐伯雄一・山川武夫・南沢究・赤尾勝一郎	2006	(12) 窒素固定エンドファイトへのGFP(緑色蛍光タンパク質) 遺伝子の導入法の検討.	土肥要旨集 52: 299.(講要)
寺門純子・大脇良成・山川博幹・田中福代・米山忠克・藤原伸介	2005	(8-3) サツマイモ体内からの <i>nifH</i> 遺伝子の検出.	土肥要旨集 51: 49.(講要)
寺門(塔野岡)純子・大脇良成・山川博幹・田中福代・米山忠克・藤原伸介	2006	(P8-12) サツマイモ体内で発現する <i>nifH</i> 遺伝子.	土肥要旨集 52: 49.(講要)
寺門純子・大脇良成・山川博幹・田中福代・米山忠克・藤原伸介	2007	(8-3) サツマイモにおける窒素固定エンドファイトの多様性.	土肥要旨集 53: 52.(講要)
寺門純子・大脇良成・藤原伸介	2008	(P8-7) サツマイモからの窒素固定エンドファイトの分離.	土肥要旨集 54: 66.(講要)
寺門純子・藤原伸介・大脇良成	2010	(P8-2) サツマイモから分離した窒素固定エンドファイトの機能評価.	土肥要旨集 56: 52.(講要)
寺門純子・藤原伸介・大脇良成	2011	(8-23) サツマイモから分離したエンドファイトの窒素固定発現条件の検討.	土肥要旨集 57: 56.(講要)
寺門純子・藤原伸介・大脇良成	2012	(8-1) <i>Bradyrhizobium</i> 属エンドファイトのサツマイモ体内における窒素固定発現条件の検討.	土肥要旨集 58: 46.(講要)
塔野岡(寺門)純子・鈴木章弘・田中福代・大脇良成	2015	(P3-1-8) サツマイモへの窒素固定エンドファイト(<i>Bradyrhizobium</i> sp. AT1)の接種効果.	土肥要旨集 61: 36.(講要)
塔野岡(寺門)純子・鈴木章弘・田中福代・蔵之内利和・大脇良成	2016	(P3-2-2) 窒素固定エンドファイト(<i>Bradyrhizobium</i> sp. AT1)の接種がサツマイモの収量に及ぼす影響.	土肥要旨集 62: 42.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
塔野岡(寺門)純子・田中福代・大脇良成	2021	(P3-2-4) <i>Bradyrhizobium</i> sp. AT1接種によるサツマイモ地下部の生育促進作用. (3-2 土壤生物の応用と制御 2021年度北海道大会)	土肥要旨集 67: 43.(講要)
米林甲陽	2008	(8-15) サツマイモの生長に伴う窒素固定エンドファイトの活性化.	土肥要旨集 54: 61.(講要)
Yoneyama, T., Terakado-Tonooka, J. and Minamisawa, K.	2017	Exploration of bacterial N ₂ -fixation systems in association with soil-grown sugarcane, sweet potato, and paddy rice: a review and synthesis.	Soil Sci. Plant Nutri. 63(6): 578-590.
Zakria, M., Udonishi, K., Ogawa, T., Yamamoto, A., Saeki, Y. and Akao, S.	2008	Influence of inoculation technique on the endophytic colonization of rice by <i>Pantoea</i> sp. isolated from sweet potato and by <i>Enterobacter</i> sp. isolated from sugarcane.	Soil Sci. Plant Nutri. 54(2): 224-236.

515 農業気象			
中馬克己	1951	グレイス颱風による甘藷の潮風害.	農業気象 7(1): 30-32.
大後美保・山中圀利・丸山榮三・大後美保 山中圀利 丸山榮三	1947	“甘藷畑の地温と裸地の地温との比較”, 農業と物理 (鈴木清太郎教授還暦記念論文集).	日本農業気象學會, 東京, pp.1-3.?
大後美保・丸山榮三	1948	斜面に於ける甘藷栽培と微気象.	農業気象 4(4): 50-51.
土井健治郎・篠原和民	1955	甘藷の風水害に関する二・三の調査.	九州農業研究 16: 38.
江口壽彦・北野雅治・江口弘美	1999	サツマイモ塊根の肥大に対する塊根周囲の湿度の影響.	生物環境調節 37(3): 197-201.
江口壽彦・北野雅治・吉田 敏・筑紫二郎	2003	サツマイモ塊根の肥大に対する根温の影響 - 直接のおよび間接的な温度の影響 -.	生物環境調節 41(1): 43-49.
藤田兼吉	1934	甘藷収量と雨量との関係. , 「應用気象調査報告 第1號」. (岐阜測候所 編)	岐阜測候所, pp.27-28.
府川俊夫・井上 元・竹井邦夫・湯山隆郎	1969	神奈川県普通植甘しょの重要生育時期と気象.	農業技術 24(1): 34-35.
古沢典夫	1952	生育相から考察した寒地甘藷の豊凶について (2) - 地下部肥大と気象に就いて 結論 -.	東北農業 5(5-6): 107-109.
原 三郎・府川俊夫	1951	早掘地帯に於ける甘藷の気象感應試験について.	農業気象 6(2): 77-79.
原 三郎	1954	早期収量予想法について - 早掘地帯における甘藷の気象感應試験から -.	農業気象 9(3-4): 91-95.
長谷場徹也・伊藤代次郎	1971	蒸散に関する研究 (3) かんしょの蒸散と蒸散抵抗.	農業気象 27(2): 59-66.
長谷川 浩	1950	甘藷品種の生育に及ぼす高温の影響 (続報).	九州農業研究 7: 55-56.
長谷川 浩・五島憲秋	1953	晩植されたイモ畑の地温について.	農業気象 8(3-4): 89-91.
長谷川 浩・八尋 健	1957	高地温が甘藷の生育に及ぼす影響.	日作紀 26(1): 37-39.
平野烈介	1922	甘藷収量と雨量の完全逆比例.	海と空 2(3): 29-31.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
飯塚隆治	2004	“1.気象要因.”，“2.土壌環境と生育.”，“3.生育期と栄養診断.”，生育環境・栽培条件と収量構成の変動，サツマイモ栽培の基礎理論，サツマイモ，「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教，東京，pp.117-127.
石井孝典・安達克樹	2012	線虫抑制作物を伴う有機畑輪作体系におけるカンショ，葉菜類および飼料用エンバクの収量性	作物学会講要集 234: 24.(講要)
石川大太郎・石黒悦爾・関岡信一・大神修一郎・箱山 晋・川満芳信	2009	分光反射特性によるサツマイモの塊根部重量推定に関する基礎研究.	農業気象 65(2): 191-200.
Islam, A.F.M.S., Kitaya, Y., Hirai, H., Yanase, M., Mori, G. and Kiyota, M.	1997	Effects of placing rice straw, wheat straw and rice husks in soil ridges on growth, morphological characteristics and yield of sweetpotato in wet lowlands.	J.Agr.Met. 53(3): 201-207.
Islam, A.F.M.S., Kitaya, Y., Hirai, H., Yanase, M., Mori, G., Kiyota, M.	2000	Effect of volume of rice husk charcoal masses inside soil ridges on growth of sweetpotato in a wetlowland.	J. Agric. Meteorol. 56(1): 1-9.
井浦 徳・中馬克己	1952	ルース颱風に伴う甘藷の被害調査 第I報 潮風による地上部被害の品種間差異.	九州農業研究 10: 53-54.
井浦 徳・中馬克己	1952	ルース颱風に伴う甘藷の被害調査 第II報 高潮冠水による甘藷の被害.	九州農業研究 10: 55-56.
泉 省吾	1989	甘しょ普通栽培の収量に及ぼす気象の影響について.	日作九州支報 56: 105-108.
泉沢 直・幸田浩俊・石原正敏	1989	(43) 半旬別気象とサツマイモ生育の特徴.	日作関東支報 4: 105-106.(講要)
門脇正行・鎌田晃輔・永見拓朗・西原由香・十倉宏幸・林 司直・安田 登	2013	サツマイモの塊根生産における植被率と地温との関係.	作物学会講要集 236: 256.(講要)
門脇正行・森 千恵子・福田桃子・石投一輝・安田 登	2014	気温または地温がサツマイモの塊根生産に及ぼす影響.	作物学会講要集 238: 95.(講要)
Kano, Y. and Ming, Z.J.	2000	Effects of soil temperature on the thickening growth and the quality of sweetpotatoes during the latter part of their growth.	Environ. Control in Biol. 38(3): 113-120.
Kano, Y. and Mano, K.	2002	The effects of night soil-temperatures on diurnal changes in carbohydrate contents in roots and stems of sweet potatoes (<i>Ipomoea batatas</i> Poir.).	J. Japan. Soc. Hort. Sci. 71(6): 747-751.
川俣 稔・築島安宏・佐藤虎雄	1957	甘藷蔓利用の防風柵が陸稲に及ぼす防風効果について.	農業気象 12(4): 128-130.
木村和義・田中丸 重美・有吉美智代	1980	雨と植物反応に関する研究 (I) 乾物生産に対する降雨の影響.	農業気象 36(3): 189-195.
木村和義・田中丸 重美	1981	雨と植物反応に関する研究 (II) 晴天時の乾物生産に対するミスト処理の影響.	農業気象 37(3): 231-237.
木村和義・田中丸 重美	1982	雨と植物反応に関する研究 (III) 雨中における気孔の状態.	農業気象 38(3): 239-243.
木村和義・田中丸 重美・有吉美智代	1982	雨と植物反応に関する研究 (IV) 葉の伸長に対する降雨の影響.	農業気象 38(3): 295-301.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
木村和義	1984	雨と植物反応に関する研究 (VI) 降雨後の萎凋現象.	農業気象 39(4): 271-279.
児玉三郎・古谷義人	1963	降霜後における甘藷の品質・収量の変化.	日作九州支報 20: 44-45.
古明地通孝・財津昌幸・井口武夫・田中滋郎	1983	暖地におけるカンショの生長解析 1. 乾物生産の年次変動とその気象要因.	日作九州支報 50: 57-61.
三原義秋	1947	盛夏の畑の地温に就いて.	農業気象 3(1): 11-13.
宮川英一	1949	甘藷栽培に於ける畦の問題.	農業気象 5(2): 63-65.
中川行夫	1957	植物体温に関する研究.	農業気象 12(3): 101-104.
西原 悟・福元伸一	2008	サツマイモにおける気象変動と収量・でん粉歩留 第1報 コガネセンガンにおける関係.	九州農業研究発表会要旨集 71: 24.(講要)
西原 悟・福元伸一	2009	サツマイモにおける気象変動と収量・でん粉歩留 第2報 シロユタカにおける関係.	九州農業研究発表会要旨集 72: 33.(講要)
西原 悟・福元伸一	2010	「コガネセンガン」・「シロユタカ」における気象と収量・でん粉歩留の関係.	日作九州支報 76: 28-30.
西宮 聡	2011	平成22年産サツマイモへの高温・早魃の影響と対策.	いも類振興情報 107: 12-15.
西内 光・宮川逸平	1951	相異なる地温系がサツマイモ生育に及ぼす影響.	農業気象 6(3-4): 157-159.
Nishiuchi, H.	1953	Experiment of artificial tuberization of the root of sweet potato in a glass pipe by the temperature gradient referring to the effect of the temperature-system, and relation of the partial moisture to the tuberization. (Agriculture) .	Bull. Naniwa Univ. Ser. B, Agric. Natur. Sci. (Zoology and botany) 3: 115-118.
西内 光	1957	サツマイモの根における温度傾度による炭水化物移動効果と塊根肥厚との数理的対応.	農業気象 13(2): 64-68.
西内 光	1961	地温系とサツマイモ塊根形成に関する研究. (学会賞受賞講演)	農業気象 17(1): 33-35.(講要)
能勢朝夫・百瀬成夫	1949	甘藷生育に関する生物気象學的研究 (I).	農業気象 5(2): 61-62.
大場和彦	1988	南九州におけるサツマイモ畑の蒸発散.	農業気象 44(2): 91-99.
小笠原秀雄・中谷眞也	1950	岩手縣に於ける甘藷の収量と気象との関係.	園学雑 19(3-4): 225-228.
佐藤正一	1949	圓錐丘斜面の甘藷栽培試験.	農業気象 5(1): 1-4.
関岡 行・江原 薫	1961	甘藷地下部の層別収量と地中温度日変化との関係について.	日作九州支報 17: 39-41.
角 明夫・郡山朋子	2013	甘藷 (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.) 収量の気象的予測の可能性.	日作紀 82(4): 369-377.
鈴木晴雄・上原勝樹・宮川秀夫	1977	畦面被覆の微気象に関する研究 III 被覆の資材・方法の相違が作物の生育に及ぼす影響 (その2).	香川大農報 28: 51-62.
鈴木晴雄・広吉功行・宮本硬一	1982	畦面被覆の微気象に関する研究 VI 甘藷の植被と黒色ポリエチレンフィルムが地温に及ぼす影響.	香川大農報 34(1): 13-22.
高須謙一・木村和義	1970	圃場の微細気象 (1) 甘藷畑の気温, 湿度, 地温, 炭酸ガス濃度の日変化.	農学研究 53(3): 167-179.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
高須謙一・木村和義	1972	圃場の微細気象(4) 露場,甘藷畑,大豆畑,稲田の微気象の比較.	農学研究 54(3): 121-124.
田村市太郎・小堀貞一	1951	気温較差と甘藷の収量豫想に就いて.	農業気象 6(2): 75-76.
田中 勝・小林 晃・甲斐由美・境 哲文・田淵宏朗・高畑康浩	2015	サツマイモ品種「コガネセンガン」の収量やでん粉含量に影響を及ぼす気象要因の解析.	九州農業研究発表会要旨集 78: 41.(講要)
田中 勝・小林 晃・甲斐由美・境 哲文・田淵宏朗・高畑康浩	2017	サツマイモ品種の収量およびでん粉含量と栽培期間中の月別気象条件の関係.	九州農業研究発表会要旨集 80: 33.(講要)

520 増殖・栽培

521 組織培養・養液栽培

馬場 透	2004	“茎頂培養の意義と問題点.”, 当面する技術課題, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.275-279.
Belarmino, B.M., Abe, T. and Sasahara, T.	1992	Efficient plant regeneration from leaf calli of <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam and its related species.	Japan J. Breeding 42(1): 109-114.
陳蘭莊・杜召生・寺尾寛行・續 栄治	2004	茎頂・脇芽培養によるウイルスフリーかんしょ種苗の大量増殖法の確立.	宮崎大農研報 50(1-2): 1-9.
Chen, L., Du, Z., Hamaguchi, T., Sugita, T., Nagata, R., Terao, H. and Tsuzaki, E.	2008	Clonal propagation and quick detection of virus-free plants of sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> .	Bull. Minamikyushu Univ. 38A: 1-5.
Chen, L., Du, Z.S., Nishimura, Y., Hamaguchi, T., Sugita, T., Nagata, R., Terao, H. and Tsuzaki, E.	2010	Approach to establishment of plant regeneration and transformation system in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i>) by culture of leaf segments.	Bull. Minamikyushu Univ. 40A: 59-63.
杜召生・陳蘭莊・下郡正樹・寺尾寛行・續 栄治	2002	(1Ca-06) 茎頂培養によるウイルスフリーかんしょ種苗の大量増殖法の確立について.	第20回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム(奈良)
江口壽彦・北野雅治・江口弘美	1998	サツマイモにおける水分状態と塊根生長速度の動態.	生物環境調節 36(2): 91-95.
Eguchi, T. and Yoshida, S.	2004	A cultivation method to ensure tuberous root formation in sweetpotatoes (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.)	Environ. Control in Biol. 42(4): 259-266.
江口壽彦・森山修志・立石淳一・宮島郁夫・筑紫二郎・吉田 敏	2007	(P151) 茎葉利用サツマイモ品種‘すいおう’の養液栽培に関する基礎研究(第2報)培養液濃度および光強度が収量・品質に及ぼす影響.	園学雑別冊(H19秋): P151.(講要)
江口壽彦・森山修志・宮島郁夫・吉田 敏・筑紫二郎	2007	サツマイモ品種‘すいおう’の茎葉生産に適する養液栽培方式.	植物環境工学 19(4): 167-174.
藤原雅哉・久保田智恵利・古在豊樹・酒見幸助	2002	(20) 閉鎖型苗生産システムにおけるサツマイモセル成型苗の生育に及ぼす栽植密度の影響	熱帯農業 46(別2): 39-40.(講要)
藤原雅哉・門田太志・全昶厚・古在豊樹	2003	閉鎖型苗生産システムにおけるサツマイモ増殖体生産数と電気エネルギー消費量に及ぼすトレイのセル溶積の影響.	生物環境調節 41(3): 271-277.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
長谷川晃一・松田美果・種坂英次・吉田元信	2012	サツマイモ <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.における細胞融合と植物体再生.	作物研究 57 : 17-22.
長谷川理成・井上 満・大越一雄	1997	(34) サツマイモウイルスフリー苗増殖における増殖方法が収量・品質へ及ぼす影響.	日作関東支報 12: 94-95. (講要)
橋本 尚・松本 淳・西村康平	2004	2) サツマイモ優良系統のウイルスフリー化と増殖.	砂丘野菜試験成績書 2001/2002, 64-65.
橋本 尚・西村康平	2005	根域管理と遠隔操作による担い手にやさしい野菜の養水分管理システムの実用化研究 2) サツマイモの遠隔監視・制御による養水分管理システム.	砂丘野菜試験成績書 2003/2004: 51-52.
橋本 尚・増田大祐	2005	根域管理と遠隔操作による担い手にやさしい野菜の養水分管理システムの実用化 2) サツマイモの遠隔監視・制御による養水分管理システム.	砂丘野菜試験成績書 2003/2004: 127-129.
林 裕美子・野末雅之	1987	サツマイモ懸濁培養細胞の希釈効果による1-0-p-クマロイル-D-グルコースの生成誘導とイソクロロゲン酸の蓄積.	植物組織培養 4(別): 200. (講要)
林田英一	1992	振とう培養によるかんしょ「高系14号」の冬芽体の形成.	日作九州支報 59: 64-66.
林田英一・田中正美	1993	液体振とう培養によるかんしょ多芽体の形成.	熊本農研セ研報 3: 1-8.
Heo, J. and Kozai, T	1999	Forced ventilation micropropagation system for enhancing photosynthesis, growth, and development of sweetpotato plantlets.	Environ. Control in Biol. 37(1): 83-92.
北條良夫	1973	カンショ塊根起源のカルス形成.	農技研報告 D24: 1-33.
市 隆人・多田幹郎	1992	サツマイモ“紅隼人”(<i>Ipomoea batatas</i> L. cv. Benihayato)からの培養細胞の誘導と高カロテノイド色素生産細胞の選抜.	岡山大農報告 80(1): 61-68.
位田晴久・藪押睦幸	2002	培地中の糖および寒天濃度, 光強度がサツマイモ培養小植物体の成長および炭素吸収に及ぼす影響.	植物工場学会誌 14(1): 38-43.
猪野 誠	2004	“ウイルスフリー苗の利用.”, 当面する技術課題, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.275-279.
石井 勝	1991	帯状粗皮・退色症防止のためのサツマイモウイルスフリー苗の実用化.	農耕と園芸 : 102-105.
伊敷弘俊・リュウ ユインシャ	2002	(14) サツマイモのカルスからの植物体再分化.	熱帯農業 46(別1): 27-28. (講要)
Islam, A.F.M.S., Kitaya Y., Hirai, H., Yanase, M., Mori, G. and Kiyota, M.	1997	Growth characteristics and yield of sweetpotato grown by a modified hydroponic cultivation method under field conditions in a wet lowland.	Environ. Control in Biol. 35(2): 123-129.
上和田 勉	1992	試してみませんか・サツマイモの養液栽培.	いも類振興情報 32: 2-6.
軽部 稔・下西 恵・樽本 勲	1994	サツマイモの不定根経路による植物体再生.	九州農業研究 56: 54.
春日井新一郎	1935	甘藷の水耕法について.	日作紀 7(1): 12-18.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
加藤三郎・坂元政寛・富山一男・梅木佳良	1999	カンショ茎頂培養苗の養液育苗における養液濃度と採苗方法.	九州農業研究 61: 15.
Kokubu, T. and Sato, M.	1988	Isolation and culture of petiole protoplasts of sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam. and its related species	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 24: 83-89.
Kokubu, T., Liu, Q.C. and Sato, M.	1993	Somatic embryogenesis and plant regeneration in shoot tip cultures of sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 29: 53-57.
小巻克巳・久木村 久	1988	カンショの不定胚形成の品種系統間差異.	九州農業研究 50: 51.
Konczak-Islam, I.・吉永優・中谷 誠	1998	アントシアニン色素合成能を有するカンショの培養細胞系の開発.	九州農業研究 60: 39.
Konczak-Islam, I., Nakatani, M., Yoshinaga, M. and	2001	Effect of ammonium ion and temperature on anthocyanin composition in sweet potato cell suspension culture.	Plant Biotechnology 18(2): 109-117.
近藤恵美子・佐藤光興・橋本光司	1992	サツマイモウイルスフリー株の育成と実用化.	埼玉園試研報 19: 1-18.
久根 敏・野末雅之	1985	サツマイモ培養細胞におけるスコポリン生成.	植物組織培養 2(別): 92.(講要)
桑沢 悟・野末雅之	1985	サツマイモ培養細胞における光誘導アントシアニン生成.	植物組織培養 2(別): 90.(講要)
李榮日・姜權圭・亀谷壽昭	1995	Sweet PotatoのSuspension Cellに γ -ray線照射による再分化植物から變異株の選抜.	植物組織培養 12(別): 35.(講要)
Liu, Q.C., Kokubu, T. and Sato, M.	1990	Plant regeneration in stem, petiole and leaf explant cultures of <i>Ipomoea triloba</i>	Japan J. Breeding 40(3): 321-327.
Liu, Q.C., Kokubu, T. and Sato, M.	1991	Plant regeneration from <i>Ipomoea triloba</i> L. protoplasts.	Japan J. Breeding 41(1): 103-108.
Liu, Q.C., Kokubu, T. and Sato, M.	1992	Plant regeneration from callus and protoplasts of sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 28: 47-53.
Liu, Q.C., Kokubu, T. and Sato, M.	1993	Varietal differences of somatic embryogenesis in shoot tip cultures of sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 29: 39-42.
Liu, Q.C., Kokubu, T. and Sato, M.	1994	Studies on basic conditions of protoplast electrofusion in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.) and its related species.	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 30: 31-34.
ロク イイヒン・大山克己・久保田智恵利・チンタコーヴィッド ワッチャラ・古在豊樹	2002	閉鎖型苗生産システムにおけるサツマイモ増殖体生産速度と消費電力量に及ぼす増殖法の影響.	生物環境調節 40(3): 311-316.
増田大祐・橋本 尚	2005	特産園芸作物の優良品種選抜・育成技術研究 2)サツマイモ優良系統のウイルスフリー化と増殖(1)ウイルスフリー化系統の特性調査.	砂丘野菜試験成績書 2003/2004: 118-120.
宮本 勝・横田国夫・飯田幸彦・岡野克紀・平津秀雄	2009	サツマイモウイルスフリー新系統「べにまさりフリー系122」, 「べにまさりフリー系128」, 「ベニアズマフリー系88」.	茨城農総セ生工研研報 11: 1-8.
三好 理・久保深雪・野村 研	2010	(27) サツマイモ品種 'くりまさり' ウイルスフリー系統No.4の育成.	日作関東支報 25: 62-63.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Murata, T., Hoshino, K. and Miyaji, Y.	1987	Callus formation and plant regeneration from petiole protoplast of sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> (L.) LAM.	Japan J. Breeding 37(3): 291-298.
村田達郎・福岡壽夫・宮司佑三	1989	サツマイモの茎頂培養における培地条件の検討.	九州東海大農紀要 8: 9-14.
村田達郎・星野匡樹・福岡壽夫	1989	サツマイモのプロトプラスト培養における各種アミノ酸の影響.	九州東海大農紀要 8: 23-27.
村田達郎・福岡壽夫	1991	サツマイモの茎カルスからの植物体再分化と回転培養による大量増殖.	九州東海大農紀要 10: 37-44.
村田達郎・福岡壽夫	1993	サツマイモの薬培養による植物体再分化.	九州東海大農紀要 12: 1-9.
村田達郎・福岡壽夫	1994	サツマイモの胚珠培養 I. 前処理および培養条件.	九州東海大農紀要 13: 15-20.
長田龍太郎	1989	“带状粗皮症対策としての茎頂培養苗の利用”, 個別技術の課題と検討, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 13」(農文協編).	農文教, 東京, pp.269-276
中島哲夫・山口俊彦	1968	サツマイモの塊根組織を起原とするカルスの培養条件について.	日作紀 37(2): 247-253.
中島哲夫・山口俊彦	1968	サツマイモの塊根組織を起原とするカルスの組織学的観察.	日作紀 37(4): 619-623.
中島哲夫・川上雄三	1969	サツマイモの培養根における不定芽原基の分化	日作紀 38(3): 454-458..
Nakatani, M.	1994	In vitro formation of tuberous roots in sweetpotato.	Jpn. J. Crop. Sci. 63(1): 158-159.
西牧岳人・野末雅之	1984	(2Da-8) アントシアニン高生産サツマイモ培養細胞からのプロトプラストの単離と培養.	植物生理学会講要集24: 205.
西牧岳人・野末雅之	1985	アントシアニン生成サツマイモ培養細胞から単離したプロトプラストの培養.	植物組織培養 2(別): 93.(講要)
Nishiyama, Y. and Yamakawa, T.	2004	Effect of medium composition on the production of anthocyanins by hairy root cultures of <i>Ipomoea batatas</i> .	Plant Biotechnology 21(5): 411-414.
野末雅之・河合 仁	1983	(3Ca-3) サツマイモ培養細胞におけるアントシアニン高生産性カルスの選抜.	植物生理学会講要集23: 278.
野末雅之・武居達朗	1984	(2Da-7) サツマイモ培養細胞におけるアントシアニン生成誘導.	植物生理学会講要集24: 204.
野末雅之・安田 斉	1985	サツマイモ培養細胞のアントシアニン生成におけるアントシアノプラストの出現.	植物組織培養 2(別): 91.(講要)
野末雅之・秋山よしの・河合 仁	1985	サツマイモ培養細胞におけるアントシアニン生産株および非生産株の選抜.	植物組織培養 2(別): 89.(講要)
大賀康之・古野久美・小野正則	1989	カンショのウイルスフリー苗の大量増殖法とフリー化の効果.	福岡農総試研報A(作物)9: 71-74.
岡野克紀・宮本 勝・横田国夫・飯田幸彦・池田千亜紀・平澤秀雄	2012	サツマイモウイルスフリー系統「ベニアズマフリー系114」の育成.	茨城農総セ生工研研報 12: 1-5.
大越一雄	2002	サツマイモウイルスフリー苗の実用化に関する研究.	千葉農総研特別報告 1: 61-120.
大谷基泰・島田多喜子	1989	<i>Ipomoea trichocarpa</i> ELL. の葉カルスからの植物体再分化へのABAの効果.	北陸作物学会報 24: 45-46.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
大谷基泰・島田多喜子・木庭卓人・新関宏夫	1987	サツマイモ懸濁培養細胞由来プロトプラストの培養.	植物組織培養 4(別): 217. (講要)
大谷基泰・島田多喜子	1988	<i>Ipomoea trichocarpa</i> ELL.の葉カルスからの植物体再分化	育雑 38(2): 205-211.
大谷基泰・島田多喜子	1988	サツマイモ培養細胞由来プロトプラストの培養.	植物組織培養 5(1): 26-28.
大谷基泰・鎌田 博・三位正洋	1989	<i>Agrobacterium rhizogenes</i> による <i>Ipomoea</i> 属植物からの毛状根形成と植物体再生.	植物組織培養 6(別): 140. (講要)
大谷基泰・三位正洋・半田 高・島田多喜子	1991	Riプラスミドによるサツマイモの形質転換.	植物組織培養 8(別): 164. (講要)
Otani, M., Mii, M. and Shimada, T.	1996	High frequency plant regeneration from leaf calli in sweet potato cv. Chugoku 25.	Plant Tissue Culture Letters 13(1): 23-27.
Pido, N., Koyama, Y., Kakeda, K. and Shiotani, I.	1995	Plant regeneration from leaf disks and stem segments of sweet potato using only NAA as supplementary growth regulator.	Plant Tissue Culture Letters 12(3): 289-296.
島田多喜子・大谷基泰・木庭卓人・新関宏夫	1987	サツマイモ葉肉プロトプラストの単離と培養.	植物組織培養 4(別): 216. (講要)
下中雅仁・野口安男・鹿島美彦	2003	栄養繁殖性作物のウイルスフリー化試験 (1) サツマイモのウイルスフリー化とその収量および外観品質への効果.	鳥取園試報告 6: 27-35.
下西 恵・軽部 稔・久木村 久	1992	サツマイモ腋芽の生長抑制による <i>in vitro</i> 保存法 第1報 生育抑制要因の検討.	九州農業研究 54: 22.
下西 恵・軽部 稔	1997	サツマイモ不定胚形成系の改善.	鹿児島農試研報 25: 89-96.
惣宇利正善・加藤 朗・野末雅之	1991	サツマイモ培養細胞におけるイソクロロゲン酸合成酵素 (Chlorogenic acid: ChlorUgenate Caffeoy ltransferase)の精製と諸性質の検討.	植物組織培養 8(別): 165. (講要)
Suga, H.	1977	Promotion of flowering in sweet potato by gibberellin A ₃ and A ₇ .	Japan J. Breeding 27(3): 251-256.
菅原友太	1938	甘藷の水耕実験.	農及園 13(): 185-190.
菅原友太	1945	甘藷の滴下水耕法について.	農及園 20(): 9-12.
杉尾昌嗣・大田哲史	2017	かんしょ優良系統種苗の保持培養における長期培養培地.	九州農業研究発表会要旨集 80: 29. (講要)
杉山民二・賛田雄樹・入江夕子・橋爪 斌	1988	<i>Ipomoea</i> 属カルスのサイトカイニン生産.	植物組織培養 5(2): 93-95.
鈴木高広・坂本 勝・森岡 航・石橋俊介	2016	甘藷の大量生産技術の普及のための半水耕栽培システムの開発.	太陽/風力エネルギー講演論文集 2016: 253-256.
内野明仁・ほか	2002	茎頂培養による作物ウイルス病の環境保全的防除法の実証的研究 1.サツマイモ(品種ヘルシーレッド)の茎頂培養によるウイルスフリー化.	鯉淵学園教育研究報告 18: 11-14.
上和田 勉	1983	サツマイモの水耕栽培について.	近畿・作物育種談話会報 28: 74-76.
上和田 勉	1987	サツマイモの水耕栽培に関する研究 (4) - 茎葉部温と根部温の高低関係(相対的)が塊根形成に及ぼす影響 -.	近畿・作物育種研究 32: 60-64.
上和田 勉	1990	サツマイモの養液栽培に関する研究.	生物環境調節 28(4): 135-140.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
臼井英夫	2002	(1Ca-04) サツマイモ葉肉細胞からカルスを経由しての個体再生.	第20回日本植物細胞分子生物学会大会・シンポジウム(奈良)
Wang, J.S., Taura, S., Sato, M. and Kokubu, T.	1998	Efficient plant regeneration from petiole protoplasts of sweet potato cv. 'Genki'.	Plant Biotechnology 15(1): 41-43.
Wang, J.S., Sato, M., Taura, S. and Kokubu, T.	1998	Efficient embryogenic callus formation and plant regeneration in shoot tip cultures of sweet potato.	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 34: 61-64.
Wang, J.S., Sato, M., Taura, S. and Kokubu, T.	1998	Efficient plant regeneration from protoplasts of sweet potato, <i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 34: 65-70.
Wang, J.S., Sakai, T., Sato, M., Taura, S. and Kokubu, T.	1998	Characteristics of regenerated plant from protoplast fusions between sweet potato and its related species.	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 34: 71-76.
Xu, W., Morita, K., Yamada, K., Kondo, M., Nishimura, M., Shioiri, H., Kojima, M. and Nozoe, M.	2001	Expression and localization of a 36-kDa peptide derived from a 24-kDa vacuolar protein (VP24) precursor in anthocyanin-producing sweet potato cells in suspension culture.	Plant Biotechnology 18(3): 203-208.
山田千佳子・大山克己・古在豊樹	2000	閉鎖型苗生産システムにおけるサツマイモ植物個体群の純光合成速度の経日変化.	生物環境調節 38(4): 247-254.
山田千佳子・大山克己・古在豊樹	2000	閉鎖型苗生産システムにおける電気エネルギー消費量削減のための光合成有効光量子束調節.	生物環境調節 38(4): 255-261.
山田紫保・秋田 求・太田喜元	2001	培養条件下におけるサツマイモ根の生育促進法について.	近畿大学先端技術総合研究所紀要 6: 25-28.
山口俊彦・中島哲夫	1972	サツマイモの培養組織における不定芽の形成におよぼすアブサイシン酸の影響.	日作紀 41(4): 531-532.
山口俊彦	1978	甘藷塊根の培養組織における植物体復原に関する研究.	大阪府立大学紀要(農学・生物学) 30: 55-58.
横田国夫・飯田幸彦・桐原俊明・樫村英一・須賀立夫	2002	サツマイモ品種「ベニアズマ」のウイルスフリー系統「B-27」.	茨城農総生工研研報 5: 53-59.
吉田文武・川九邦雄・高久仁男	1970	タバコおよびサツマイモの培養遊離細胞によるイオン吸収におけるCaとMgの機能について.	玉川大農研報 10: 13-17.
吉永 優・久木村久	1990	カンショの <i>in vitro</i> におけるウイルスフリー化.	九州農業研究 52: 39.
吉永 優・小巻克巳	1993	カンショの葉身及びembryogenic callus由来プロトプラストからのカルス形成及び不定根の分化.	九州農試報 28(1): 17-28.
吉永 優・山川 理	2001	サツマイモ胚様体からの再生植物体で認められた形態的異常.	日作九州支報 67: 40-42.

522 育苗・増殖

Adachi, K., Sugimoto, M., Omine, M., Sawamura, N., Ishii T. and Kobayashi, T.	2012	Transplantation method of half-cut tuber seedlings in sweetpotato cultivar Murakimasari.	Sweetpotato Res. Front 28: 3.
---	------	--	-------------------------------

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Adachi, K., Omine, M., Sugimoto, M., Ishii, T., Niimi, H., Suzuki, T., Kamebayashi, M., Takada, M., Akira Gotoh, A. and Yokoyama, K.	2016	Yield-enhancing and tuber-downsizing effects of transplantation cultivation method of case-held tuber seedlings in the sweet potato cultivar Beniharuka.	Plant Produc. Sci. 19(1): 125-131.
新井 勇	1954	黒色ビニールによる甘藷の簡易育苗(上).	農業信州 37(2): 24-26.
新井 勇	1954	黒色ビニールによる甘藷の簡易育苗(下).	農業信州 37(3): 24-25.
有馬 進・芝山秀次郎・野間貴文・山下正隆	2004	サツマイモ塊根片付き苗の萌芽・苗質の品種比較.	日作九州支報 70: 40-42.
有馬 進・山下正隆・鄭紹輝	2005	海浜台地におけるサツマイモの高品質・省力栽培に関する研究 1 塊根片を利用した新たな育苗法と移植技術の開発.	Coastal bioenvironment 4: 37-44.
有馬 進・鄭紹輝・鈴木章弘・寺森香織・山下正隆	2006	サツマイモの塊根片付き苗の育苗と栽培に関する二,三の知見	日作九州支報 72: 35-36.
浅野満夫・中馬克己	1956	甘藷露地ビニール育苗による麦間挿苗の実績展示成績について.	九州作物談話會報(10), 73-75, 1956
中馬克己・他	1956	甘藷の露地ビニール育苗法に関する試験.	九州農業研究
中馬克己・他	1956	甘藷の露地ビニール育苗法に関する試験.	農及園 31(8):
中馬克己・池田丈助・吉松 進	1958	暖地に於ける甘藷の露地ビニール育苗法.	九州農業研究 20: 50-53.
(大日本農會)	1886	蕃薯苗養成新法.	大日本農會報告 58: 40.
遠藤沖吉	1948	甘藷の成育条件と腐敗の難易との関係耐腐甘藷の作成方法.	日作紀 16(3-4): 58.
藤原雅哉・久保田智恵利・古在豊樹・酒見幸助	2002	(20) 閉鎖型苗生産システムにおけるサツマイモセル成型苗の生育に及ぼす栽植密度の影響.	熱帯農業 46(別2): 39-40.
藤原雅哉・古在豊樹・久保田智恵利・高垣美智子・酒見幸助	2003	閉鎖型苗生産システムにおける栽植密度がサツマイモ増殖体生産数, 電気エネルギー消費量および圃場定植後の塊根収量に及ぼす影響.	熱帯農業 47(4): 286-297.
福川 進	1977	オガ屑堆肥利用と甘藷育苗.	農及園 52(5): 673-675.
船越秀輝・清水洋一・川満芳信	2009	エコロジーを考えた植物培養の実践 - 家畜排泄物メタン発酵消化液を用いた紅イモ苗の増殖培地の検討.	エネルギー環境教育研究 3(2): 59-64.
古沢典夫	1951	種藷の選び方と伏込み前の予措について - 甘藷作のスタートに対する一般的助言として -.	農業普及 3(4): 10-12.
我謝栄彦	1948	甘藷秋苗床設置.	沖縄農業 (與儀農事試) 2(3):
後藤梅雄	1954	暖地甘藷育苗法の改善.	農業技術 9(3): (25-27.)
林 政衛・三輪 晋	1965	甘藷の催芽育苗法に関する研究.	千葉農試研報 6: 1-23.
本田 仁・岩間志郎	1958	甘しょ育苗における床土の効果について.	茨城農試研報 1: 59-63.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
本田 仁・岩間志郎	1959	ビニール利用の甘藷育苗法に関する研究.	茨城農試研報 2: 37-43.
堀野俊郎	1979	皮部組織切片による甘しょの幼苗生産.	農業技術 34(6): 263-264.
石川 実・他	1956	ビニール利用の甘藷冷床育苗法.	農及園 31(3):
井浦 徳・白坂 進	1955	甘藷の育苗法比較試験.	九州農業研究 16: 85.
井浦 徳・丸峯正吉	1955	甘藷の萌芽性に関する研究 第4報. 甘藷品種の種藪の萌芽部位並びに萌芽の分枝体系に関する研究.	九州作物談話會報 (9), 42-44, 1955
井浦 徳	1964	大きさを異にする種藪の伏込密度と採苗数並びにその苗の素質と収量との関係.	日作九州支報 22: 10-12.
門脇正行・安田 登・土本浩之	2012	サツマイモ苗の効率的生産方法に関する研究 摘心と栽植密度が苗生産本数に及ぼす影響.	島根大学生物資源科学部研究報告 17: 58-59.
梶本 明	1969	食用甘しょの栽培法に関する研究 第1報 ポリマルチが生育収量におよぼす影響.	日作九州支報 32: 69-71.
神山芳典・古沢典夫	1973	甘藷のビニール冷床育苗法について.	東北農業研究 14: 192-195.
加藤仁平	1949	甘藷育苗の要領.	農村 27(4): 2, 33.
柏木伸哉・上妻道紀・藤田英介	2002	カンショ育苗技術の確立 第1報 挿し床での栽植密度が採苗数・苗質に及ぼす影響.	九州農業研究 64: 47.
加藤三郎・坂元政寛・梅木佳良・下郡正樹	2001	カンショ茎頂培養苗の電熱線利用育苗法.	九州農業研究 63: 24.
川延謙造・菅原清康	1953	甘藷苗床に対する尿素葉面撒布の利用-予報-.	農及園 28(3): 404.
川延謙造	1954	尿素葉面撒布による甘藷苗の発根促進法.	農及園 29(12): 1519-1522.
川崎通夫・松田智明	2001	イモ類作物の地下貯蔵器官におけるアミロプラストに関する形態学的研究.	根の研究 10(3): 99-108.
川崎通夫・松田智明	2002	イモ類作物の地下貯蔵器官におけるデンプンの合成と蓄積に関する微細構造. [根の研究の最前線 4]	農及園 77(9):1028-1036.
小林五郎	1955	甘藷露地育苗様式の改善について.	山口農試彙報 5: 19-
小林 透・石井孝典	2008	サツマイモ直播き栽培における種いもホルモン処理が出芽に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集 71: 26. (講要)
児玉三郎・中馬克己	1966	甘しょ多収穫栽培の解析的研究 第1報 多収畑および普通畑における生育相の差異.	日作九州支報 27: 29-30.
児玉三郎・田上三夫	1967	甘しょ多収穫栽培の解析的研究 第II報 多収畑および普通畑における理化学的諸性質について.	日作九州支報 29: 37-38.
児玉敏夫	1951	その土地土地の甘藷の苗づくり.	農業毎日 5(3): 16-17.
ロク イイ ヒン・大山克己・久保田智恵利・古在豊樹	2002	閉鎖型苗生産システムにおけるサツマイモ増殖体生産速度と消費電力量に及ぼす栽植密度の影響.	植物工場学会誌 14(1): 10-17.
LOK Yee Hin・大山克己・久保田智恵利・CHINTAKOVID Watcharra・古在豊樹	2002	閉鎖型苗生産システムにおけるサツマイモ増殖体生産速度と消費電力量に及ぼす増殖法の影響.	生物環境調節 40(3): 311-316
丸峯正吉・坂本 敏	1977	かんしょ萌芽性の判定について.	日作九州支報 43: 44-46.
町田治幸	1989	“暖地早掘り栽培”, 各作型での基本技術と生理, サツマイモ, 野菜園芸大百科 13 (農文協 編).	農文教, 東京, pp.247-255.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
松原茂樹	1950	“甘藷の電熱育苗に就て.”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園芸中央会編).	日本園藝中央會, 社村(長野県北安曇郡), pp.139-(0089.jp2)
三輪 晋	1989	“中間地普通栽培”, 各作型での基本技術と生理, サツマイモ, 野菜園芸大百科13 (農文協 編).	農文教, 東京, pp.229-246.
宮路龍典	1961	早掘かんしょの早熟化に関する研究 第1報 早掘用品種について.	九州農業研究 23: 174-175.
宮路龍典	1961	早掘かんしょの早熟化に関する研究 第2報 保温法について.	九州農業研究 23: 175-177.
宮路龍典	1961	早掘かんしょの早熟化に関する研究 第3報 トンネル栽培における栽植時期について.	九州農業研究 23: 177-178.
宮路龍典	1961	早掘かんしょの早熟化に関する研究 第4報 トンネル栽培における栽植密度について.	九州農業研究 23: 178-179.
中村三七郎・小倉弘司	1958	接木による甘藷萌芽の抑制 (第1報).	鹿児島大農学術報告 7: 140-142.
中谷 誠	1997	植物の根に関する諸問題 (49) サツマイモの根の発育と生産性 (1). [根の研究の最前線 2]	農及園 72(8):921-927.
中谷 誠	1997	植物の根に関する諸問題 (50) サツマイモの根の発育と生産性 (2). [根の研究の最前線 2]	農及園 72(9):1040-1044.
中谷 誠	2004	“苗の生産技術.”, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.137-147.
新美 洋・鈴木崇之	2013	トンネルーマルチ二重被覆によるサツマイモ有機圃場育苗.	九州農業研究発表会要旨集 76: 18.(講要)
西尾隆雄	1952	甘藷の育苗について.	農産:家庭と農藝 7(4): 14-16.
農林省園藝試験場	1934	第三 甘藷蔓挿木試験. 第五 甘藷蔓接木試験., 「園芸試験場報告 第12号 挿木及接木豫措に関する試験」.	農林省園藝試験場, pp.3-, pp.9-
坂井健吉・丸峯正吉	1956	甘藷の萌芽性に及ぼす温度の影響.	九州農業研究 18: 56.
新屋 明・原口 薫・丸野俊徳	1961	甘藷の苗素質に関する試験.	九州農業研究 23: 151-153.
園部 榮	1884	蕃薯の發芽を速ならしむるの法.	大日本農會報告 38: 7-8.
杉本光穂・深見公一郎	2006	セルトレイを用いたサツマイモ大量密植育苗のための暗室処理と給水方法の検討.	九州農業研究発表会要旨集 69: 148.(講要)
杉本光穂・安達克樹・澤村宣志	2008	50穴深型セルトレイを利用したサツマイモ育苗試験.	九州農業研究発表会要旨集 71: 22.(講要)
杉本光穂・安達克樹・大嶺政朗	2011	かんしょの大量育苗システム.	九州農業研究発表会要旨集 74: 108.(講要)
杉本光穂・溜池雄志・石井孝典・大村幸次	2013	苗床育苗と養液育苗の組み合わせによるかんしょ小苗の苗生産方法に関する検討.	九州農業研究発表会要旨集 76: 91.(講要)
杉本光穂・溜池雄志・石井孝典・馬門克明	2014	苗床育苗と養液育苗の組み合わせによるかんしょ小苗の大量生産技術の開発.	九州農業研究発表会要旨集 77: 110.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
澄田 肇	1949	甘藷栽培の要點(1) 育苗について.	研習.(島根農事試) 復刊 11: 23-
高橋英生	1989	“ハウス栽培”, 各作型での基本技術と生理, サツマイモ, 野菜園芸大百科 13 (農文協 編).	農文教, 東京, pp.257-266.
瀧 正古	1882	甘藷栽培説.	大日本農會報告 9: 46-49.
寺森香織・有馬 進・鄭紹輝・鈴木章弘	2005	サツマイモの塊根小片付き苗利用の検討 ~塊根小片の萌芽促進について~.	九州農業研究発表会要旨集 68: 42.(講要)
有働和文・大津可悦・斉藤虎臣・江藤慶一	1965	甘しよ催芽育苗試験の2・3の結果について.	九州農業研究 27: 110-111.
梅原寛重	1882	甘藷栽培新法.	大日本農會報告 15: 15.
Yamashita, M.	2000	Nurturing of plantlets using cut pieces from the storage roots of sweet potatoes (<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.) and their productivity in the field.	Plant Produc. Sci. 3(3): 259-267.
Yamashita, M.	2001	Nurturing of plantlets from cut pieces of sweetpotato storage root, and productivity in the field.	Sweetpotato Res. Front 12: 2.
吉田 良	1995	サツマイモの機械定植に適応するセル成型育苗法.	いも類振興情報 43: 18-21.
由井重文	1958	ビニルによる甘藷の育苗法.	農及園 33(3): ???
—	1924	優良甘藷種苗の配布.	大日本農會報 522: 58.
—	1933	第一甘藷., 第七甘藷原種圃., 農林省委託甘藷生産改良増殖試験.	昭和3年度業務功程報告(沖縄農事試), pp.2-30, 77-80, 161-164.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
523 栽培			
足立文彦・宇田明日香・門脇正行・井藤和人	2013	部分接木によるサツマイモ物質生産の促進.	作物学会講要集 236: 172. (講要)
足立文彦・萩原佳大・門脇正行・井藤和人	2014	塊根肥大期間の穂木からの同化産物供給は接木サツマイモ増収の主要因ではない.	作物学会講要集 237: 316. (講要)
足立文彦・塩飽 司・大橋慶輔・安田 登・門脇正行・井藤和人	2015	挿し穂の生産者の違いがサツマイモの物質生産に及ぼす影響.	作物学会講要集 239: 169. (講要)
足立文彦・塩飽 司・大橋慶輔・門脇正行・井藤和人	2015	サツマイモ挿し穂生産者の違いは同栽培条件での収量と食味を変えるか?	日作中国支集 55: 13-14. (講要)
足立文彦・桐村史悠・門脇正行・松本真悟	2016	島根県中標高地域の低温条件によるサツマイモの高糖度化.	作物学会講要集 241: 183. (講要)
足立文彦・竹村芹香・桐村史悠・松本真悟	2017	中国山地における栽培地標高にともなうサツマイモ調理糖度の変化.	作物学会講要集 244: 60. (講要)
足立文彦・竹村芹香・桐村史悠・木原康孝・小葉田 亨	2017	中国山地中標高地でのサツマイモ栽培は調理糖度を大幅向上させる.	日作中国支集 57: 12-13.
足立文彦・竹村芹香	2018	中国山地での高冷地栽培によるサツマイモ調理糖度の向上.	日作中国支集 58: 46-47.
足立文彦・峰 孝介・本田裕基・氏家和広・小林和広	2020	塊根サイズがサツマイモの糖度関連因子に及ぼす影響.	作物学会講要集 250: 41. (講要)
足立浩崇・門脇正行・藤本薫彦・安田 登・磯上憲一・松本真悟	2016	生育初期の地上部生育が地温およびサツマイモの塊根生産に及ぼす影響.	作物学会講要集 241: 156. (講要)
足立浩崇・門脇正行・藤本薫彦・安田 登・磯上憲一・松本真悟	2016	温度傾斜型チャンバーによるサツマイモの高温耐性の評価と品種間差異の検討.	作物学会講要集 242: 76. (講要)
Adachi, K., Sugimoto, M., Omine, M., Sawamura, M., Ishii, T. and Kobayashi, T.	2011	Transplantation of half-cut tuber seedlings provides enhanced yields over conventional sprouted-vine planting in sweet potato cultivar "Murasakimasari".	Plant Produc. Sci. 14(3): 291-297.
Adachi, K., Omine, M., Sugimoto, M., Ishii, T., Niimi, H. and Suzuki, T.	2012	Suppression of mother tuber enlargement in the sweet potato cultivar "Koganesengan" by transplantation of bottled tuber seedlings.	Plant Produc. Sci. 15(1): 57-62.
安達克樹・大嶺政朗・杉本光穂・石井孝典・新美洋・鈴木崇之・亀林光雄・高田三樹・後藤 章・横山京太郎	2012	サツマイモの容器収納いも付き苗移植栽培法	作物学会講要集 233: 88-89. (講要)
安達克樹・大嶺政朗・杉本光穂・石井孝典・新美洋・鈴木崇之・亀林光雄・高田三樹・後藤 章・横山京太郎	2014	サツマイモ品種「べにはるか」における容器収納いも付き苗移植栽培法による収量向上.	作物学会講要集 238: 38. (講要)
Agata, W. and Takeda, T.	1982	Studies on matter production in sweet potato plants 1. The characteristics of dry matter and yield production under field conditions.	J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 27(1-2): 65-73.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Agata, W. and Takeda, T.	1982	Studies on matter production in sweet potato plants. 2. Changes of gross and net photosyntheses, dark respiration and solar energy utilization with growth under field conditions.	J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 27(1-2): 75-82.
坏 存	1969	茨城県における甘藷の諸形質と澱粉歩留, 澱粉生産量について.	茨城農試研報 10: 95-108.
安藤秀彰・近藤義一	2000	サツマイモ圃場におけるクリンカアッシュの利用研究	四国電力(株)研究期報 75: 9-13.
安楽隆宣	2004	“南九州・ハウス栽培.”, 各地の作型と技術の特徴, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.209-218.
青木隆治	2013	干しいも用サツマイモの栽培法に関する研究.	いも類振興情報 117: 17-20.
青木隆治	2014	“1節 関東における栽培・管理.”, VI章 焼きいも用サツマイモの栽培・管理と産地, 「焼きいも事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.108-112.
有馬重大・大場貞信・竹内優二	1977	寒冷砂丘地におけるカンショ栽培について.	砂丘学会誌 24 (2): 30-35.
有馬重大・大場貞信・竹内優二	1978	寒冷砂丘地におけるカンショ栽培について.	砂丘研究 24(2): 30-35.
浅木直美・萩山鉄也・伊藤竜太郎・小松崎将一	2018	オオムギリビングマルチの利用がサツマイモの生育と収量におよぼす影響.	日作関東支報 33: 30-31.
中馬克己	1952	甘藷の省力多収栽培法.	農及園 41(4): 593-597.
中馬克己	1954	長崎県に於ける甘藷栽培の実態 I. 福江島に於ける調査.	九州農業研究 13: 112-114.
中馬克己・池田丈助	1956	甘藷の露地ビニール育苗法に関する試験.	九州農業研究 17: 65-67.
Eguchi, T., Kitano, M. and Eguchi, H.	1997	Measurement of diurnal change in tuber growth of sweet potato plants.	BIOTRONICS 26: 67-72.
Eguchi, T., Kitano, M. and Eguchi, H.	1997	On-line system for volume measurement in sweet potato tuber.	BIOTRONICS 26: 103-106.
江口壽彦・北野雅治・吉田 敏	2003	サツマイモ塊根の肥大に対する根温の影響—直接的および間接的な温度の影響.	生物環境調節 41(1): 43-49.
藤巻雪生	1921	菊池式甘藷増収栽培法.	大日本農會報 479: 34-37.
小野田正利	1950	“東部地方の甘藷耕種改善策.”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園芸中央会編).	日本園芸中央会, 社村(長野県北安曇郡), pp.92-(0066.jp2)
藤瀬一馬	1985	サツマイモの生産性. (シンポジウム: 熱帯におけるイモ類の生産)	熱帯農業 29(1): 53-57.
藤田時雄・藤田五夫	1957	薬剤による作物の収穫前乾燥に関する研究 I 甘藷の地上部に及ぼす乾燥剤の影響.	三重大農学術報告 14: 149-155.
藤田時雄	1958	薬剤による作物の収穫前乾燥に関する研究 II.	三重大農学術報告 16: 157-166.
藤田英介・上妻道紀	2000	分解性マルチがカンショの品質・収量に及ぼす影響 第1報 紙マルチ.	九州農業研究 62: 17.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
藤田英介・上妻道紀	2000	1998年鹿児島県におけるカンショの多収要因.	九州農業研究 62: 18.
藤原雅哉	2001	明期と暗期におけるサツマイモ単節挿し穂苗の葉身生長.	熱帯農業 45(別2): 91-92.
船越建明	1969	ADBA(3-amino2,5-dichlorobenzoic acid)による瀬戸内島嶼部地帯の甘藷畑の除草.	広島農試報告 29: 41-45.
古沢典夫・米田秋作・佐藤忠士・鎌田信昭・大野康雄	1970	マルチ栽培による北東北の甘藷導入に関する研究 第1報 北限地帯のマルチ効果と問題点.	日作東北支報 12: 93-94.
古谷隆業	1950	甘藷増産の研究.	養鶏之日本 35(5): 42-45.
古谷義人	1950	甘藷転換として的大豆作.	農業技術 5(4): (13-15.)
後藤祥太郎・三宅美穂・大仲真喜子	2019	容器収納イモ付き苗の栽植密度(株間)が小イモ生産に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集(作物部会) 82: 28. (講要)
後藤義昭・杉尾正嗣・内田好則・高橋英生	1985	食用カンショのハウス栽培.	九州農業研究 47: 224.
濱淵善博	1998	IV. 堆肥施用による甘藷栽培.	日本砂丘学会誌 45 (2): 54-(講要)
濱崎翔悟・山内 章	2011	乾燥ストレス後の再灌水に対するサツマイモ根系発育反応.	作物学会講要集 232: 242-245. (講要)
花田主計・小島 均	1951	甘藷塊根形成と土壌温度.	九州農業研究 8: 47-48.
長谷川 浩	1950	“西部地區に於ける甘藷技術改善方策.”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園芸中央会編).	日本園藝中央會, 社村(長野県北安曇郡), pp.117-.
長谷川 浩・中俣敬道	1950	甘藷圃場試験の區の大きさについて.	九州農業研究 6: 25-26.
長谷川 浩・熊本 司・本村弘美	1950	甘藷の早晩性検定方法に関する研究(第1報).	九州農業研究 7: 57-58.
長谷川 浩・八尋 健	1955	甘藷の生育と地温との関係(第1報).	九州農業研究 16: 83.
長谷川 浩・中島憲秋	1955	晩植甘藷畑に対する地面被覆の効果.	九州農業研究 16: 84.
長谷川 浩・菊川誠士・八尋 健	1955	麦間挿苗における麦による遮蔽が甘藷の生育収量に及ぼす影響.	九州農業研究 16: 87.
長谷川 浩	1956	暖地甘藷の晩植による減収の機構に関する研究並に暖地甘藷作の改善進路に関する論考.	九州農業研究 17: 4-8.
長谷川新一・中山兼徳	1956	畑地灌漑試験 第V報 甘藷灌漑栽培に於ける品種・畦の高さ・施肥量及び灌漑水量の相互関係について.	関東東山農試研報 9: 105-120.
長谷川新一・中山兼徳	1958	早魃処理時期が甘藷の生育, 収量に及ぼす影響について.	関東東山農試研報 11: 49-57.
長谷川 正	1929	甘藷の栽培に就て.	大日本農會報 584: 39-57.
長谷川 正	1939	園藝的方面より見たる埼玉縣の甘藷栽培.	埼玉農事試, 特別報告第7號, pp. 379-389.
橋本 尚・松本 淳・西村康平・喜多均・松前 要・的場 彰・今井俊充	2004	4 サツマイモの品種比較.	砂丘野菜試験成績書 2001/2002: 60-61.
林 久喜・坂井直樹・石井清尚・佐々木克典・大宮秀昭	1998	(B-1) 環境調和型マルチ資材を用いたサツマイモ栽培の特性.	農作業研究 33(2): 105. (講要)
林 久喜・佐々木克典・大宮秀昭・坂井直樹	1999	(B-1) 再生紙マルチがサツマイモの生育・収量に及ぼす影響.	農作業研究 34(2): 144. (講要)
日高睦夫	1946	再生甘藷栽培法に關する2, 3の調査.	日作紀 16(1-2): 1-8.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
比嘉絵里奈・金城鉄男・大城徳夫・仲村渠稔・島袋正明	2005	甘藷紅いもの増収および商品化率向上技術の確立 第1報 現地実証のためのマルチ, 肥料補助資材および殺線虫剤の利用技術の構築.	九州農業研究 67: 36.
比嘉絵里奈・金城鉄男・大城徳夫・仲村渠稔・島袋正明	2005	甘藷紅いもの増収および品質向上技術の確立 第2報 今帰仁村現地圃場におけるマルチおよび肥料補助資材による効果.	九州農業研究 67: 37.
比嘉絵里奈・金城鉄男・大城徳夫・仲村渠稔・島袋正明	2005	甘藷紅いもの増収および品質向上技術の確立 第3報 読谷村現地圃場におけるマルチおよび肥料補助資材による効果.	九州農業研究 67: 38.
東 孝行・宮下茂樹	1993	疎植栽培におけるカンショ苗節数の違いが結しよに及ぼす影響.	九州農業研究 55: 41.
東 孝行・宮下茂樹・松崎正義	1993	加工向けカンショの安定生産技術 第1報 色素用カンショ(アントシアン, カロチノイド系)の品種間差異と土壌反応.	九州農業研究 55: 42.
匹田 巖・柿本茂満	1951	甘藷圃における除草労力節減に関する試験.	九州農業研究 8: 131-132.
姫野修一・渡邊敏明・田中浩平・田中良幸	2011	セル苗移植によるサツマイモ栽培の塊根形成における品種間差異.	福岡総農試研報 30: 66-73.
平井源一	1951	甘藷の生育特に窒素肥料を異にした場合.	日作紀 19(3-4): 339-341.
平井源一・西川 満	1959	甘藷の切干歩合(干物重歩合)の高低差が生じる原因に関する研究 (11) 甘藷体各部, 特に塊根滲透圧の日変化と乾物重歩合との関係.	日作紀 28(1): 126-128.
平井源一・西川 満	1960	甘藷の乾物重歩合の高低差が生じる原因に関する研究 第4報 乾物重歩合の異なる品種の含水量日変化のちがいで.	日作紀 29(1): 127-129.
平井源一	1961	甘藷の乾物重%の高低差が生じる原因に関する研究 (第5報): 甘藷を接木した場合に含水量は砧の品種に支配され接穂品種の影響の少ないことに対する原因考察.	大阪學藝大紀要 (B 自然科学) 9: 211-215.
平井源一	1965	甘藷のでん粉含有率に変異を生ずる原因に関する研究 (第9報): 根を肥大根と養水分吸収根に分け, 各部位の水分代謝が塊根乾物重歩合と酵素活性に及ぼす影響.	大阪學藝大紀要 (B 自然科学) 13: 143-150.
平井源一	1966	甘藷のでん粉含有率に変異を生ずる原因に関する研究 (第10報) - 土壌含水量、葉の水分不足度、塊根のフオスフォーゼ活性と塊根のでん粉含有率との関係 -.	大阪學藝大紀要 (B 自然科学) 14: 203-210.
平野 勝	1951	これからの甘藷栽培.	二豊農業 4(3): 37-40.
平野 勝	1951	今後の甘藷栽培.	二豊農業 4(4): 8-10.
平野 勝・村上雅二	1953	甘藷作に於ける中耕除草と麦稈敷込の効果について.	九州農業研究 12: 35-36.
平野優徳・伊東寛史・原田克哉・浦田貴子	2020	サツマイモ‘からゆたか’の早期出荷を目指した早掘栽培の検討.	九州農業研究発表会要旨集 (野菜・花き部会) 83: 23. (講要)

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
北條良夫・加藤眞次郎	1976	サツマイモ塊根における肥大の抑制と再肥大.	日作紀 45(1): 131-138.
北條良夫	1985	サツマイモの生産形質. (シンポジウム: 熱帯におけるイモ類の生産)	熱帯農業 29(1): 48-53..
本田 仁・岩間志郎	1959	甘藷肥料三要素適量試験.	茨城農試研報 2: 33-36.
本田 仁・坪 存・岩間志郎 26	1960	甘藷の畜力化(小型機械)栽培様式に関する研究.	茨城農試研報 3: 26-30.
本田 仁・坪 存・岩間志郎	1960	甘藷晩植栽培に関する研究(I).	茨城農試研報 3: 31-38.
市川幸吉	1893	甘藷號名四十日藪栽培の益.	大日本農會報 147: 15-16.
市来征勝・後藤 忍・池田健一郎	1988	基盤整備畑の青果用サツマイモに対する施肥法 第1報 異なる土壌における堆肥及び窒素の施肥量とベニアズマの生育, 収量及び養分吸収量.	九州農業研究 50: 104.
市来征勝・後藤 忍・池田健一郎	1988	基盤整備畑の青果用サツマイモに対する施肥法 第2報 異なる土壌における堆肥及び窒素の施肥量とベニアズマの品質.	九州農業研究 50: 105.
伊川秀治・大西真人・中村 優・安藤真琴・藤田剛嗣・河野邦晃・岩井謙一・高瀬良和	2018	宮崎県高原町において植付時期とビニールマルチの組合せがサツマイモの塊根に与える影響.	作物学会講要集 245: 160. (講要)
伊川秀治・大西真人・中村 優・藤田剛嗣・河野邦晃・岩井謙一	2019	栽培初期の高地温が芋焼酎原料用サツマイモ「コガネセンガン」の塊根へ与える影響.	作物学会講要集 247: 48. (講要)
飯塚征一	1984	カンショ栽培の最近の問題と対策.	農業技術研究 38(4): 43-35.
猪狩源三	1931	東北地方と甘藷の栽培.	大日本農會報 611: 18-23.
今園支和	1994	畦表面硬化法による新たな甘しょ栽培技術.	いも類振興情報 41: 9-12.
稲葉健五	2001	(19) サツマイモの増殖法の検討: 挿苗後の初期生育と地温の関係.	日作紀 70(1): 38-39. (講要)
稲葉健吾	2012	超音波がサツマイモとキクの挿し芽苗の発根に及ぼす影響.	茨城大教育紀要(自然科学) 61: 27-33.
位田 藤久太郎	1949	生育初期の土壌乾燥が甘藷の塊根形成に及ぼす影響.	農及園 24(): 549-550.
位田 藤久太郎	1950	甘藷の塊根形成に及ぼす土壌水分の影響並にその解剖學的研究.	園学雑 19(1): 49-60.
猪野 誠	1986	温暖地(カンショ) - 千葉県を中心として - .	雑草研究 31(4): 266-269.
猪野 誠・篠原茂幸・屋敷隆士	1987	(26) カンショの収量, 品質に及ぼす深耕の影響.	日作関東支報 2: 61-62. (講要)
猪野 誠・篠原茂幸・屋敷隆士	1991	カンショ「紅赤」の生育と収量に及ぼす混層深耕の影響.	千葉農試研報 32: 81-89
猪野 誠・屋敷隆士	1994	サツマイモの生育, 収量および貯蔵中の外観品質に及ぼすウイルスフリー化の効果.	千葉農試研報 35: 101-108.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
猪野 誠	2010	“節の概説. (1) 栽培・管理. (2) 収穫・貯蔵. ([ウ]を除く)”, “ア 関東(千葉, 青果用, 火山灰土). ”, (3) 主要地域における栽培, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.164-173.
犬飼義明・福井 睦・芝山秀次郎・有馬 進・光富 勝	2002	栽培法の相違がカンショ塊根中の遊離糖含量に及ぼす影響.	日作九州支報 68: 82-84.
犬飼義明・芝山秀次郎・松林隆宗	2002	カンショの食味, とくに甘味向上に関わる栽培環境要因.	海と台地 14: 1-7.
犬飼義明・松林隆宗・芝山秀次郎	2007	カンショの甘味に関わる栽培環境要因.	根の研究 16(4): 147-154.
入子善助	1953	雹害跡地の甘藷対策試験.	農及園 28(6): 754.
石田 薫	1975	サツマイモの塊根形成と栽培法との関係(第1報) 塊根形成に及ぼす植付深度と栽培法の影響.	神戸大農研報 11(2): 179-184.
石井昭郎	1958	私の研究・夏ダイズを入れ麦サツマイモの三毛作.	農業日本 13(6): 152-153.
石井孝典・安達克樹	2008	資材・機械の共通化による高収益カンショ 一 露地野菜輪作技術の実証.	九州農業研究発表会要旨集 71: 23.(講要)
石井豊吉	1901	栽植 甘藷ノ挿苗期ト苗蔓ノ部分.	農事試報 20: 53-58.
石川博美	2004	“収穫適期・収穫方法.”, 本畑での生育と技術, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.158-159.
磯部勝孝・藤井秀昭・坪木良雄	1993	サツマイモ苗の発根に及ぼす粉炭の影響.	日大農獣医研報 50: 1-6.
伊藤十四英・他	1956	寒地における甘藷の豊作型.	農業技術 11(6): ???
伊藤清治	1894	甘藷試作の結果.	大日本農會報 148: 15.
伊川秀治・大西真人・中村 優・藤田剛嗣・河野邦晃・岩井謙一	2019	栽培初期の高地温が芋焼酎原料用サツマイモ「コガネセンガン」の塊根へ与える影響.	日作紀 88(3): 214-215.
伊東秀夫・土屋四郎	1944	甘藷の塊根形成に関する研究 (1-2).	園学雑 15(2-4): 201-230.
伊東秀夫	1945	甘藷の塊根形成に関する研究 第1報.	農及園 20(1): 49-50.
伊東秀夫・土屋四郎	1946	甘藷の塊根形成に関する研究 第3報 甘藷の種藷の大きさに関する研究.	農及園 21(4): 139-140.
伊東秀夫	1946	甘藷栽培の基礎的試験の成績.	農及園 21(4): 147-152.
伊東秀夫	1946	甘藷栽培の基礎的試験の成績.	農及園 21(5): 199-202.
伊東秀夫・森田義彦・鈴木耕三・林隆之助	1946	甘藷の塊根形成に関する研究 第4報 塊根の発生並發達過程の解剖學的研究. 1. 原生木部の數に関する調査	農及園 21(6): 243-245.
伊東秀夫	1946	甘藷栽培の基礎的試験の成績.	農及園 21(6): 255-256.
伊東秀夫	1946	甘藷の塊根形成に関する研究 第5報 種藷の大きさ, 形状と表面積の關係の研究.	農及園 21(7): 289-290.
伊東秀夫・土屋四郎	1947	甘藷の塊根形成に関する研究 第6報 抽苗時期に関する研究.	農及園 22(3): 133.
伊東秀夫・土屋四郎	1947	甘藷の塊根形成に関する研究 (3) 第3篇 甘藷の塊根形成に及ぼす環境條件の影響の研究.	園学雑 16(1-2): 1-15.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
伊東秀夫・森 英男	1947	甘藷の塊根の肥大生長と通気について.	農學 1(7): 435-438.
伊東秀夫・土屋四郎	1948	甘藷の塊根形成に関する研究 第7報 苗の質に関する研究 (1).	農及園 23(3): 176-178.
伊東秀夫・土屋四郎	1948	甘藷の塊根形成に関する研究 第8報 苗の質に関する研究 (2).	農及園 23(4): 241-242.
伊東秀夫	1949	サツマイモの摘心を行う目的と効果.	農及園 24(4): 284.
井浦 徳・中馬克己	1947	飼料用甘藷の栽培試験 昭和22年.	九州農業研究 1: 15-16.
井浦 徳	1947	甘藷品種の日照不足に対する感應性に就いて.	九州農業研究 1: 18-19.
井浦 徳	1953	甘藷品種の萌芽性に関する調査.	日作紀 21(3-4): 286-287.
井浦 徳	1954	甘藷作の慣行からみた研究課題.	農業技術 9(2): (9-12.)
井浦 徳・丸峯正吉	1958	甘藷の萌芽性に関する研究 発育時期を異にする塊根の萌芽性の品種間差	日作九州支報 12: 69-72.
井浦 徳・坂井健吉・丸峯正吉	1958	甘藷収穫前飼料としての蔓の早刈りが藷の収量並びに品質に及ぼす影響試験.	九州農業研究 20: 43-45.
岩松清四郎	1949	甘藷苗処理の研究 特に石灰の効果に就て.	園学雑 18(1-2): 89-94.
岩元 保・新屋 明	1955	早掘甘藷のトンネル栽培に関する試験.	九州農業研究 16: 86.
岩瀬一行・坪 存・鯉淵登・宇都木久夫・新妻芳弘	1984	サツマイモの商品性向上に関する研究 第1報 耕種的にみた丸いも発生要因とその対策.	茨城農試研報 23: 95-107.
泉澤 直・石原正敏	1990	サツマイモのトンネルマルチ利用による極早掘り栽培に関する研究.	茨城農試研報 29: 73-82.
泉澤 直・石原正敏	1993	サツマイモウイルスフリー苗利用による生育・収量並びに品質におよぼす影響とその持続年限.	茨城農総セ農研研報 3: 13-21.
泉澤 直	2004	“干しいも用サツマイモの高品質多収栽培.”, 食用サツマイモの収穫技術, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.176-181.
泉澤 直	2010	“イ 関東(茨城, 干しいも-蒸切干).”, (3) 主要地域における栽培, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.173-174.
謝花 治. 翁長彰子・出花幸之介	2014	沖縄県の冬春期における被覆資材を用いた茎葉利用カンショの栽培.	九州農業研究発表会要旨集 77: 43.(講要)
実山 豊・市川伸次	2009	北海道におけるダイズ・サツマイモ混植の試行.(平成21年度年度年次講演会一般講演)	育種・作物学会北海道談話会報 50: 1-2.(講要)
椛島弘治・上埜喜八・芳丸佳菜子・堀元栄枝・森太郎・尾野喜孝	2012	一回の手取り除草の時期がサツマイモの生育と収量および雑草発生に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集 75: 23.(講要)
椛島弘治・上埜喜八・堀元栄枝・森 太郎・尾野喜孝	2013	一回の手取り除草がサツマイモの生育と収量および雑草の生長に及ぼす影響.	作物学会講要集 235: 300.(講要)
椛島弘治・上埜喜八・堀元栄枝・森 太郎・尾野喜孝	2013	サツマイモ栽培でのイネ科雑草を対象とした手取り除草の評価.	作物学会講要集 236: 258.(講要)
門脇正行	2005	サツマイモ苗の活着および初期成育促進に関する研究.	島根大学生物資源科学部研究報告 10: 62-63.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
門脇正行・大木詩子・河原克明・安田登・山根智子	2009	地温がサツマイモ塊根の生育および収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 228: 210-211.(講要)
門脇正行・大木詩子・河原克明・安田登・山根智子	2010	地温がサツマイモ塊根の形状および品質に及ぼす影響.	作物学会講要集 230: 186-187.(講要)
門脇正行・沖本和也・藤原剛・山口浩司・河原克明・大木詩子・安田登	2011	地温がサツマイモ塊根の収量および外觀品質に及ぼす影響とその品種間差異.	作物学会講要集 232: 222-223.(講要)
門脇正行・十倉宏幸・林司直・沖本和也・大木詩子・安田登	2012	サツマイモにおける高地温耐性品種の検討.	作物学会講要集 234: 226.(講要)
門脇正行・難波比呂紀・山口浩司・安田登・吉永優	2012	サツマイモ新旧品種における個葉の光合成速度, 葉面積と塊根生産との関係.	日作中国支集 52: 19-20.(講要)
門脇正行・安田登・土本浩之	2012	サツマイモ苗の効率的生産方法に関する研究: 摘心と栽植密度が苗生産本数に及ぼす影響.	島根大学生物資源科学部研究報告 17: 58-59.
門脇正行・難波比呂紀・大木詩子・沖本和也・林司直・西原由香・福田桃子・足立浩崇・安田登・磯上憲一	2017	島根県の砂丘地におけるサツマイモ品種‘ベニアズマ’および‘べにはるか’の収量と気象条件との関係.	日作中国支集 57: 10-11.
門脇正行・荒木健吾	2018	植被率を指標としたサツマイモ品種‘べにはるか’の多収栽培方法の検討～栽植密度または採苗方法が及ぼす影響	日作中国支集 58: 48-49.
門脇正行・樋野日向子・寺地優美	2019	サツマイモにおける植被率または個葉光合成速度と塊根生産との関係.	作物学会講要集 248: 160.(講要)
加賀見 宏	1951	南九州畑作地帯に於ける甘藷栽培技術—大隅半島に於ける一事例—.	農及園 26(7): 759-761.
鹿児島県経済連 園芸事業部 園芸資材課・農畜産業振興機構 調査情報部 企画情報グループ	2020	生分解性マルチフィルムによるかんしょ栽培の省力化.	砂糖類・でん粉情報 2020(2): 2-5.
甲斐由美・熊谷 亨・石黒浩二	2002	β-アマラーゼ原料用サツマイモ系統に適した栽培条件の検討	日作九州支報 68: 85-87.
梶本 明	1972	食用甘しょの栽培法に関する研究 第2報 苗の大小と栽植密度について.	九州農業研究 34: 44-45.
梶本 明・江藤博六	1973	食用甘しょの栽培法に関する研究 第3報 トンネル栽培の換気の省力化について.	九州農業研究 35: 39-40.
梶本 明・中原浩二・江藤博六	1976	食用甘しょの栽培法に関する研究 第4報 品質向上について.	九州農業研究 38: 66.
梶本 明・柿本茂満・中原浩二	1977	甘しょ”ミナミユタカ”の地域適応性と施肥反応について.	九州農業研究 39: 41-42.
梶田貞義	1959	砂丘地における甘藷栽培に関する研究.	茨城農試研報 2: 26-32.
梯 美仁・小川 仁	2006	砕砂の客土がサツマイモの収量・品質に及ぼす影響.	徳島農セ研報 3: 1-11.
鎌谷榮次	1945	甘藷の生理的特性と肥培管理 [1].	農及園 20(): 373-376.
鎌谷榮治	1945	甘藷の生理的特性と肥培管理 [3].	農及園 20(): 459-462.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
神山芳典・佐藤忠士・佐々木邦年	1975	早掘りカンショの栽植密度について.	東北農業研究 16: 134-135.
金築利旺・原田真介・桑原修・岩垂邦秀・矢野宏	2009	サツマイモ栽培条件の最適化研究.(第17回品質工学研究発表大会 技術者パワーを發揮させる品質工学)	品質工学研究発表大会論文集 17: 182-185.
金築利旺	2010	サツマイモ栽培条件の最適化研究.	品質工学 18(5): 59-65.
金築利旺・原田真介・桑原修・岩垂邦秀・矢野宏	2010	サツマイモ栽培条件の最適化研究.	品質工学 18(5): 813-819.
金築利旺・原田真介・桑原修・岩垂邦秀・奥展威・矢野宏	2013	サツマイモ栽培への品質工学の適用.	品質工学 21(1): 21-28.
笠原安夫・木村忠司・木下収	1952	2,4-Dに依る耕地雑草の防除試験 第6報 甘藷及大豆畑雑草の防除試験.	農学研究 40(2): 69-80.
笠原安夫・木村忠司・木下収	1954	2,4-Dに依る甘藷及び大豆畑の雑草防除試験.	日作紀 22(3-4): 5-6.
加島了相・白坂進	1951	甘藷収量予想の研究(第1報).	九州農業研究 8: 45-46.
柏木伸哉・露重美義	2005	簡易被覆資材利用による青果用サツマイモ栽培.	九州農業研究 67: 32.
柏木伸哉・池田健一郎・露重美義	2005	青果用サツマイモ食味向上条件の要因解明 第1報 栽培中の地温が糖含量・食味に与える影響.	九州農業研究発表会要旨集 68: 39.(講要)
柏木伸哉・池田健一郎・露重美義	2005	青果用サツマイモ食味向上条件の要因解明 第2報 栽培中の土壌水分が糖含量・食味に与える影響.	九州農業研究発表会要旨集 68: 40.(講要)
柏木伸哉・池田健一郎・露重美義	2006	青果用サツマイモ食味向上条件の要因解明 第3報 リン酸が糖含量・食味に与える影響.	九州農業研究発表会要旨集 69: 44.(講要)
柏木伸哉・池田健一郎・露重美義	2006	青果用サツマイモ食味向上条件の要因解明 第4報 窒素が糖含量・食味に与える影響.	九州農業研究発表会要旨集 69: 45.(講要)
柏木伸哉・池田健一郎・原田昭夫	2007	栽培法の違いが青果用サツマイモの収量, 糖含量, 食味に及ぼす影響.	日作九州支報 73: 47-51.
片山健二・田宮誠司	1999	サツマイモ品種の塊根品質からみた成熟期.	日作紀 68(2): 224-230.
加藤勳	1951	新潟県における甘藷の發育過程及び掘取期と価格の関係.	農業新潟 5(6): 45-49.
加藤真次郎	2004	“4.品種(シンク・ソース)と収量構成.”, 乾物生産から見た収量の成立, サツマイモ栽培の基礎理論, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.115-116.
加藤徹・吉弘昌昭・中山信弘	1973	園芸作物に対するルチンの生理的役割ならびにその利用に関する研究 II サツマイモに対する散布効果について.	高知大研報(農学) 22(12): 107-114.
加藤徹・中山信弘	1975	サツマイモ塊根の着色に関する研究.	高知大研報(農学) 24(13): 87-96.
川井一之・岡田正行	1955	土壌調整剤が土壌侵蝕防止及び甘藷の生育に及ぼす効果.	日作紀 23(3): 183-184.
川上求・富山一男	1991	青果用かんしょハウス栽培における水蓄熟保温の利用.	日作九州支報 58: 46-48.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
川俣 稔・佐藤虎雄	1955	青刈ソバの鋤込みが小麦並びに後作甘藷収量に及ぼす効果について.	九州農業研究 16: 81.
川俣 稔・築島安宏	1955	甘藷の麦間挿苗を目的とした小麦-甘藷の省力栽培試験.	九州農業研究 16: 82.
川延謹造・菅原清康	1953	甘藷苗の発根に及ぼす尿素葉面撒布の効果 - 予報 -.	農及園 28(1): 203-204.
川延謹造	1955	尿素葉面撒布による甘藷苗の発根促進.	農業技術研究 9(4): 12-13.
加勇田 誠・梶本 明・坂本真一・村社久米夫	1987	食用カンショの在圃期間が品質収量に及ぼす影響.	九州農業研究 49: 65
桐原成元・比嘉良興	1997	沖縄における高品質甘しょ生産の現状と課題.	九州農業研究 59: 26.
桐村史悠・足立文彦・門脇正行・松本真悟・小葉田 亨	2016	中国山地の標高環境を活用した高糖度サツマイモ栽培.	日作中国支集 56: 20-21.
桐生知次郎	1947	草木灰による甘藷苗処理に就いて.	九州農業研究 1: 20.
北岡祥治	2010	“エ 四国(徳島, なると金時).”, (3) 主要地域における栽培, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.174-175.
小林政明	1948	大豆の甘藷圃混作に関する研究 (2) 甘藷の大豆混植影響に関する品種間差異.	日作紀 16(3-4): 12-16.
小林政明・赤井正志	1956	大豆の甘藷圃混作に関する研究 混植位置及び混植期と根系との関係.	日作紀 24(3): 209-210.
Kobayashi, T. and Mochida, H.	2001	The effect of covering materials on the yield and anthocyanin content of Ayamurasaki.	Sweetpotato Res. Front 12: 3.
小林 透・持田秀之	2002	カンショサニーレッドのβ-カロチン含量に与える栽培条件の影響.	日作九州支報 68: 88-89.
小林 透・安達克樹・鈴木崇之	2007	サツマイモ焼酎粕濃縮液の施用が雑草の発生に及ぼす影響.	九州沖縄農研報 48: 49-57.
小林 透・倉田理恵・甲斐由美	2015	サツマイモ茎葉の年間生産力の品種間差異について.	作物学会講要集 240: 61. (講要)
児玉三郎・古谷義人	1963	甘藷の畦の高さと生育収量との関係.	日作九州支報 20: 42-43.
児玉三郎・古谷義人	1969	うね立ての有無が甘しょの生育-収量におよぼす影響.	九州農試彙報 14(3): 273-290.
児玉敏夫	1952	甘藷栽培に当つての最近の問題.	農業技術研究 6(2): 6-8.
児玉敏夫・野本達郎	1954	甘藷に対する2,4-D使用上の問題点.	農業技術 9(11): (27-29.)
児玉敏夫・野本達郎	1955	2,4-D が甘藷の生育収量に及ぼす影響.	日作紀 23(4): 243-246.
木暮 秩・浅沼興一郎・豊成 傑・上枝一雄	1989	青果用サツマイモに対する摘葉並びにCCC処理による早堀利用の可能性について.	日作四国支紀事 26: 17-22.
古城坤三	1958	甘藷の増収に対する長苗の効用について.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (5), pp.31-
古城坤三	1961	藷苗の性状並に挿法を異にした場合の茎葉の生育と塊根形成との関係.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (7), pp.30-
古城坤三	1963	「長苗短挿法」とその早期水稻間作甘藷への適用について.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (9), pp.15-

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
古城坤三	1964	早期水稲跡作としての間作甘藷について.	大阪府立大農業短大 研究と資料 (10), pp.17-
古城坤三	1964	甘藷の生育に関する作物学的研究 (予).	大阪府立大農業短大 研究と資料 (10), pp.26-
小中原 錦・山川 理	1999	圃場と苗床におけるカンショ茎葉の収量特性.	九州農業研究 61: 17.
河野恵伸	1998	加工食品用甘しょの品質向上策.	総合農業の新技術(農研セ研究情報部情報資料課 編) 11: 279-283.
小柴尚博・十川 博・岡田 惇	1956	砂丘地の生産力増進に関する研究(第1報) 甘藷の肥料試験.	島根農大研報 4: 14-16.
小山田耕作・福元伸一	2009	サツマイモ「べにはるか」の地上部除去時期がヤラピンの発生に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集 72: 32.(講要)
小山田耕作	2010	“カ 南九州(鹿児島, 青果用).”, (3) 主要地域における栽培, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.175-176.
上妻道紀・江畑正之	1981	甘しょの多収技術確立に関する研究 第1報 ポリマルチ・早植条件での品種特性.	九州農業研究 43: 45.
上妻道紀・江畑正之・内村 力	1984	カンショ多収技術確立に関する研究 第2報 疎植栽培が生育収量に及ぼす影響.	九州農業研究 46: 47.
上妻道紀・湯田保彦・江畑正之	1987	カンショ多収技術に関する研究 第4報 カンショ葉身寿命の品種間差異.	九州農業研究 49: 67.
上妻道紀・神門達也・内村 力	1994	無霜地における原料用カンショの作期の拡大.	九州農業研究 56: 42.
上妻道紀	1999	“加工からみた栽培, 収穫, 調製の留意点”, 栽培の留意点と副産物・食品以外の利用, サツマイモ., 第9巻: 穀類, 雑穀, マメ類, イモ類, 油脂作物., 「食品加工総覧(農文教編)」.	農文協, 東京, 9: 355-(加除式)
上妻道紀	2004	“植付様式.”, 本畑での生育と技術, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.150-152.
上妻道紀	2004	“南九州・澱粉用多収栽培.”, 各地の作型と技術の特徴, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.227-234.
窪田文武・Ritva KNOF・彌富道男・縣 和一	1992	カンショ葉の気孔開度の測定法.	日作紀 61(4): 687-688.
窪田 忍・江畑正之・上野徳男	1964	鹿児島における甘しょの生育経過について 第1報 いもの肥大とでんぷん歩留りの経過.	日作九州支報 21: 19-20.
熊野誠一・藤瀬一馬	1965	根部の環境条件が甘藷塊根の形成におよぼす影響.	日作紀 34(1): 35-39.
熊崎 忠・藏之内利和・高田明子・中村善行・熊谷 亨	2009	マルチ資材の違いがサツマイモ品種の収量および品質に及ぼす影響.	作物学会講要集 228: 212-213.(講要)
藏之内利和・中村善行・高田明子・田宮誠司・中谷 誠・熊谷 亨	2009	サツマイモ蒸切干加工用品種の収量・品質関連形質に及ぼすマルチ被覆および気象の影響.	日作紀 79(4): 491-498.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
藏之内利和・高田明子・藤田敏郎・片山健二	2018	蒸切干加工用サツマイモ栽培時のマルチ被覆の有無が土壤水分や蒸切干品質に及ぼす影響.	作物学会講要集 245: 221. (講要)
倉田理恵・小林 透・甲斐由美	2013	ハウスでの長期栽培におけるサツマイモ品種系統の茎葉収量.	九州農業研究発表会要旨集 76: 17. (講要)
倉田理恵・小林 透	2020	(利011) 紫サツマイモの収量および色素含量に影響を与える栽培環境について.	園学雑別冊(R2春): 利011. (講要)
草薙保一	2004	“除草体系. ”, 本畑での生育と技術, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.153-157.
九州農業試験場	1964	甘藷のうねの高さと生育収量との関係.	九州農試年報(昭和37年度), pp.60-
Lee, Y.H., Choi, B., Woo, K.S., Kim, C.G., Kim, M.T. and Jeon, W.T.	2013	Antioxidant compounds and antioxidant activities of sweet potatoes using green manure crops.	作物学会講要集 235: 406. (講要)
町田治幸	1989	“暖地早掘り栽培. ”, 各作型での基本技術と生理, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 13」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.247-255.
町田道正・松崎正義・藤田英介・東 孝行	1996	野菜との輪作が青果用カンショの品質・収量性に及ぼす影響.	九州農業研究 58: 27.
前田和美	1986	クズイモの分岐塊根発生の原因について(予報).	日作四国支紀事 23: 68-69. (講要)
前満源三	1959	前作の種類が甘藷, 陸稲の生育に及ぼす影響.	農及園 34(9): ???
間宮 広	1960	甘藷の現況と栽培改善の問題点.	農及園 35(2): ???
丸峯正吉・小野敏忠	1971	甘しょ品種の地域適応性について.	九州農業研究 33: 29-31.
正岡淑邦	1993	サツマイモの安定多収を目指した栄養診断事例.	九州農試年報 1992: 51-53.
榊重忠保	1955	甘藷の欠株が周囲株に及ぼす影響について.	山口農試彙報 5: 16-
松本 淳	2010	“ウ 北陸(石川, 五郎島金時). ”, (3) 主要地域における栽培, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, p.174.
松本安広	1994	サツマイモの置き苗利用による作業技術体系の確立.	筑波大技術報告 14: 21-25.
松原茂樹・幾竹正實	1949	甘藷の生産に及ぼす窒素の影響.	園学雑 18(1-2): 27-30.
三木英一	1979	(26) サツマイモの栽培(予報) 北海道における栽培の可能性について.	会報(北海道園芸研究談話会) 13(昭54): 44-45. (講要)
三木英一・千田 勉	1981	(32) 北海道におけるサツマイモの適用性.	会報(北海道園芸研究談話会) 15(昭56): 70-71. (講要)
三苦功吉 乙部逸夫 上原登喜男 中野静思	1983	大分県における食用カンショの生産力・品質向上 第1報 早出し栽培について.	九州農業研究 45: 27.
三浦重典・田澤純子・中谷敬子・澁谷知子・山本泰由	2006	オオムギによるリビングマルチを利用したサツマイモ栽培.	作物学会講要集 222: 300-301. (講要)
三浦重典・中谷敬子・澁谷知子・鄭 凡喜	2011	リビングマルチを利用したサツマイモの無除草剤栽培.	作物学会講要集 232: 80-81. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
三浦肆玖樓・石橋一郎	1949	灌水が甘藷の生育に及ぼす影響に就て.	日作紀 17(4): 13-14.
三輪 晋	1989	“中間地普通栽培.”, 各作型での基本技術と生理, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 13」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.229-246.
宮部克己	1952	麦間作甘藷の栽植様式による土地高度利用試験.	東北農業 5(5-6): 111-114.
宮司佑三・国分禎二	1964	肥大初期における甘藷塊根の組織学的研究 - 主として澱粉集積機能の品種間差異との関連において 第1報 典型的な高, 低澱粉品種間の幼塊根における組織特性の比較.	鹿児島大農学術報告 15: 101-108.
宮司佑三・国分禎二	1964	肥大初期における甘藷塊根の組織学的研究 - 主として澱粉集積機能の品種間差異との関連において 第2報 甘藷諸品種における肥大初期の塊根組織の二, 三特性と収穫時塊根乾物歩合との相関.	鹿児島大農学術報告 15: 109-116.
宮司佑三・国分禎二	1964	肥大初期における甘藷塊根の組織学的研究 - 主として澱粉集積機能の品種間差異との関連において 第3報 甘藷とその野生種 <i>Ipomoea trifida</i> (H.B.K.) G.Don.との種間雑種後代の高澱粉系統における幼塊根の組織特性.	鹿児島大農学術報告 15: 117-125.
宮川英一	1948	甘藷栽培に於ける畦の問題(豫報).	九州農業研究 2: 1.
宮丸直子・渡慶次美歌・西田公一	2019	紅イモ品種「ちゅら恋紅」の生産性向上に向けた検討.	九州農業研究発表会要旨集(土肥部会) 82: 2. (講要)
宮崎幸男	1947	土壤水分並に肥料が甘藷の塊根形成に及ぼす影響に就いて(豫報).	日作紀 17(2): 18-19.
持田秀之・小林 透・立石 靖・生駒泰基	1996	前作の違いが青果用カンショの生育・収量に与える影響.	日作九州支報 62: 71-75.
持田秀之・小林 透・立石 靖・生駒泰基	1997	前作の違いが青果用カンショ「ベニオトメ」の収量と品質に与える影響.	九州農試年報 1996: 43-45.
持田秀之・小林 透	1998	栽培条件を異にした青果用カンショ「ベニオトメ」の食味.	九州農業研究 60: 35.
百島敏男	1947	甘藷の接根による肥大程度.	九州農業研究 1: 13.
森 英男・土屋四郎	1947	甘藷の増収に對する生長物質(ホルモン)の利用に關する研究(第1報).	園学雑 16(1-2): 21-32.
森 英男・土屋四郎	1951	甘藷の増収に對する生長物質(ホルモン)の利用に關する研究(第2報).	園学雑 20(1): 27-32.
森 清文・柏木伸哉・露重美義	2005	原料用サツマイモに對する家畜ふん堆肥施用法.	九州農業研究 67: 35.
森本 勇	1953	我邦に於ける甘藷の生産力に就いて.	日作紀 22(3-4): 288-290.
森田敏雄	1972	サツマイモへの時期別窒素施用濃度とその影響 塊根形成期における地上部生育・塊根發育について.	農及園 47(9): 1331-1332.
森田敏雄	1974	時期別窒素施用濃度が甘藷の塊根形成と肥大發育に及ぼす影響.	農及園 49(1): 51-52.
村上次男	2004	“四国トンネル栽培.”, 各地の作型と技術の特徴, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.199-206.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
村田 隆・斉田善一・松本 淳・西村康平・川本春子・吉野昇元・松前要・的場 彰・今井俊充	2004	4 サツマイモの品種比較.	砂丘野菜試験成績書 2001/2002: 15-16.
内藤 晋	1932	甘藷蔓返作業に就て(一).	大日本農會報 621: 35-40.
中川勝八	1936	土壤の乾濕が甘藷の形質に及ぼす影響(豫報).	日作紀 8(4): 439-441.
中川勝八	1948	甘藷の収量調査の誤差について.	九州農業研究 2: 4.
中原浩二・江藤博六・坂元義明	1971	甘しょ「コガネセンガン」の早植密植栽培について.	九州農業研究 33: 27-28.
中甫木一夫・宮下茂樹	1969	甘しょに対する青刈えん麦のすき込み効果について.	九州農業研究 31: 81-82.
中間洋征・湯田保彦	1988	食用カンショの品質改善 第1報 マルチ栽培と裸地栽培の比較.	九州農業研究 50: 53.
中間洋征	2004	“南九州・マルチ早掘栽培.”, 各地の作型と技術の特徴, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.219-226.
中野尚夫・小林理恵・今木 正・浅尾俊樹・土本浩之・持田正悦	2000	砂丘地における再生紙マルチによるサツマイモ栽培.	農業生産技術管理学会誌 7(2): 75-79.
中之内光太郎・松田浩・竹牟禮穰・時村金愛・有村恭平	2019	でん粉原料用サツマイモ新品種「こないしん」の栽培特性.	九州農業研究発表会要旨集(作物部会)82: 19. (講要)
中之内光太郎	2019	焼酎原料用サツマイモ8月収穫作型の安定生産技術.	いも類振興情報 141: 12-14.
中谷 誠・小柳敦史・渡辺 泰	1986	サツマイモ苗の発根に及ぼす地温の影響 第1報 苗の発根の最適地温並びに高地温が発根と根の生理的・形態的特性に及ぼす影響.	日作紀 55(2): 208-216.
Nakatani, M., Oyanagi, A. and Watanabe, Y.	1987	Holding of cut-sprouts in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) . I. Effects of holding on rooting of cut-sprouts.	Jpn. J. Crop. Sci. 56(2): 238-243.
Nakatani, M., Oyanagi, A. and Watanabe, Y.	1987	Holding of cut-sprouts in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) . II. Physiological changes in cut-sprouts during the holding period.	Jpn. J. Crop. Sci. 56(2): 244-251.
Nakatani, M. and Komeichi, M.	1988	Holding of cut-sprouts in sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.) . IV. Effect of holding on rooting under low soil temperature or moisture.	Jpn. J. Crop. Sci. 57(3): 464-469.
中谷 誠・小柳敦史・荻原英雄・渡辺 泰	1988	サツマイモ苗の取り置きに関する研究 第3報 苗の取り置きが活着, 塊根形成並びに収量に及ぼす影響.	日作紀 57(1): 83-89.
中谷 誠・小柳敦史・渡辺 泰・古明地 通孝	1989	サツマイモ苗の発根に及ぼす地温の影響 第2報 苗の発根最適地温並びに低地温での発根能力の品種間差異.	日作紀 58(1): 35-41.
中谷 誠	1991	サツマイモの塊根シンク能形成研究の現状と展望.	農業技術 46(11): 495-499.
中谷 誠	1992	サツマイモ苗の発根, 活着に影響を及ぼす諸要因.	農研七研報 21: 1-53.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
中谷 誠	1993	サツマイモの根発育に影響を及ぼす諸要因.	根の研究 2(1): 12-15.
中谷 誠	1993	サツマイモにおける苗の発根・活着並びに塊根の形成・肥大に関する研究. [作物学会研究奨励賞 特別講演]	日作紀 62(別1): 312-315. (講要)
中谷 誠	1997	塊根非形成サツマイモ近縁野生種 <i>Ipomoea trifida</i> の根の発育に及ぼすジャスモン酸の影響.	根の研究 6(3): 105-107.
新美 洋・石井孝典・大塚寛治	2005	冬野菜と早掘りカンショ作におけるべたがけ資材二重被覆の保温効果.	九州農業研究 67: 33.
新美 洋	2007	畦幅120cmの野菜用畦における「コガネセンガン」の収量性.	九州農業研究発表会要旨集 70: 29. (講要)
新美 洋・金岡正樹	2009	ダイコンおよびサツマイモ栽培における防草シート畦間被覆の効果と問題点.	九州農業研究発表会要旨集 72: 34. (講要)
新美 洋・鈴木崇之・久保寺秀夫	2011	焼酎廃液濃縮液を活用した春ダイコンー焼酎原料用サツマイモ有機畦連続使用栽培.	九州農業研究発表会要旨集 74: 26. (講要)
Niimi, H. and Suzuki, T.	2012	New radish and sweetpotato organic upland cropping system - continuous ridge use.	Sweetpotato Res. Front 28: 4.
新美 洋・鈴木崇之・上杉謙太・岩堀英晶・立石靖・石井孝典・安達克樹	2016	ダイコンーサツマイモ畦連続使用有機栽培体系の収量性および持続性評価.	有機農業研究 8(1): 46-58.
西原 悟	2010	“オ 南九州(鹿児島, でん粉および焼酎用原料).”, (3) 主要地域における栽培, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, p.175.
西原 悟	2010	“2) 超多収栽培. ”, (4) 省力化に向けた取り組み, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.183-184.
西内 光	1944	甘藷高畦栽培の一理論的解釈(予報).	農及園 19(8): 747-748.
西内 光	1948	甘藷塊根肥大に関する研究 1. 土壤温度系と塊根肥大部位との関係.	日作紀 16(3-4): 17-19.
西内 光	1948	温度系効果による甘藷塊根形成の実験 甘藷塊根肥大に関する研究 II.	日作紀 16(3-4): 48-49.
仁田尾百恵・森 清文・柏木伸哉・露重美義・上妻道紀	2005	でん粉原料用サツマイモ「コナホマレ」の栽培法.	九州農業研究 67: 31.
仁田尾百恵・露重美義・八丸珠恵	2005	加工用サツマイモ「カリントウ用」の栽培技術 第1報 畦の大きさ, 茎頂培養苗利用, 栽植密度の違いが収量に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集 68: 41. (講要)
野田高弘・高畑康浩・佐藤哲生・熊谷 亨・山川理	1996	品種・栽培条件が甘しょ塊根中の澱粉および繊維質に与える影響.	九州農業研究 58: 29.
農業技術通信社(編)	2001	作物別経営研究(15) サツマイモー良質・多収のためのサツマイモ作りとは?	農業経営者 9(10): 36-47.
(農業日本)編集部	1948	サツマイモの肥大成長(口繪).	農業日本 3(8): 2-3.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
野村 小・中馬克巳・八尋 健	1970	畑作物藁桿類のすき込みと後作物の生育,収量 第2報 甘しょの生育・収量.	日作九州支報 33: 71-73.
農商務省農事試験場	—	甘藷ノ部.	農事試験成績(明治32年度): 50-54.
大場和彦・脇山恭行	1994	南九州におけるカンショ, サトイモの生産力評価.	九州農業研究 56: 36.
小田鬼八	1924	“甘藷”, 「栄養と滋味に富んだ蔬菜の作り方」. (家庭園藝講座 第2集:小田鬼八・三木泰治・大屋靈城 著)	大阪時事新報社, 大阪, pp.31-
大庭寅雄・野村 丁・八尋 健・山本泰由・後藤昭	1982	畑地かんがい条件下での堆きゅう肥及び作付体系が作物生産力の推移に及ぼす影響 第2報 作付体系の差がカンショ, サトイモの生育収量に及ぼす影響.	日作九州支報 49: 56-59.
大江碩也	1989	砂丘地のサツマイモ栽培.	いも類振興情報 20: 7-10.
小笠原秀雄・古沢典夫	1950	寒地甘藷の地上部生育と収量.	育種と農芸 5(10): 37.
小笠原秀雄	1954	寒冷地に於ける甘藷の藪・蔓増収に関する試験 (1).	東北農業 7(6): 173-174.
小川正治	1967	砂丘地における早掘甘藷の栽培法.	農及園 42(4): 619-622.
小川 勝	1993	畦間湛水によるサツマイモ「ベニアズマ」のトンネル栽培法.	千葉農試研報 34: 23-41.
大井上 康	1947	加里及石灰の馬鈴薯及甘藷の蓄積生長期に於ける増産効果に就いて.	園学雑 16(1-2): 16-20.
岡 和彦・手塚敏輔・進藤幸広	1994	通気性被覆資材を利用した早掘りカンショ栽培におけるマルチの時期と種類が収量に及ぼす影響.	九州農業研究 56: 41.
岡 正	1952	甘藷の早掘に関する諸問題.	九州農業研究 9: 43-44.
岡部久四郎	1920	第八章 岡部式里芋と甘藷の作り方, 「岡部式自給農法講習録 金肥無用収穫増大農家致富」.	日本図書出版社, 東京, pp.134-
岡山縣 (編)	1920	五 甘藷の栽培法. 「岡山縣ノ節米宣傳」. (産業叢書 第39編)	岡山縣内務部, pp.30-31.
岡崎正一・矢野川 晃	1956	高知県産甘藷の澱粉歩留試験について.	高知大研報 4(33): 1-6.
沖 智之・謝花 治・古川(佐藤)麻紀・宮丸直子・境 哲文	2017	沖縄地域における紫カンショの作型の違いによるアントシアニン量の比較.	九州農業研究発表会要旨集 80: 19. (講要)
大久保浩太・上埜喜八・小野あずみ・堀元栄枝・森 太郎・尾野喜孝	2013	節数や長さで分けたサツマイモ苗の挿苗後の生育と雑草抑制.	作物学会講要集 236: 260. (講要)
大久保浩太・上埜喜八・堀元栄枝・森 太郎・尾野喜孝	2014	サツマイモ苗の頂芽と節数が雑草量と収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 237: 318. (講要)
大見のり子	2010	“キ 沖縄(紅いも). ”, (3) 主要地域における栽培, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.176-177.
大嶺政朗・杉本光穂・鈴木崇之・木村昭彦	2008	カンショの生育センシングへの植被率カメラの適用について.	九州農業研究発表会要旨集 71: 154. (講要)
大宮秀明・佐々木克典・西田清作・松本安広・林久喜・坂井直樹	1999	挿苗時期および収穫時期がサツマイモの収量および品質に及ぼす影響.	筑波大農林研報 12: 1-8.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
大宮秀昭・比企 弘・林久喜	2005	環境負荷の小さい生分解性マルチ資材がサツマイモの生育・収量に及ぼす影響.	筑波大農林研報 18: 1-13.
小野あずみ・上埜喜八・大久保浩太・堀元栄枝・森 太郎・尾野喜孝	2012	採苗の部位がサツマイモの茎長および雑草抑制に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集 75: 24.(講要)
小野敏忠	1972	最近における九州地方の甘しょ作.	農業技術 27(11): 498-501.
小野敏忠	1972	最近における九州地方の甘しょ作 (2).	農業技術 27(12): 544-547.
小野田正利	1942	甘藷の増産技術について.	農業と経済 9(2): 48-
大崎和二・春原 亘	1969	除草時期を異にした場合の甘藷と雑草の競争について.	茨城大農報 16: 115-131.
大嶋保夫	1996	(32) 葉柄食用サツマイモ“エレガントサマー”の生育と収量.	日作関東支報 11: 78-79.(講要)
太田弘一・高畑宏介・福本秀裕・太田自由・北野英己	2018	トウモロコシとサツマイモ混作栽培の効果に関する研究.	愛知教育大研報(芸術・保健体育・家政・技術科学・創作編) 67(1): 23-29.
大内田 真・長谷 健	2015	青果用サツマイモ「安納紅」の糖度と収量の関係.	九州農業研究発表会要旨集 78: 25.(講要)
大矢徹治・Damiao Nguluve・Alipio Simao・Elias Massaete・Domingos Chiconela	2019	モザンビーク南部で栽培したサツマイモ2品種の収量および乾物分配に及ぼす追肥と灌漑の影響.	作物学会講要集 247: 149.(講要)
小山田耕作	2013	焼酎原料用サツマイモの安定生産技術.	いも類振興情報 114: 17-20.
Pardales, J.R.Jr., Banoc, D.M., Yamauchi, A., Iijima, M. and Kono, Y.	1999	Root system development of cassava and sweetpotato during early growth stage as affected by high root zone temperature.	Plant Produc. Sci. 2(4): 247-251.
Pardales, J.R.Jr., Bankc, D.M., Yamauchi, A., Iijima, M. and Ewquibel, C.B.	2000	The effect of fluctuations of soil moisture on root development during the establishment phase of sweetpotato.	Plant Produc. Sci. 3(2): 134-139.
Pongsa-Anutin, Teerasak・鈴木晴雄・松井年行・奥田延幸	2007	ダイズ植被とカンショ植被がフィルムマルチ下地温に及ぼす影響.	香川大農報 59: 1-6.
酒井富美子・山奥 隆・吉野熙道・黒田俊郎	2000	カンショにおける本畑採苗法の開発.	岡山大農セ報 22: 17-18.
酒井富美子・山奥 隆・黒田俊郎・吉野熙道	2001	カンショにおける本畑採苗法の開発 収穫時期を遅らせた場合の検討.	岡山大農セ報 23: 13-15.
酒井富美子・山奥 隆・吉野熙道・黒田俊郎	2003	カンショにおける本畑採苗法の開発 一 品種が異なる場合の検討一.	岡山大農セ報 24(1): 5-8.
坂井健吉・丸峯正吉	1958	甘藷における植付時期の地温と塊根形成との関係.	日作九州支報 12: 72-75.
坂井健吉・白坂 進	1958	早期陸稲跡作物としての甘藷に関する研究.	九州農業研究 20: 41-43.
坂井健吉・白坂 進	1959	甘藷試験区における畦間競争の緩和方法に関する研究.	日作九州支報 14: 44-46.
坂井健吉・丸峯正吉	1960	甘藷の生育経過に関する試験.	農及園 43(1): 179-182.
坂井健吉・丸峯正吉	1965	鹿児島と熊本における甘藷の生育経過の差異について	日作九州支報 25: 6-7.
坂井健吉	1968	甘藷の省力多収栽培法.	農及園 43(1): 179-182.
坂井健吉	1968	最近における甘しょ栽培の問題点.	農及園 43(12): 1843-1846.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
境田耕作・坂元政寛・下郡正樹	2003	青果用カンショの一節苗栽培.	九州農業研究 65: 35.
坂本 敏・井手義人	1983	カンショの収量に及ぼすメチオニンの影響.	九州農業研究 45: 30.
坂本 敏	1984	カンショにおける草型の分類および草型と収量との関係.	九州農業研究 46: 51.
坂本 敏	1985	かんしょにおける圃場試験法・調査法の現状と問題点.	農業技術 40(11): 506-509.
坂崎俊友・矢野勝也	2015	高CO ₂ 環境下のサツマイモ収量におけるシンク容量制限の影響.	作物学会講要集 240: 104. (講要)
佐々木 修	1989	甘藷の地上部の発達と塊根形成との関係 I. 1次分枝の形成部位の差違が地上部の発達および塊根の形成におよぼす影響.	鹿児島大農学術報告 39: 1-7.
佐々木 修	1991	甘藷の地上部の発達と塊根形成との関係 II. 栽植密度の違いが地上部の発達および塊根の形成に及ぼす影響.	鹿児島大農学術報告 41: 1-6.
佐々木 修・湯田敦彦・植木健至	1993	甘藷の地上部の発達と塊根形成との関係 第3報 分枝系の発達とその品種間差.	日作紀 62(2): 157-163.
佐々木 修	1995	カンショの塊根収量と茎葉部諸形質との相関.	日作九州支報 61: 80.
佐々木 修・西原英典・津曲雄治・下田代智英	2004	カンショの塊根の肥大と形状の成立要因—塊根形成の異なる2品種の比較—.	日作紀 73(1): 65-70.
佐々木 修・西原英典・津曲雄治・下田代智英	2004	カンショの塊根の肥大と形状の成立要因—塊茎肥大初期の灌水処理の影響—.	日作紀 73(2): 197-203.
佐々木 修・森山浩之・喜田克憲・樋高二郎	2005	カンショの茎葉部における分枝系の発達とその品種間差.	鹿児島大農学術報告 55: 1-6.
佐藤一二	1947	寒地に於ける甘藷栽培法(苗の素質と挿苗期).	農及園 22(5): 245-246.
佐藤正一	1948	圓錐丘斜面の甘藷栽培試験.	九州農業研究 2: 1-2.
沢畑 秀・高畑康浩・古明地通孝	1988	接木植物利用によるカンショ品種の塊根肥大特性の解明.	九州農試年報 1987: 26-29.
沢畑 秀	1988	サツマイモの塊根肥大特性に関する研究 第1報 地下部環境条件の差異が塊根肥大に及ぼす影響.	日作紀 57(4): 608-613.
沢畑 秀	1989	サツマイモの塊根肥大特性に関する研究 第2報 養分供給量の差異が塊根肥大に及ぼす影響.	日作紀 58(3): 290-296.
沢畑 秀	1989	サツマイモの塊根肥大特性に関する研究 第3報 養分供給量の差異が塊根肥大に及ぼす影響の品種間差異.	日作紀 58(4): 495-501.
沢畑 秀	1992	カンショ塊根の肥大特性.	九州農試報 27(3): 269-315.
沢畑 秀	2004	“4.施肥による生育抑制.”, “5.栽培条件による生育抑制.”, 生育環境・栽培条件と収量構成の変動, サツマイモ栽培の基礎理論, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.128-133.
関岡信一・石川大太郎・大神修一郎・石黒悦爾	2007	(2) 分光反射特性を用いたサツマイモの生育推定手法の開発.	農機九州支講要集 61. (講要)

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
芝山秀次郎・真島佳代子・光富勝・有馬進	1998	唐津産の木酢液の処理がカンショの生育と塊根の遊離糖含有量に及ぼす影響.	海と台地 7: 15-23.
志賀敏夫	1985	最近の甘藷栽培の動向と栽培の問題点.	いも類振興情報 2: 2-9.
島袋正雄	1962	甘藷の苗床から収穫まで.	琉大農家便り 74: 4-7.
下田代 智英・大浦美幸	2016	サツマイモの3節苗直挿し栽培の生育と塊根収量.	作物学会講要集 243: 61.(講要)
下田代 智英・藤田水脈・大浦美幸・内門滉喜・佐々木 修	2016	ベニサツマの節挿し苗栽培の検討.	作物学会講要集 242: 75.(講要)
下田代智英・大浦美幸	2017	サツマイモの3節苗直挿し栽培における生育と塊根収量.	九州農業研究発表会要旨集 80: 20.(講要)
下田代智英・山田翔太	2019	サツマイモの節苗直挿し栽培における栽植密度の影響.	作物学会講要集 247: 47.(講要)
下田代智英・内門佑太・稲田貴成	2019	サツマイモの節苗直挿し栽培における地温の影響.	作物学会講要集 248: 107.(講要)
下田代智英・森田あかり・内門佑太	2020	低土壌水分下におけるサツマイモの節苗の活着.	作物学会講要集 249: 148.(講要)
進藤幸広・岡 和彦	1993	早掘カンショ栽培のための通気性被覆資材利用.	九州農業研究 55: 181.
新屋 明・西田義之・柳員幸	1961	種子島における早期陸稲跡作物としての甘藷の品種及び栽植密度について.	九州農業研究 23: 150-151.
白坂 進・坂井健吉	1961	甘藷品種の特性調査に関する研究 第1報 品種の直播性.	日作九州支報 16: 8-12.
新庄莉奈・田中愛子・矢野勝也・近藤始彦	2017	土壌の滅菌がサツマイモの生育と窒素固定能へ及ぼす影響.	作物学会講要集 244: 69.(講要)
菅原清康	1950	甘藷に及ぼす石灰の影響について.	日作紀 19(1-2): 35-38.
菅原清康	1951	強酸処理が甘藷種藷に及ぼす影響.	日作紀 19(3-4): 331-334.
杉本光穂・石井孝典・大嶺政朗	2012	かんしょ小苗の本圃における活着・収量に関する研究.	九州農業研究発表会要旨集 75: 100.(講要)
杉本光穂・石井孝典・大嶺政朗	2012	(21) かんしょ小苗の本圃における活着・収量に関する研究.	農機九州支講要集 66.(講要)
杉本光穂	2014	省力化と苗生産向上のためのかんしょ小苗生産と植付け技術の開発.	いも類振興情報 121: 42-45.
杉尾昌嗣	1985	青果用サツマイモのハウス栽培.	農及園 60(11): 1409-1414.
杉崎正作	1939	酒精原料甘藷の成分及発酵に及ぼす旋肥の影響(第2報).	農化 15(12): 1201-1208.
Sulaiman, H. and Sasaki, O.	2001	Studies on effect of planting density on the growth and yield of sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> Lam.)	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 37: 1-10.
Sulaiman, H. and Sasaki, O.	2001	Influence of planting density on the root growth and yield of sweet potato (<i>Ipomoea batatas</i> s Lam.).	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 37: 11-19.
澄田 肇	1949	甘藷栽培の要点(1) 植付について.	研習.(島根農事試) 復刊 12: 23-
鈴木金苗	1982	かんしょの品質改善とその対策.	農業技術研究 36(5): 41-43.
鈴木崇之・橋爪 健・佐久間太・李 發東・小林透・安達克樹	2011	緑肥作物チャガラシのサツマイモ前作への導入効果.	九州農業研究発表会要旨集 74: 25.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Suzuki, T., Kobayashi, T., Adachi, K., Mochida, H., Iwahori, H., Tateishi, Y. and Uesugi, K.	2012	Effect of introducing nematode-resistant sweet potato cultivars on crop productivity and nematode density in sweet potato-radish double-cropping systems.	Plant Produc. Sci. 15(1): 48-56.
鈴木崇之・新美 洋・上杉謙太・岩堀英晶・立石靖・安達克樹	2016	早期の畝立てによるサツマイモのネコブセンチュウ害抑制効果.	作物学会講要集 242: 73. (講要)
(臺灣) 農業試験所嘉義農業試験支所(編)	1939	甘藷臺農種の地方試作成績及普及面積調査.	農業試験所嘉義農業試験支所, pp.415-443. (臺灣農事報第35年第6號別刷)
高江洲 賢文・島仲常吉・真栄城 晃	1994	カンショのジャーガルにおける生育特性.	沖縄農試研報 15: 29-34.
高橋英生	1989	“ハウス栽培.”, 各作型での基本技術と生理, サツマイモ, 「野菜園芸大百科13」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.257-266.
高畑康浩・沢畑 秀	1989	カンショの品種・系統間競争による主要形質の変動.	九州農業研究 51: 37.
高越友紀・齊藤邦行・黒田俊郎	2010	サツマイモの乾物生産と暗呼吸におよぼす窒素施肥の影響.	日作中国支集 51: 39-40. (講要)
高野幸成・濱 侃・清水健・齊藤俊一	2021	(野020) サツマイモの草高および葉色とUAV 画像解析データとの相関関係.	園学雑別冊(R3春): 野020. (講要)
高瀬 昇・坂田公男	1962	甘藷栽培における肥料と澱粉歩留りとの関係.	日作九州支報 18: 23-24.
高瀬 昇・坂田公男	1962	甘藷の過繁茂抑制に関する研究.	日作九州支報 19: 31-32.
武田英之・猪野 誠・安藤光一	1984	食用カンショ生産技術の現状と改善法.	農及園 59(5): 683-688.
武田英之・猪野 誠・安藤光一	1984	食用カンショ生産技術の現状と改善法(2).	農及園 59(6): 803-806.
武田英之・猪野 誠・安藤光一	1984	食用カンショ生産技術の現状と改善法(3) 千葉県北総台地畑における栽培について.	農及園 59(7): 933-937.
武田英之・猪野 誠・安藤光一	1984	食用カンショ生産技術の現状と改善法[4].	農及園 59(8): 1024-1028.
竹牟禮 穰	2014	“2節 南九州における栽培・管理.”, VI章 焼きいも用サツマイモの栽培・管理と産地, 「焼きいも事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.113-118.
竹牟禮 穰・小山田耕作・西原 悟・松田 浩・福元伸一・加治俊幸	2014	低温糊化性でん粉原料用サツマイモ「こなみずき」の多収栽培法.	九州農業研究発表会要旨集 77: 42. (講要)
竹牟禮 穰・西原 悟・小山田耕作・松田 浩	2015	低温糊化性でん粉原料用サツマイモ「こなみずき」の多収栽培法.	日作九州支報 81: 50-53.
竹牟禮 穰・松田 浩・加治俊幸	2015	「べにはるか」の加工用途における最適栽培日数.	九州農業研究発表会要旨集 78: 23. (講要)
竹牟禮 穰・溜池雄志・大村幸次・森 清文・杉本光穂	2017	焼酎原料用品種「コガネセンガン」における小苗栽培の生育特性.	九州農業研究発表会要旨集 80: 18. (講要)
竹牟禮 穰・溜池雄志・大村幸次・森 清文・杉本光穂	2018	サツマイモ小苗栽培における植付け時期と密植が収量に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集(作物部会) 81: 15. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
竹牟禮 穰	2018	7 「こなみずき」の品種特性に基づいた栽培と現場での生産について.	いも類振興情報 137: 29-32.
田邊 亨	1943	煙草間作としての甘藷栽培試験.	岡山たばこ試験場報告 3: 22-
田中 勝・小林 晃・甲斐由美・境 哲文・田淵宏朗・高畑康浩	2017	九州沖縄農業研究センター都城研究拠点におけるサツマイモの収量およびでん粉含量と気象条件の関係.	九州沖縄農研報 67: 35-46.
田中滋郎	2004	“連作障害と作付体系.”, 問題となっている障害, 当面する技術課題, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.254-259.
田中丸重美・木村和義	1986	サツマイモ挿し穂の不定根伸長に対する降雨処理の影響.	農学研究 61(1): 57-63.
樽本 勲・田宮誠司・石川博美	1990	(33) 甘しょにおける塊根萌芽促進法の開発.	日作関東支報 5: 77-78.(講要)
樽本 勲	2004	“食用サツマイモの品質評価と目標.”, 食用サツマイモの収穫技術, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.11-18.
館田克実・高橋浩之	1951	田畑輪換はこうして行われている -水田にサツマイモをつくる村-	農業日本 6(5): 23-28.
田爪静夫・中原浩二	1962	甘藷に対するCATの除草効果について.	九州農業研究 24: 69.
田爪静夫	1965	甘藷の生育時期別の収量とでん粉歩留について.	宮崎農試研報 6: 76-88.
戸苅義次	1948	甘藷の収量並に切干歩合に及ぼす加里及窒素の影響.	農及園 23(): 299-304.
戸苅義次	1950	甘藷の栽培理論.	農及園 (別冊): 61-63.
戸苅義次	1950	“甘藷栽培の技術的解説.”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園芸中央会 編).	日本園芸中央会, 社村(長野県北安曇郡), pp.52-(0046.jp2)
戸苅義次・藤瀬一馬・児玉敏夫	1962	“甘藷の生育”, “甘藷の栽培”, 作物大系 第5編 いも類; 1,2.	養賢堂, 東京, 130p.
東京都農業試験場	1955	甘藷麦間挿植法試験.	甘藷地方試験成績書(昭和30年度), pp.9-19.
富山一男・横山英二・轟篤・川上 求	1992	カンショ「コガネセンガン」の早掘栽培技術.	九州農業研究 54: 46.
土佐善甫	1976	サツマイモ栽培における交互ざしの提案.	農業気象 32(2): 79-81.
筒井佐喜雄・梅村芳樹・志賀義彦	2007	(24) 北海道で育成されたサツマイモの特性.	会報(北海道園芸研究談話会) 41(平19): 52-53.(講要)
筒井佐喜雄・志賀義彦・藤原勝政	2009	(26) サツマイモのマルチ栽培における定植時期と栽植密度.	会報(北海道園芸研究談話会) 43(平21): 56-57.(講要)
津野幸人・藤瀬一馬	1968	甘藷の乾物性産に関する研究 第10報 肥料条件と乾物生産よりみた塊根乾物率の決まりかた.	日作紀 37(1): 12-16.
津野幸人・藤瀬一馬	1968	甘藷の乾物生産に関する研究 第11報 深層施肥が塊根収量に及ぼす影響.	日作紀 37(2): 273-279.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
鶴内孝之・立石 博・陣野久好	1976	有孔ポリフィルムが無支柱被覆によるかんしょ早掘り栽培.	九州農業研究 38: 67-68.
内村 力・宮下茂樹・今村 実	1966	後作てん菜を前提とした早掘甘しょの挿苗時期, 品種について.	九州農業研究 28: 61-63.
内村 力	1976	南九州における畑作物のマルチ栽培に関する研究 II. 甘しょのマルチ栽培下における地温上昇と生育, 収量及び養分吸収との関係についての一考察.	日作九州支報 42: 81-82.
内村 力・上妻道紀・江畑正之	1978	原料用甘しょ「ミナミユタカ」の生態的特性と施肥反応について.	九州農業研究 40: 53.
内村 力	1986	暖地(カンショ) - 鹿児島県を中心として一.	雑草研究 31(4): 269-272.
内村 力	2004	“施肥法・作畦.”, 本畑での生育と技術, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.148-149.
有働良夫	1924	東北地方開墾地に甘藷栽培の成功.	大日本農會報 527: 25-26.
植田精一・大橋義弘・鈴木 駿・米倉豊治・内田敏	1959	青果用甘藷(農林1号, 高系14号)の品質に関する研究.	日作紀 27(2): 309-311.
上田智子・太田友代・岩崎 剛・高橋俊夫・Takahashi, T.	2015	鶴ヶ島試験地におけるサツマイモの年次別生育調査.	埼玉農総研研報 14: 65-69.
上原登喜男・乙部逸夫・三苦功吉・中野静思	1983	大分県における食用カンショの生産力・品質向上 第2報 早掘りカンショに対するメチオニンの効果.	九州農業研究 45: 28.
植木健至・佐々木 修	1987	甘藷の塊根肥大と地温との関係に関する一考察.	鹿児島大農学術報告 37: 1-8.
上埜喜八・芳丸佳菜子・田原 稔・尾野喜孝・堀元栄枝	2012	手取り除草の時期と回数がサツマイモの収量と雑草発生に及ぼす影響.	作物学会講要集 233: 278-279.(講要)
上埜喜八・本田貴由・堀元栄枝・森 太郎・尾野喜孝	2013	除草剤を用いない栽培条件下でのサツマイモの株間が収量と雑草に及ぼす影響.	作物学会講要集 235: 302.(講要)
上和田 勉	1965	サツマイモの肉片植による発根結着について.	日作紀 34(2): 109-113.
鶴川喜久雄	1919	甘藷多収穫栽培法要義.	大日本農會報 455: 13-16.
梅村芳樹	2001	サツマイモ栽培技術の改善による安定供給.	農業経営者 9(10): 36-38.
浦田貴子・石橋哲也・大坪竜太・檜崎耕輔	2014	サツマイモ新系統'関東132号'の佐賀県上場地域における適応性.	九州農業研究発表会要旨集 77: 44.(講要)
Wang, J.S., Sato, M. and Taura, S.	1999	High frequency plant regeneration in leaf and petiole explant cultures of sweet potato.	Mem. Fac. Agr. Kagoshima Univ. 35: 1-5.
渡邊和之	1979	カンショの過剰栄養生長機構に関する栽培学的研究.	農事試研報 29: 1-94.
渡辺信利	1983	“サツマイモ”, 砂丘地の農作物と栽培技術.(30年記念特集)	日本砂丘学会誌 30(1): 123-128.
矢吹万寿・上和田 勉	1976	甘藷の節挿し法による栽培について.	農業気象 32(2): 83-85.
矢神純孝・下西 恵	1992	日本一早い青果用さつまいもの栽培技術.	九州農業研究 54: 47.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
山田健雄	1998	高知県における早掘カンショのトンネルマルチ栽培と育種.	農及園 73(9): 981-985.
山本郁三	1948	冠水甘藷に就て. (講演要旨)	醜酵協会誌 6(1-3): 5-8.
山崎肯哉	1950	東北地方に於ける甘藷の晩植増収に対する苗の大小と植付方法に関する研究.	園学雑 19(1): 29-38.
山崎肯哉	1951	味覚を対象とした甘藷の施肥.	農及園 26(3): 347-349.
山崎慎一	1954	大豆及び甘藷の灌漑効果.	東北農業 7(5): 143-145.
山崎守正・小星芳路・栗田富次	1949	甘藷苗の草木灰並に石灰に依る豫措が藷の収量に及ぼす効果に就て (豫報).	日作紀 17(4): 4.
・田原 稔・立野喜代太	1989	サツマイモの植付時期の違いによる物質生産並びに掘取りの難易について 得に澱粉歩留り及び[藷梗長]の変化について.	佐賀大農農場報告 3: 31-36.
屋敷隆士	2004	“関東普通栽培.”, 各地の作型と技術の特徴, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.185-198.
安丸徳広・古谷義人	1963	主要作物畑における雑草の発生消長について (第1報) 早期畑稲及び甘藷.	日作九州支報 20: 46-47.
(與儀農事試)園芸科	1949	甘藷栽培法に就いて.	沖縄農業 (與儀農事試) 3(9):
米田英世・宝田 偲	1971	早掘りカンショのポリマルチ栽培における植付方法について.	九州農業研究 33: 252.
吉田智彦	1968	甘しょの塊根重と全重との関係 光合成有効利用係数について.	農業技術 23(8): 359-362.
Yoshida, T.	1985	Correlation between successive yield tests for agronomic characters in sweet potato.	Japan. J. Breed. 35(2): 204-208.
吉永 優・境哲 文・小林透	2006	農家圃場における紫サツマイモ品種の色価の変動.	九州農業研究発表会要旨集 69: 52. (講要)
吉永 優	2014	“章の概説.”, VI章 焼きいも用サツマイモの栽培・管理と産地, 「焼きいも事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, p.107.
吉岡秀樹・坂本真一・加勇田誠	1989	食用カンショのマルチ栽培用新資材の特性と効果.	九州農業研究 51: 38.
吉崎徹磨	1965	瀬戸内島嶼地帯の立地条件が甘藷の生育に及ぼす影響.	広島農試報告 22: 1-13.
—	1894	甘藷作附試験.	交詢雑誌 490: 6.
—	1919	甘藷栽培貯藏上の注意.	大日本農會報 452: 23.
—	1920	徳永式改良甘藷作法.	大日本農會報 466: 20-27.
—	1920	増収ある甘藷の支柱立.	大日本農會報 470: 34.
—	1933	農林省委託甘藷生産改良増殖試験.	昭和5年度業務功程報告(沖縄農事試), pp.199-201.
—	1953	甘藷早掘試験成績.	農芸 6(12): 14-16.
—	1964	火山灰土壌地帯における甘藷の生産性向上 (シンポジウム).	農及園 39(3): ???

524 直播栽培

秋田重男・小林 仁	1962	直播甘藷の種藷肥大抑制に関する研究 種藷の肥大に関与する条件.	日作紀 30(2): 127-130.
-----------	------	---------------------------------	---------------------

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
秋田重男・楠原 操・小林 仁	1962	直播甘藷の種藪肥大抑制に関する研究 曝光による生育並びに種藪内部組織の 追跡.	日作紀 30(4): 295-297.
秋田重男・山本史夫・小 野光幸・楠原 操・小林 仁 ・池本節雄	1962	甘藷の直播に関する研究.	中国農試報 A8: 75-128.
中馬克己・池田丈助	1956	甘藷の直播栽培に関する試験 I. 萌芽 茎の間引に関する試験 II. 種藪処理に 関する試験.	九州農業研究 18: 55.
Fukazawa, H.	2003	Mechanized direct planting of sweetpotatoes.	Sweetpotato Res. Front 16: 3.
橋爪卓三	1960	甘藷の直播栽培とその成績.	農及園 35(5): ???
東 孝行・加治屋伸章・ 松崎正義・宮下茂樹	1994	でん粉原料用カンショ「シロユタカ」の直 播適性.	九州農業研究 56: 40.
東 孝行・藤田英介・上 妻道紀	1998	直播カンショの親いも肥大特性.	九州農業研究 60: 33.
池本節雄	1971	甘藷の直播栽培に関する研究.	中国農試報 A20: 117-156.
菊池祐一郎・中村 剛・ 本山 宏・塘 俊一	2019	カンショ直播栽培における植付深度が親 いも肥大や子いも収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 247: 148. (講要)
樹下毎郎	1955	甘藷の直播栽培法.	農村 33(5): 54-56.
小林 仁・秋田重男	1965	(23) 直播甘藷の結藪肥大特性.	育雑 15(3): 207.(講要)
児玉敏夫・小林了三	1952	甘藷の小藪直播栽培法に関する研究 第 I 報 播種時期が生育相に及ぼす影響.	関東東山農試研報 3: 43-48.
児玉敏夫	1952	苗を使わずに甘藷がつくれる.	農業毎日 6(2): 34-35.
児玉敏夫・小林了三	1952	サツマイモの小藪直播栽培(予報).	農業技術 7(1): (32-35).
児玉敏夫	1953	甘藷の直播栽培法.	農業世界 48(3): 66-69.
児玉敏夫・小林了三	1954	甘藷直播栽培法に関する研究 第II 報 直播並移植栽培における甘藷の生育相 の比較.	関東東山農試研報 6: 103- 107.
児玉敏夫・野本達郎	1954	甘藷直播栽培法に関する研究 第III 報 苗の植付時期が種藪価値に及ぼす影 響.	関東東山農試研報 6: 108- 112.
児玉敏夫・野本達郎	1955	甘藷直播栽培に於ける採種条件の相異 が種藪価値に及ぼす影響.	日作紀 24(2): 97-98.
児玉敏夫・野本達郎	1955	甘藷直播栽培法に関する研究 第IV 報 種藪の生産環境が種藪価値に及ぼす影 響.	関東東山農試研報 8: 104- 111.
児玉敏夫・野本達郎・渡 辺和之	1957	直播甘藷の生育経過について 第1報 地 上部, 地下部の生育.	日作紀 25(3): 147-148.
児玉敏夫・野本達郎・渡 辺和之	1957	直播甘藷の生育経過について 第2報 塊 根肥大の解剖学的追跡, 第3報 生育経 過に伴う生理的变化について.	日作紀 25(3): 175-177.
児玉敏夫	1957	甘藷の直播栽培法.	農業技術 12(5): ???
児玉敏夫・野本達郎・渡 辺和之	1961	甘藷直播栽培法に関する研究 第V 報 刈取次期の相違と茎葉の収量につい て.	関東東山農試研報 18: 149- 156.
児玉敏夫	1962	直播甘藷の生育に関する生態学的研 究.	農事試研報 1: 157-222.
小中伸夫・三輪 晋	1967	甘しよの直播栽培に関する研究(第1 報).	千葉農試研報 7: 49-59.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
久保田哲史・笹倉修司	2000	甘しょ直播技術の経営的評価と導入条件 - フローチャートとチェックリストを用いた分析 -.	農業経営研究 38(1): 95-100.
熊谷 亨・持田秀之・深澤秀夫	2005	サツマイモ品種「ジェイレッド」の直播における栽培条件.	日作九州支報 71: 39-41.
楠原 操	1972	甘藷の直播栽培法.	農及園 47(3): 457-462.
丸山義二	1953	直播甘藷で反当三千貫.	農業世界 48(6): 86-88.
松本重男	1967	九州地域の甘しょ直播栽培研究経過と課題 (1).	農業技術 22(6): 265-268.
松本重男	1967	九州地域の甘しょ直播栽培研究経過と課題 (2).	農業技術 22(7): 310-312.
松本重男・沢畑 秀	1968	直播甘しょの種いも肥大に関する一考察.	九州農業研究 30: 106-108.
松岡匡一・川上剛志	1953	傾斜地に於ける甘藷の直播栽培について (予報).	日作紀 22(1-2): 125-126.
松岡匡一	1955	甘藷の直播栽培に関する研究 (第4報).	四國農試報 2: 23-40.
三木伝之典・鎗水 寿	1967	甘しょ切断直播栽培について.	九州農業研究 29: 85-86.
水沼永吉. 他	1956	瀬戸内海島嶼部における甘藷直播栽培の導入.	農及園 31(10):
中沢秋雄・佐野 洋	1963	甘藷切片直播栽培の研究 1. 切断藷の腐敗防止.	農業技術 18(9): 421-423.
中沢秋雄・佐野 洋	1963	甘藷の切断直播に関する研究 2. 萌芽性精度の向上について.	農業技術 18(12): 576-580.
中沢秋雄・佐野 洋	1969	甘しょの切断直播栽培における親いもの再肥大について.	日作紀 38(1): 132-136.
中沢秋雄	1973	甘しょ切断直播栽培に関する研究.	農事試研報 19: 101-165.
境 哲文・片山健二・甲斐由美・吉永 優	2007	サツマイモの直播栽培による親イモ肥大の特性とその抑制法の検討.	作物学会講要集 224: 234-235. (講要)
境 哲文・片山健二・甲斐由美・吉永 優	2008	(P-48) 直播栽培したサツマイモにおける成分特性の変動.	日作紀 77(2): 310-311. (講要)
境 哲文・片山健二・甲斐由美・吉永 優	2011	醸造原料用サツマイモ「タマアカネ」を用いた直播栽培技術の検討.	九州農業研究発表会要旨集 74: 34. (講要)
境 哲文	2013	サツマイモの直播栽培.	農耕と園芸 68(1): 58-61.
境 哲文	2013	サツマイモにおける直播栽培の試みと適品種 'タマアカネ' の紹介.	Bio九州 207: 9-13.
境 哲文・小林 晃・甲斐由美・片山健二・吉永 優・高畑康浩	2015	直播栽培したサツマイモの収量特性に及ぼす結藷型の影響.	作物学会講要集 240: 89. (講要)
境 哲文・小林 晃・高畑康浩・甲斐由美	2016	サツマイモ直播栽培における種いもサイズが初期生育や収量に及ぼす影響.	作物学会講要集 242: 242. (講要)
境垣内岳雄・甲斐由美・小林 晃・末松恵祐	2019	カンショ直播栽培における遺伝資源の親イモ肥大性の評価.	作物学会講要集 247: 150. (講要)
境垣内岳雄・甲斐由美・小林 晃・末松恵祐	2019	直播用カンショ系統「九州198号」の初期生育の特性.	九州農業研究発表会要旨集 (作物部会) 82: 17. (講要)
境垣内岳雄・甲斐由美・末松恵祐・川田ゆかり・小林 晃	2021	カンショにおける品種と挿苗時期の違いが直播栽培用種いもの生産性に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集 (作物部会) 84: 14. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Sakaigaichi, T., Kai, Y., Kobayashi, A. and Suematsu, K.	2021	Evaluation of early vigor under direct planting cultivation in sweet potato.	Plant Produc. Sci. 24(1): 118-122.
四方俊一	1972	直播栽培のかんしょに対する除草剤パラコートの影響について.	雑草研究 14(1972): 61-66.
立石 博・杉島 浩・中島憲秋	1966	甘藷「中国25号」の直播栽培の成果.	九州農業研究 28: 59-60.
立石 博・杉島 浩・中島憲秋・宮崎和之	1967	甘しょ「中国25号」の直播栽培における収最並びに飼料価の追跡調査について(第1報).	九州農業研究 29: 84.
梅村秀樹	2004	“直播および種子播栽培栽培.”, 各地の作型と技術の特徴, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.235-236.
渡辺和之	1959	サツマイモの直播栽培.	農村文化 39(1): 42-45.

525 種子播き栽培

長谷川 浩・和田士郎	1952	甘藷実生に於ける直根肥大性の意義について.	九州農業研究 9: 39-40.
広崎昭太・小野敏忠	1970	かんしょの種子播栽培法に関する研究(予報).	九州農業研究 32: 45.
広崎昭太・坂井健吉	1967	露地開花性甘しょの実用性について.	日作九州支報 28: 19-20.
岩間和人・MAKILING G.M.・PANSAITA R.・小巻克己・久木村 久	1988	(35) 種子まき栽培かんしょと挿苗栽培かんしょとの乾物生産特性の比較.	日作紀 57(1): 69-70.(講要)
岩間和人・吉永 優・久木村 久	1989	(24) カンショの種子まき栽培系統と挿苗栽培品種との生育および塊根収量の比較.	日作紀 58(1): 48-49.(講要)
Iwama, K., Yoshinaga, M. and Kukimura, H.	1990	Dry matter production of sweet potato in true seed planting culture.	Jpn. J. Crop. Sci. 59(1): 146-152.
岩間和人・日高 操・吉永 優・小巻克己・久木村 久	1999	(37) カンショの種子播き栽培集団間における収量の差異.	日作紀 60(1): 74-75.(講要)
小巻克己・知識敬道・宮崎 司	1985	種子播カンショの開花結実性と収量性.	九州農業研究 47: 57.
小巻克己・久木村久	1987	種子播き栽培用カンショ品種育成における循環選抜の効果.	九州農業研究 49: 59.
三宅瑞穂・松永健治	1939	甘藷種子の硫酸処理に依る発芽促進.	農及園 14(): 1214-1216.
繁村 親・井口武夫・西尾伸一	1965	露地開花性甘藷とその育種的利用に関する研究.	中国農試報 A11: 1-33.
田淵尚一・吉田智彦・久木村 久	1984	カンショ硬実種子の硫酸処理.	農及園 59(12): 1531-1533.
梅村芳樹・熊谷 亨	1987	カンショオープン採種種子実生栽培の母本間差.	九州農業研究 49: 62.
矢神純孝・上妻道紀	1991	カンショの種子まき栽培に関する試験.	九州農業研究 53: 49.
山川 理・坂本 敏	1976	かんしょ種子の非硬実性に関する研究.	九州農業研究 38: 38.
山川 理・坂本 敏	1979	かんしょ種子播栽培における栽植密度試験.	九州農業研究 41: 50.
山川 理・坂本 敏	1979	かんしょ実生におけるペーパーポット栽培試験.	九州農業研究 41: 51.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
山川 理・坂本 敏	1980	カンショ種子播栽培用品種の育種に関する研究 I 露地開花性集団における開花結実性と種子播適性について.	育雑 30(2): 151-160.
山川 理・坂本 敏	1980	かんしょ実生における栽培法の比較試験.	九州農業研究 42: 44.
山川 理・坂本 敏	1981	かんしょ種子播栽培における初期生育の解析.	九州農業研究 43: 44.
吉田智彦	1998	サツマイモ真正種子集団の改良とその塊根収量.	日作紀 67(2): 178-182.
兼田朋子・中村宣貴・椎名武夫・馬場 正	2021	高温キュアリング処理によるサツマイモ‘高系14号’「なると金時」の貯蔵性向上効果.	日食保蔵誌 47(2): 67-75.

530 貯蔵

安藤利夫・飯嶋直人・家寿多正樹	2021	長期貯蔵における焼きいもの食味関連成分の変化を踏まえたサツマイモ「べにはるか」の貯蔵温度管理.	千葉農林総研研報 13: 9-18.
安藤安孝	1943	甘藷の収穫と貯蔵法.	農村文化 22(11): 46-49.
荒木田尚広・島田 峻・田中研一・西宮智美・渡邊 健	2019	サツマイモ輸出に係る海上輸送時のいもの腐敗実態とその発生要因.	作物学会講要集 247: 101. (講要)
荒木田尚広・島田 峻・田中研一・西宮智美・渡邊 健	2019	海外輸出向けサツマイモ腐敗抑制技術の開発.	作物学会講要集 248: 76. (講要)
荒木田尚広	2020	早掘りサツマイモの低温貯蔵による食味向上技術. (特集:経営体強化プロジェクト・青果かんしょ貯蔵の概要)	いも類振興情報 145: 7-10.
荒木田尚広	2021	海外輸出向けサツマイモ腐敗抑制技術の開発.	いも類振興情報 146: 43-47.
福田俊夫	1953	千葉県に普及した甘藷キュアリング貯蔵法 (1).	農業技術 8(10): (16-19.)
福田俊夫	1953	千葉県に普及した甘藷キュアリング貯蔵法 (2).	農業技術 8(11): (22.)
後藤和夫	1949	サツマイモのキュアリング貯蔵.	農業日本 4(11): 20-23.
原 三郎・他	1956	甘藷の生育と収量との関係.	農及園 31(10):
堀 正侃	1950	甘藷貯蔵中の腐敗の新しい防ぎ方.	農業世界 45(11): 32-35.
Hu, W., Tanaka, S. and Hori, Y.	2004	Effect of heat treatment on quality of sweet potato in wrapper type cold store during long-term storage.	J. Fac. Agr., Kyushu Univ. 49 (1): 129-138.
井口國藏	1883	甘藷貯蔵法.	大日本農會報告 20: 34-35.
伊藤 潔	1954	低温下の甘藷キュアリング.	農業技術 9(7): (32-33.)
岩田 芳	1951	甘藷の貯蔵に就ての一考察.	醗酵協会誌 9(2): 43-44.
泉 有平	1943	甘藷増産部門に於ける貯蔵問題.	農業の満洲 15(10): 17-28.
梶本 明・竹前 彬・中村信夫・江藤博六	1975	食用甘しょの大量地下貯蔵法 (1).	九州農業研究 37: 63.
梶本 明・中村信夫・竹前 彬・江藤博六	1979	食用甘しょの大量地下貯蔵法 (2) 食用甘しょの貯蔵中の成分変化.	九州農業研究 41: 53.
兼田朋子・中村宣貴・椎名武夫・馬場 正	2021	高温キュアリング処理によるサツマイモ‘高系14号’「なると金時」の貯蔵性向上効果.	日食保蔵誌 47(2): 67-75.
金原士朗	1979	甘藷の貯蔵について.	農業技術研究 33(8): 59-62.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
狩谷昭男	2010	キュアリング貯蔵 curing. [用語解説]	いも類振興情報 105: 47.
川原田政太郎・松原茂樹・櫻井宗一郎	1948	甘藷の電熱貯蔵の構成装置と電熱による甘藷の貯蔵, 殊に黒斑病の豫措としての Curing に就て.	園学雑 17(1-2): 69-72.
兒玉敏夫	1950	サツマイモの生理的貯蔵法.	農及園 25(9): (35-38.)
小泉武紀・小野田明彦	1973	甘藷のキュアリング貯蔵施設の調査研究.	農業機械化研究所研究成績 (1973): 1-17.
小泉武紀・小野田明彦	1973	甘藷のキュアリング貯蔵施設について (I).	農業施設 4(1): 49-58.
工藤洋男・有働和文	1966	暖地における甘藷キュアリング貯蔵について.	九州農業研究 28: 60-61.
間宮 廣	1950	“甘藷の貯蔵法.”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園芸中央会編).	日本園藝中央會, 社村(長野県北安曇郡), pp.153-
間宮 広・他	1956	暖地におけるビニールの甘藷簡易貯蔵法.	農及園 31(10):
増田大祐・福岡信之・後藤秀幸・加納 卓	2007	収穫後のサツマイモへの低温処理が糖含量ならびに貯蔵性に及ぼす影響.	園学研 6(4): 597-601.
松原茂樹	1948	甘藷の Curing に関する研究.	園学雑 17(3-4): 176-182.
松原茂樹	1949	甘藷のキュアリング.	農業技術研究 3(9): 9-12.
松原茂樹	1950	キュアリング甘藷の成績と今年の取扱い方.	農業技術研究 4(10): 11-13.
松原茂樹	1950	“甘藷の電熱貯蔵とキュアリングの方法.”, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園藝中央會編).	日本園藝中央會, 社村(長野県北安曇郡), pp.172-(0106.jp2)
三田喜代	1950	甘藷の貯蔵に関する生化学的研究.	広島女子短期大学研究紀要 1: 7-10.
宮川逸平・小酒井一嘉	1977	サツマイモとコンニャクイモのキュアリング貯蔵の研究.	農業施設 7(2): 21-32.
宮崎丈史	1990	サツマイモの成分変化に及ぼすキュアリング処理と貯蔵条件および加熱処理の影響.	園学雑 59(3): 649-656.
宮崎丈史・猪野 誠	1991	貯蔵サツマイモの内部褐斑発生に及ぼす塊根品質と貯蔵条件の影響.	千葉農試研報 32: 65-72.
宮崎丈史・新堀二千男	1991	サツマイモ‘紅赤’および‘ベニアズマ’の品質変化に及ぼす貯蔵条件の影響.	千葉農試研報 32: 73-80.
宮崎丈史	1993	青果用サツマイモの品質特性と貯蔵性に関する研究.	千葉農試特別報告 24: 1-62.
Miyazaki, T., Furukawa M. and Ino, M.	1994	Storability of sweet potato roots as related to root protein content and top/root ratio of plants at harvest.	J. Japan. Soc. Hort. Sci. 63(2): 461-467.
宮崎丈史	2004	“キュアリング技術”, 当面する技術課題, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協 編).	農文教, 東京, pp.260-266.
中川勝八	1948	貯蔵甘藷の生態について.	九州農業研究 3: 11-14.
中島 茂	1943	甘藷並に甘藷切干の害蟲と貯蔵法.	農業と經濟 10(11): 10-
中村享靖	1951	科学的な裏付のある甘藷の掘取と貯蔵法.	養鶏世界 130: 16-19.
野口大介・小野貴哉・陰山 翼・長友良行	2019	甘藷の長期生貯蔵を実現する空気調和技術の開発.	研究報告(宮崎工業セ, 宮崎食開セ)63: 31-36.
野口彌吉・竹井邦彦	1945	貯蔵中における甘藷の呼吸作用.	農及園 20(7): 303-304.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
落合浩英	2012	サツマイモの貯蔵およびBrixに及ぼす影響に関する研究 一種子島の安納いもを中心として ー.	いも類振興情報 112: 23-26.
小笠原秀雄	1952	甘藷キュアリング処理貯蔵に於ける貯蔵性の品種間差異.	東北農業 5(5-6): 109-111.
織部幸五郎	1948	甘藷貯蔵上の諸問題.	農業技術研究 2(9): 24-25.
坂本知昭・片山(池上)礼子	2020	異なる温度条件下での貯蔵がサツマイモ品種「兼六」塊根の品質に及ぼす影響.	日作紀 89(2): 156-161.
佐藤 潔	1950	農業技術滲透に於ける一矛盾 ー甘藷キュアリング貯蔵指導を通じてー.	農友 1(5): 8-9.
世戸口信雄	1952	甘藷の種とりと貯蔵について.	農産:家庭と農藝 7(11): 13-15.
繁村 親・高崎達藏・鈴木森次郎	1941	寒地に於ける甘藷大量貯蔵の意義に就いて.	日作紀 13(1): 64-80.
繁村 親	1942	甘藷貯蔵の研究.	朝鮮総督府農事試験場彙報 14(2): 71-114.
繁村 親	1951	米国の甘藷キュアリングと日本における処理温度の考察.	農業技術 6(2): (36-39.)
繁村 親・宮本健太郎・町田伊六	1953	甘藷貯蔵の研究 II 積上貯蔵の温度的所得性と, 黒斑病伝染に関する俵貯蔵とバラ貯蔵の比較.	中国農試報 A2: 1-32.
繁村 親・宮本健太郎・町田伊六・井口武夫・西尾伸一	1956	甘藷貯蔵の研究 III 霜冷害と貯蔵性の関係について.	中国農試報 A4: 1-34.
繁村 親・宮本健太郎・町田伊六・井口武夫・西尾伸一	1957	甘藷貯蔵の研究 IV 仮貯蔵の研究.	中国農試報 A5: 22-23.
繁村 親・町田伊六・本谷耕一・井口武夫・西尾伸一	1961	甘藷貯蔵の研究 (V) ー塊根の胡弓発熱量の研究ー.	中国農試報 A6: 171-209.
繁村 親・井口武夫・西尾伸一	1962	甘藷貯蔵の研究 (VI) 無加熱式貯蔵法における呼吸熱利用の研究.	中国農試報 A7: 14-110.
島 佳久・永浜伴紀・菅沼俊彦・北原兼文	1996	サツマイモの傷害と保蔵条件による品質変化, 特にイポメアマロンの生成.	熱帯農業 40(4): 204-212.
新小田あづさ・鮫島陽人・上之蘭 茂	2019	(C-11) さつまいもキュアリング処理による芋表面付着土壌中の微生物叢の変化.	日本食品保蔵科学会 68回大会(講要)
菅沼俊彦・松橋好文・藤本滋生・永浜伴紀・田之上隼雄・河野利治	1983	甘藷の γ 線照射と低温障害について.	鹿児島大農学術報告 33: 29-35.
菅原晃美・田中 勝・甲斐由美	2020	サツマイモ品種「べにはるか」の貯蔵による糖類・糖質含量の変化.	九州農業研究発表会要旨集(作物部会) 83: 22. (講要)
杉本光穂・大嶺政朗	2008	カンショのための簡易貯蔵施設の検討.	九州農業研究発表会要旨集 71: 150. (講要)
杉本光穂・大嶺政朗	2008	(33) カンショのための簡易貯蔵施設の検討.	農機九州支講要集 62. (講要)
澄田 肇	1948	甘藷 貯蔵技術の研究.	研習.(島根農事試) 復刊 5: 29-
田渕尚一・吉田智彦・久木村 久・小巻克巳・坂本 敏	1985	カンショの貯蔵腐敗の品種系統間差異.	日作九州支報 52: 70-72.
田上義也	1953	甘藷のキュアリング貯蔵法 (1).	農及園 28(9): 1067-1070.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
田上義也	1953	甘藷のキュアリング貯蔵法 (2).	農及園 28(10): 1181-1184.
高岡 研	1947	生甘藷の処理並に貯蔵法に関する研究.	醗酵工學雜誌 25(7-8): 78-84.
高嶋善治・渡部晃次	1979	甘藷のキュアリング貯蔵について - 金沢市農協大型施設の実施結果.	北陸電力(株)技術研究所研報 19: 163-172.
竹牟禮 穰・馬門克明	2019	青果用サツマイモ「ベにはるか」の株貯蔵がブリックスや萌芽に及ぼす影響.	九州農業研究発表会要旨集(作物部会)82: 18. (講要)
田中俊一郎・佐藤賢一郎	1988	(5-24) 甘藷の長期貯蔵法の開発.	農機誌 50(別): 199. (講要)
谷 信輝・鈴木義則	1964	甘藷貯蔵庫の庫内温観測.	農業気象 20(2): 51-54.
田之上隼雄・下藪かおり・前屋義孝	1989	甘しよの貯蔵性向上のための高温処理条件.	鹿児島農試研報 17: 59-69.
田之上隼雄	2003	パイプハウスによるサツマイモの低コスト貯蔵.	農業技術 58(8): 363-365
立石 博	1972	5・6月出荷用甘しよの冷房貯蔵.	九州農業研究 34: 46-47.
富田絹子	1948	甘藷のV.C含有量の貯蔵による変化(第2報).	醗酵工學雜誌 26(6): 204-212.
上西良廣	2020	貯蔵条件を変えたサツマイモの高付加価値化の検討. (特集:経営体強化プロジェクト・青果かんしよ貯蔵の概要)	いも類振興情報 145: 11-14.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
上之菌 茂	2020	キュアリング及び尾根切除処理による安納芋の貯蔵中腐敗の抑制. (特集:経営体強化プロジェクト・青果かんしょ貯蔵の概要)	いも類振興情報 145: 19-23.
渡邊 健	2010	“ウ キュアリング貯蔵.”, (2) 収穫・貯蔵, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.172-173.
渡辺万里・石井 貴	2021	(P177) キュアリング処理した原料いもの最適温度貯蔵における加工限界時期の解明.	園学雑別冊(R3春): P177. (講要)
山田 清	1992	甘しょの貯蔵と酸欠事故について.	いも類振興情報 31: 16-22.
山村 穎	1981	甘藷の貯蔵と加工. (<特集>農産物の貯蔵・加工・輸送)	農及園 56(1): 137-142.
山根一城・小牧有三	2020	高糖度サツマイモの長期出荷に対応した栽培・貯蔵技術の開発 1.「安納いも」に対する株貯蔵とキュアリングの影響.	九州農業研究発表会要旨集(作物部会) 83: 17. (講要)
山根一城・小牧有三	2020	高糖度サツマイモの長期出荷に対応した栽培・貯蔵技術の開発 2.「安納いも」に対するセンチュウ薬剤処理と尾根切除の腐敗低減に及ぼす効果.	九州農業研究発表会要旨集(作物部会) 83: 18. (講要)
保田徳三郎	1921	甘藷貯蔵窖に就て.	大日本農會報 485: 30-33.
吉永 優	1996	収穫後の低温処理による青果用カンショの品質向上.	九州農試年報 1995: 41-43.
吉永 優・山川 理・中谷 誠	1999	収穫後の低温処理による食用カンショの品質向上.	九州農業研究 61: 19.

540 農業機械

阿部仁平・阿部節也	1951	畜力利用による甘藷掘取競技会の現況と今後の課題.	農村 29(12): 10-12.
愛知県農事試験場	1950	麦間甘藷作り用畜力農機具に関する研究.	愛知県農事試験場年報(昭和25年度), p.22, p.24.
青木弘二・山口 豊・小原勝蔵	1968	甘藷つる収穫機の開発研究.	農作業研究 6: 70-73.
青木弘二・山口 豊	1969	甘藷の機械化栽培 つる切り作業を中心として.	農及園 44(9): 1411-1414.
青木法明・馬門克明	2020	青果用サツマイモ株収穫機の開発. (特集:経営体強化プロジェクト・青果かんしょ貯蔵の概要)	いも類振興情報 145: 15-18.
浅井 實	1949	犁によるサツマイモの掘取.	農業日本 4(10): 36-38.
浅井 實	1950	畜力用甘藷蔓切機に就いて.	農機誌 11(4): 151-
茶園耕一・松元幸男	2000	原料用甘しょ機械化一貫体系の導入効果.	九州農業研究 62: 163.
遠藤俊三・吉川清英	1973	(3-12) 振動式甘藷掘取機の負荷特性について.	農機誌 35(別): 86. (講要)
深澤秀夫・細川 寿・薬師堂謙一・今園支和	1996	カンショ根塊の損傷発生について.	九州農業研究 58: 176.
深澤秀夫・渡辺輝夫・菅原晃美	2002	カンショ直播栽培の機械化作業.	九州農業研究 64: 141.
深澤秀夫・渡辺輝夫・菅原晃美	2003	カンショ直播栽培の機械化作業 第2報 生分解性マルチフィルムの利用.	九州農業研究 65: 153.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
深澤秀夫・薬師堂謙一・細川 寿・渡辺輝夫・中司 敬	2012	有色サツマイモの乾燥技術の開発.	農作業研究 47(1): 3-10.
福岡国隆・大村幸次・吉富 浩	1998	直播カンショの植付機の開発.	九州農業研究 60: 136.
古池寿夫・岡田芳一・永田雅輝	1967	(2-13) ウィーダの甘藷作に対する適用について(第1報).	農機誌 29(別): 37.(講要)
古池寿夫・岡田芳一・永田雅輝・佐藤恪彦	1970	(2-45) 小型トラクタ用ウィーダの小麦・なたね・甘しょに対する適用について(第3報).	農機誌 32(別): 45.(講要)
林 久喜・西田清作・松本安広・六笠裕治	1994	(A-2) サツマイモ機械化栽培のための作業体系確立 1. 苗移植機の適用と作業性.	農作業研究 29(2): 140.(講要)
林 久喜・西田清作・松本安広・六笠裕治	1994	(A-3) サツマイモ機械化栽培のための作業体系確立 2. 収穫機の適用と作業性.	農作業研究 29(2): 140.(講要)
東 孝行・加治屋伸章・藤田英介・上妻道紀	1997	野菜用全自動移植機を利用したカンショの栽培法 第1報 セル苗利用によるカンショ栽培が収量, 品質に及ぼす影響.	九州農業研究 59: 23.
日吉健二・前田実沙紀・小林太一・槐島芳徳	2018	(PA-6) 甘藷用のひげ根処理機構の開発研究.	農業環境工学関連5学会2018年合同大会.(講要)
日吉健二・前田実沙紀・小林太一・槐島芳徳	2019	甘藷用スレディング式ひげ根処理機構の開発.	農業食料工学会誌 81(3): 177-182.
本田 仁・坪 存・岩間志郎 26	1960	甘藷の畜力化(小型機械)栽培様式に関する研究.	茨城農試研報 3: 26-30.
堀内周平・中島周作・鈴木哲仁・近藤 直・小川雄一	2018	(OS9-19) 加熱時間が異なるサツマイモ(べにはるか)のテラヘルツ分光スペクトル計測.	農業環境工学関連5学会2018年合同大会.(講要)
細川 寿・深澤秀夫・渡辺輝夫	1998	(A-24) 甘しょ直播栽培の機械化種 いも形状と直播適性.	農作業研究 33(2): 104.(講要)
池本節雄	1969	甘藷の直播機械化栽培における所要労力について.	農作業研究 8: 81-85.
今園支和・山内敏雄・高木文男・芝 宏道	1984	いもづるの収穫作業の確立 第1報 いもづるの回収機構の開発.	九州農業研究 46: 193.
今園支和・星野盛二・高木文男・芝 宏道	1986	いもづるの収穫作業の確立 第2報 いもづるの回収機構の開発.	九州農業研究 48: 225.
入子善助	1948	甘藷栽培法機械化.	農及園 23(8): 471-472.
岩崎浩一・宮部芳照・末吉武志・柏木純孝	1999	(B-17) 農産物残さ処理の機械化 - 甘藷つるのすき込みと性状変化について - . (注:「甘薯」を修正)	農作業研究 34(2): 148.(講要)
神崎脩太郎	1963	甘藷直播機並びに曝光機の試作.	農及園 38(4): ???
神崎脩太郎・堀端俊 造	1964	甘藷の改良型直播施肥機.	農及園 39(11): ???
神崎脩太郎・他	1965	甘藷の直播機械化作業体系に関する研究.	中国農業研究 32: 43-45.
加藤俊次郎	1950	畜力による甘藷の収穫.	農業世界 45(8): 36-39.
加藤 拡・田崎正人・三好 坦	1965	畑作物の大型機械化栽培について 第2報 甘藷.	九州農業研究 27: 114.
河野 正	1966	畑作物の大型機械化栽培について(第3報) 甘藷の挿苗および蔓切りの機械化.	九州農業研究 28: 98-99.
木下榮一郎	2004	かんしょ移植機の開発.	農機誌 66(4): 26-27.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
児玉三郎・中馬克己	1967	甘しよの中耕培土作業体系化に関する研究(第2報) 中耕培土が甘しよの生育・収量におよぼす影響.	九州農業研究 29: 280-281.
児玉敏夫	1953	甘藷の省力栽培法.	機械化農業 1953(9): 17-19.
小島勝次郎	1965	甘しよの機械化栽培確立試験 -挿苗について-	九州農業研究 27: 284-285.
河野 正	1965	甘藷の大型機械化栽培試験 挿苗および蔓切りの機械化について.	農及園 40(10): 1569-1570.
九州農業試験場	1964	甘藷の機械化作業に関する試験.	九州農業研究(昭和37年度)
九州農業試験場	1967	大型機械による甘しよの収穫作業.	九州農業研究(昭和40年度)
九州農業試験場	1970	甘しよ収穫機の改造.	九州農業研究(昭和43年度)
馬門克明・飛松義博・尾崎重尚	2015	かんしよのひげ根除去機構の基礎研究.	九州農業研究発表会要旨集 72: 92. (講要)
馬門克明・飛松義博・尾崎重尚	2007	(6) 生分解性フィルムを利用したサツマイモの機械化作業技術と経済性.	農機九州支講要集 61. (講要)
馬門克明・飛松義博・林川修二・嶽崎研・牧野晋	2008	(3) 焼酎原料用サツマイモ植付前作業の同時工程作業技術.	農機九州支講要集 62. (講要)
馬門克明・飛松義博・林川修二・嶽崎研・牧野晋	2008	焼酎原料用サツマイモ植付前作業の同時工程作業技術.	九州農業研究発表会要旨集 71: 119. (講要)
馬門克明・大村幸次・勝野志郎・飛松義博	2009	サツマイモ挿苗機植付同時かん水による活着安定技術.	九州農業研究発表会要旨集 72: 105. (講要)
馬門克明	2009	焼酎原料用サツマイモの貯蔵向け収穫作業技術.	農及園 84(12): 1194-1198.
馬門克明・飛松義博	2009	焼酎原料用サツマイモの貯蔵向け収穫作業技術 茎葉処理・藩梗引き抜き機 コンテナ搭載型小型自走式収穫機を開発. (特集 野菜生産技術の改善)	機械化農業 2009(05): 14-17.
馬門克明	2009	サツマイモの機械植付同時かん水装置 活着安定,機械利用時間を増大. (特集 野菜生産の新技術)	機械化農業 2009(11): 14-17.
馬門克明	2010	焼酎原料用サツマイモの畝立同時施肥・施薬作業技術. (栽培・技術 全国野菜技術情報)	農耕と園芸 65(2): 57-59.
馬門克明	2010	焼酎原料用サツマイモの畝立同時施肥・施薬作業技術 同時作業により省力・低コスト化. (特集 野菜生産の新技術)	機械化農業 2010-05: 21-24..
馬門克明・大村幸次	2011	サツマイモの省力育苗システム.	九州農業研究発表会要旨集 74: 91. (講要)
馬門克明・大村幸次	2011	(1) サツマイモの省力育苗システム.	農機九州支講要集 65. (講要)
馬門克明・大村幸次・竹牟禮穰・山根一城・上之蘭茂・湯原光治	2019	サツマイモ株収穫機の開発.	九州農業研究発表会要旨集(農業機械部会)82: 2. (講要)
増田治策・日野 亮・高木文男・宮越秀一・芝宏道	1969	トラクター利用による甘しよつるサイレージの収穫調製作業について.	九州農業研究 31: 238-239.
松本安広・本間 毅・齋藤 明・瀧川具弘	2010	甘藷ハーベスタ取付け型マルチ剥離機の試作および作業性(第2報). (第9回筑波大学技術職員技術発表会報告集)	筑波大学技術報告 30: 73-75.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
松尾健太郎・石井孝典	2021	カンショ直播における種イモの押倒し植付け機の開発.	農作業研究 56(2): 103-109.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
松岡紘典・三野智弘・御手洗正文・木下統・細山田明佳	2008	(27) イモ類選別機投入部の試作改善について.	農機九州支講要集 62. (講要)
三浦享一	1952	甘藷栽培と畜力作業 -カルチベーター利用-.	二豊農業 5(6): 29-31.
森 周六	1949	口絵 畜力サツマイモ蔓切機の色々.	農業日本 4(9): 2-3.
森 周六	1949	畜力用サツマイモ蔓切機.	農業日本 4(9): 22-25.
守島正太郎	1951	甘藷用新農具.	農機誌 12(1-2): 69-
村井恒治・近藤真二・原田正志・村並昌実・大久保嘉彦	2019	(野102)「なると金時」における苗の摘葉処理がサツマイモ挿苗機の移植精度と生育に及ぼす影響.	園学雑別冊(H31秋): 野102. (講要)
室井孝仁	2012	でん粉製造設備について: かんしょでん粉とばれいしょでん粉製造における役割.	でん粉情報 2012(8): 1-7.
永田雅輝・古池寿夫・岡田芳一	1974	小型トラクタ用の播種・管理一貫作業機の試作および水稲乾田直播栽培, 畑作水稲, 甘しょ作に対する適用性について.	宮崎大農研報 21(1): 161-181.
中 精一・中馬克己	1963	甘藷栽培における米国製トランスplanター及びスイートポテトバインカッターの利用性能に関する調査.	九州農業研究 25: 5-6.
中 精一	1968	甘藷掘取機の性能と利用の現状 -浮し掘型と露出掘型-. («堀»を修正)	機械化農業 1968: 81-86.
中村恵一	1958	サツマイモの畜力掘取り.	農村文化 37(10): 13.
中村哲也・井園九州男	1963	甘藷の機械化栽培について.	九州農業研究 25: 7-8.
中村哲也・井園九州男・中原浩二	1963	甘藷作における大型トラクターの利用について.	宮崎農試研報 2: 90-104.
南部美記雄・野垣義登・近藤捷昭・工藤洋男・坂井定義・有働和文	1968	甘しょ作の中・大型機械利用除草作業体系の考察 -熊本県黒色火山灰地帯における-.	九州農業研究 30: 262-263.
農林水産技術会議事務局	1971	大型機を中心とするかんしょの栽培技術体系 -関東中央部平坦地帯における-.	農林統計協会, 東京, pp.1-92.
大嶺政朗・杉本光穂・鈴木崇之・木村昭彦	2008	(37) カンショの生育センシングへの植被率カメラの適用について.	農機九州支講要集 62. (講要)
大村幸次・飛松義博・和田俊郎・森 弘	2007	サツマイモ茎葉収穫機の開発とサイレージ調製.	九州農業研究発表会要旨集 70: 128. (講要)
大村幸次・飛松義博・和田俊郎・森 弘	2007	(8) サツマイモ茎葉収穫機の開発とサイレージ調製.	農機九州支講要集 61. (講要)
大村幸次	2014	サツマイモ茎葉収穫機の開発と利用.	いも類振興情報 119: 43-46.
尾崎重尚・飛松義博	2004	さつまいも挿苗作業の機械化.	九州農業研究 66: 159.
坂井健吉	1964	機械化による甘藷の省力栽培.	農及園 39(2): ???
佐藤清美・中 精一	1965	(2-34) 甘藷掘取機の性能について (第2報).	農機誌 27(別): 90. (講要)
佐藤敬夫	1948	芋類加工の設備と技術の研究.	化学機械 12(3-4): 155. (講要)
佐藤敬夫	1949	生甘藷の壓搾脱水性に関する実験的研究.	化学機械 13(2): 57-58.
佐藤敬夫・山崎 章	1956	回転円筒型真空連続濾過機の回転数と処理能力との関係について (実験的検証).	化学工学 20(10): 541-546.
志摩熊雄	1951	誰にもできる畜力のさつま芋掘り.	農業信州 34(10): 22-23.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
篠原 久・和田正雄	1955	芋類の乾燥について.	化学工学 19(11): 568-573.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
菅原晃美・深澤秀夫・渡辺輝夫	2001	労働科学的にみるカンショの収穫作業.	九州農業研究 64: 149.
杉本光穂・深澤秀夫・菅原晃美・渡辺輝夫	2004	野菜用移植機によるカンショ苗の形状と欠株の関係.	九州農業研究 66: 160.
杉本光穂・安達克樹・大嶺政朗	2011	(18) かんしょの大量育苗システム.	農機九州支講要集 65. (講要)
杉浦 綾	2007	カンショ茎葉の乾燥シミュレーションモデルの開発.	九州農業研究発表会要旨集 70: 140. (講要)
杉浦 綾	2007	(20) カンショ茎葉の乾燥シミュレーションモデルの開発.	農機九州支講要集 61. (講要)
菅原清康・泉 久司・山下米治	1978	ポテスピンナーによるイモ類の掘残し量とこれに関与する諸要因との関係 第2報カンショの掘取り.	農作業研究 33: 26-30.
住江金之	1950	甘藷から焼酎の製造と其設備.	機械化農業 1950(8): 26-27.
鈴木繁男	1954	甘藷の加工と利用の今後.	機械化農業 1954(11): 20-29.
田原虎次・中沢宗一	1951	甘藷畜力収穫と品種の問題点.	機械化農業 1951(8): 36-37.
高木文男・井手上孝	1967	大型トラクターによる甘しょの麦間苗植え方式の作業体系に関する試験.	九州農業研究 29: 276-277.
高木文男・宮越秀一・井手上孝	1967	甘しょの中耕培土作業体系化に関する研究 (第1報) 機械作業に関する試験.	九州農業研究 29: 278-279.
高瀬 昇	1950	サツマイモの畜力掘取と貯蔵.	農業 805: 22-27.
高島 彰・桐原三好	1966	甘藷の機械化栽培法の確立とその体系化に関する研究.	茨城農試研報 8: 47-58.
Tan, D.L.S., Miyamoto, K., Ishibashi, K., Matsuda, K. and Satow, T.	2000	Process and product analysis of the village-scale processing of sweetpotato in the Philippines.	Journal of JSAM 62(4) : 160-172. (= 農機誌)
Tanaka, S., Urasa, R.L. Tanaka, F., Morita, K. and Sugawara, T.	2001	Modeling of sweetpotato hot water treatment for sprout control.	Journal of JSAM 63(5) : 62-67. (= 農機誌)
手塚右門	1951	畜力用甘藷蔓切機.	農業毎日 5(9): 44.
飛松義博・仲川政市	1995	甘しょの茎葉処理・マルチフィルム除去同時作業機の開発.	鹿児島農試研報 23: 21-26.
飛松義博・仲川政市	1995	甘しょの茎葉処理・マルチフィルム除去同時作業機の開発.	九州農業研究 57: 163.
飛松義博・大村幸次・馬門克明・大黒進一郎・滝沢芳則	2008	サツマイモの用途拡大に向けた新収穫作業技術の開発.	九州農業研究発表会要旨集 71: 127. (講要)
飛松義博	2008	サツマイモの機械化新技術.	農機誌 70(2) : 9-14.
飛松義博・大村幸次・馬門克明・大黒進一郎・滝沢芳則	2008	(11) サツマイモの用途拡大に向けた新収穫作業技術の開発.	農機九州支講要集 62. (講要)
飛松義博	2010	“1) 省力・低コスト生産のための機械化作業体系.”, (4) 省力化に向けた取り組み, 2 栽培・貯蔵, III サツマイモの生産と普及, 「サツマイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.178-183.
月川幸敏・他	1963	甘藷の麦間挿苗法と機械化栽培.	農及園 38(1): ???
上加裕子・山下 淳・佐藤員暢	2013	サツマイモ直播栽培用の種イモ切断装置および電動播種機の開発.	農作業研究 48(3): 103-109.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
上 蘭 博	2004	“機械化栽培での収穫法.”, 本畑での生育と技術, 生育過程と基本技術, サツマイモ, 「野菜園芸大百科 12 サツマイモ・ジャガイモ 第2版」(農文協編).	農文教, 東京, pp.160-163.
涌井 学	1950	甘藷収穫を畜力化しよう.	機械化農業 1950(9): 20-23.
山元英夫	1968	甘しょ除草管理についての2・3の考察.	九州農業研究 30: 260-261.
吉田 良・川下輝一・板東一宏	1995	セル成型育苗によるサツマイモの機械移植法の開発.	徳島農試研報 31: 7-12.
吉田 良	1998	サツマイモつる処理機.	農機誌 60(6): 157-158.
吉田 良・板東一宏・川下輝一・山本洋治・桑原 穰	1999	サツマイモのつる処理機の開発.	徳島農試研報 35: 1-6.
吉田 良	2002	サツマイモのセル苗機械移植法とつる処理機の開発 つる処理を軽作業・高能率化. (特集 地域特産農産物用機械の開発).	機械化農業 2002(5): 13-17.
吉田 良	2002	さつまいも挿苗用電動作業台車の開発 軽労・高能率・汎用化を実現. (特集 地域対応省力・低コスト技術の開発)	機械化農業 2002(10): 25-27.
吉田 良	2003	サツマイモ挿し苗用電動作業台車の開発. (全国野菜技術情報 四国ブロック)	農耕と園芸 58(6): 96-98.
百苗 信・工園 博・仲川 政吉・西原 一孝・森 浩	1992	甘しょの機械化マルチ畦内消毒法.	九州農業研究 54: 173.
吉富 浩	1993	甘しょ作機械化最前線.	農機誌 57(3): 91-97.
弓野 功・瀧川具弘・松本安広・余田 章・本間毅・齋藤 明	2001	カンショ栽培におけるマルチ用フィルムの除去作業の機械化に関する研究.	農作業研究 36(3): 131-139.
—	1950	畜力用甘藷切機の研究.	農芸 3(10): 1-2.

550 実用記事(栽培関係)

吾平町農業協同組合	1968	天皇杯受賞者の技術と経営 サツマイモでんぷん加工事業の合理化.	農業世界 63(1): 294-
赤木歳通	2012	安納イモでも鳴門金時でも、サツマイモの一株増収術. (特集:みんな大好き!イモ品種大全, 焼きイモ干しイモ大流行! サツマイモ).	現代農業 2012(2): 88-89.
赤堀寅雄	1954	甘藷二期作経営に就て.	農業技術研究 8(6): 26-29.
安藤利夫	2016	サツマイモ 肉質・甘味の変化が一目でわかる 焼きイモ食味マップ. (熟成で味にコクが出る品種)	現代農業 2016(2): 224-227.
渥美樟雄	1948	サツマイモの増収.	農業日本 3(12): 34-35.
長橋 徹	2014	つぼ焼きイモをキャンディー風に. (焼きイモ いまどきの売り方).	現代農業 2014(11): 302-305.
出倉裕一	2008	ワラの「息抜き」で上手にサツマイモ貯蔵.	現代農業 2008(2): 36.
江藤隆一	2014	サツマイモ 水溜め方式でトンネルの保温効果アップ. (特集:マルチ&トンネル コツと裏ワザ).	現代農業 2014(3): 98-99.
藤井義晴	1999	サツマイモとその仲間たち. (アレロパシーのおもしろ世界 13).	現代農業 1999(7): 122-123.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
藤 ゆみ子	2016	意外と身近なFBI戦略 サツマイモのブランディングに成功 短期間でシェアを伸ばす商品力とは? 宮崎県串間市「株式会社くしまアオイファーム」の挑戦 地産外商 (第9回).	農耕と園芸 71(1): 92-95.
藤田克治	1944	甘藷懸崖作りの成績.	農業世界 39(1): 44-
藤田時雄	1950	サツマイモ代作の研究 ワタ.	農業日本 5(4): 42-44.
藤吉清次	1950	サツマイモ代作の研究 ラツカセイ.	農業日本 5(4): 40-42.
福田 豊	2006	焼きイモ焼く道具 炭を熱源にゼロライト焼きイモ器. (特集:サツマイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 77-79.
福田 豊	2014	サツマイモ 冬も夏も貯蔵できる「かいてきくん」. (特集:貯蔵・保存のワザ拝見, イモを上手に保存したい).	現代農業 2014(12): 70-71.
福井重郎	1950	サツマイモ代作の研究 ダイズ.	農業日本 5(4): 34-37.
福山満雄	1990	いも再生へ燃える本場サツマ.	いも類振興情報 23: 15-19.
古畑玲子	1997	有色さつまいも饅頭「おさつ彩彩」. (子どもが喜ぶ、お客さんを魅了するカラフル農産加工).	現代農業 1997(6): 318-323.
古川原 琢	2017	べたがけだけでサツマイモをラクラク貯蔵.	現代農業 2017(9): 361.
古谷 謙	1946	甘藷電熱育苗法.	農業世界 41(2): 28-
郷原茂樹	2007	デパ地下スイーツにも食糧難にも 未来に残す唐芋65品種. (品種たくさん, 夢いっぱい)	現代農業 2008(2): 338-341.
後藤和夫	1970	甘藷擬黒斑病の特性と防除法 (実用農業問答).	農及園 45(5): 849-850.
博友社(本誌記者)	1951	甘藷の増収特殊栽培を見る.	農業世界 46(3): 44-
浜田善幸	2006	九州沖縄農業研究センター育成の観賞用品種. (いやしの観賞用品種).	現代農業 2006(2): 218-220.
長谷川 浩	1952	甘藷を有利に作る技術上の諸点.	農業毎日 6(3): 23-26.
長谷川新一	1950	サツマイモ代作の研究 陸稻.	農業日本 5(4): 37-40.
林 政衛	1952	早掘サツマイモの品種と勘所. (修正:堀→掘)	農耕と園芸 7(3): 26-27.
日高一夫	2005	ニワトリだって天敵! サツマイモ畑で虫を食べまくる. (特集:農薬に頼らない防除法 最新ハンドブック).	現代農業 2005(6): 178-179.
東山広幸	2014	じふしい農園の21世紀型野菜づくり(13) サツマイモ もっとも割のいい野菜.	現代農業 93(4): 180-183.
東山広幸	2014	じふしい農園の21世紀型野菜づくり(18) コンテナボックスとモミガラで春まで売れる. (コンテナ大活躍 コンテナでサツマイモ貯蔵)	現代農業 93(11): 103-105.
平賀敏郎	1936	甘藷の多収穫栽培法(上).	農業世界 31(3): 19-
平野 啓	2013	サツマイモの運び出しにトラクタ直装台. (特集:重いはいやだ, 収穫作業が重いはいや 野菜編).	現代農業 2013(9): 109-110.
平田一三	2006	焼きイモ, 蒸しイモ, お菓子に, ジャム…用途に合わせてどうぞ. (特集:品種を届ける 食べ方提案).	現代農業 2006(2): 104-109.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
平田一三	2006	育苗ハウスに古畳と発泡スチロール箱でサツマイモ貯蔵. (特集 サツマイモvsジャガイモ)	現代農業 2006(11): 113-115.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
平田一三	2009	おいしいのはどれ？ サツマイモ「新旧4品種」食べ比べ大調査.	現代農業 2009(8): 180-185.
日吉 直	2019	サツマイモのセンチュウを抑える べにはるかとかからゆたか.	現代農業 2019(10): 136-137.
本多紀元	1937	甘藷アルコールの製造を聴く.	現代農業 3(11): 21-24.
本田進一郎	1988	デンプンとるだけがサツマイモじゃない！	現代農業 1988(11): 42-43.
本多幸人	2020	懐かしさが客を呼ぶ 伝統の味, こっばもち. (ますます熱い！ 農家のサツマイモ加工).	現代農業 2020(12): 268-269.
本多幸人	2020	懐かしさが客を呼ぶ 伝統の味, こっばもち. (ますます熱い！ 農家のサツマイモ加工).	現代農業 2020(12): 268-269.
堀 正侃	1950	甘藷貯蔵中の腐敗の新しい防ぎ方.	農業世界 45(11): 32-
星野彌平	1946	實際家が公開した 甘藷育苗の秘訣.	農業世界 41(3): 15-
市川五四郎	1951	増産を確実にするさつま芋の育苗と定植.	農業信州 34(5): 11-13.
市川勇次	1950	甘藷主餌五十羽飼育 -これからの畜産経営-.	農業世界 45(1): 108-
(家の光協会 編)	2003	サツマイモ研究.	やさい畑(家の光協会発行) 2003秋号 2(4):10-17.
(家の光協会 編)	2005	サツマイモ新発見.	やさい畑(家の光協会発行) 2005秋号 4(3):14-27.
飯田快三・船津傳次平	1890	甘藷不作の理由質問 答.	大日本農會報告 112: 16-17.
飯島 鼎	1951	甘藷と大豆の病害.	農業世界 46(8): 82-
池田友亮・衛藤公洋	2013	クズのサツマイモを使ってツクネイモの種イモを越冬貯蔵.	現代農業 2013(1): 40-41.
今井清十	1932	甘藷苗の早作り法.	農業世界 27(4): 126-
芋生ヨシ子	2008	サツマイモの貯蔵は, 冷蔵庫の上. (手抜きしつつもおいしい野菜 欲張りオカンの菜園だより 11).	現代農業 2008(11): 312-325.
位田藤久太郎	1948	サツマイモのイモつきと土壤水分.	農業日本 3(6): 3-4.
猪野 誠・梅村芳樹	1998	色を楽しみ加工で盛り上げるサツマイモ, ジャガイモ.	現代農業 1998(2): 11-13.
井野川 潔	1951	村からの便り サツマイモの四千二百貫どり.	農村文化 30(3): 40-42.
井上 浩	1990	サツマイモの消費を拡大するにはどうすればよいか.	いも類振興情報 22: 22-26.
石橋 一	1919	早生甘藷の作り方.	農業世界 14(4): 68-
石上數雄	1936	甘藷切干の製造.	現代農業 2(1): 32-35.
石黒浩二	2004	茎葉利用品種「すいおう」等機能性に優れるサツマイモ.	農耕と園芸 59(9): 40-43.
石黒正英	1942	甘藷の増収品種の解説.	農業世界 37(4): 9-
石塚 武	1941	二千貫取り甘藷の増収栽培(續).	農業世界 36(10): 98-
井東數馬	1926	甘藷早熟栽培の研究.	農業世界 21(6): 57-
井藤俊行	2021	好熱菌発酵資材が難病害虫を抑えるしくみ: ブドウ晩腐病・サツマイモ基腐病への静菌作用も. (農家は菌と仲良しだ: 防除編)	現代農業 100(6): 114-117.
伊東幸子	1999	サツマイモのかりんとう.	現代農業 1999(2): 329.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
伊藤膳三	1952	甘藷(反収)最高収穫栽培法 (1).	富民 24(4): 32-35.
伊藤膳三	1952	甘藷(反収)最高収穫栽培法 (2).	富民 24(5): 34-36.
伊藤膳三	1952	甘藷(反収)最高収穫栽培法.	農業 824: 15-24.
岩城八枝	2002	目からウロコが落ちた! サツマイモの菅野式多収栽培.	現代農業 2002(1): 368-369.
岩澤幸男	1991	戦時中の防空壕……補強して今も活躍中 園長先生のサツマイモ貯蔵庫.	現代農業 1991(3): 50.
泉 正六	1951	モミガラ利用の簡単なサツマイモの貯蔵法.	農耕と園芸 6(11): 46-48.
泉 正六	1952	今年は何をねらうサツマイモの有望品種・新品種.	農耕と園芸 7(1): 44-45.
香川トクミ	2006	サツマイモの失敗しない定植の仕方.	現代農業 2006(4): 381.
甲斐由美	2011	全国野菜技術情報 九州ブロック 草型に特徴のある茎葉利用サツマイモ新品種「九育葉2号」.	農耕と園芸 66(12): (56-59)
神田 縁	2016	鹿追町でサツマイモの栽培と加工・販売を始めました.	農家の友 68(10): 67-69.
金子正昭	2011	サツマイモ 安納イモを密植斜め挿しで.(サトイモ、サツマイモ、ジネンジョ).	現代農業 2011(5): 313-314.
カネコ種苗(株)	1994	お天気なんかお構いなしの安心品種 サツマイモ カネコフリーポット苗ベニアズマ.(昨年、お天気が悪い中で断然頑張った品種たち).	現代農業 1994(2): 185-186.
笠原安夫	1950	2・4-Dと甘藷作.	富民 22(5): 57-60.
加藤仁平	1948	甘藷貯蔵改善の要領 (一).	農村 26(10): 15-16.
加藤仁平	1949	甘藷のキュアリング貯蔵について.	農村 27(10): 18-19.
加藤仁平・樹下毎郎	1950	本年早掘甘藷からみた明年の方針と品種選定の資料.	農村 28(10): (青紙)
加藤仁平・樹下毎郎	1950	冠水が甘藷の品質に及ぼす影響について.	農村 28(10): 9-12.
加藤仁平	1951	甘藷の早掘栽培はどんな処に注意したらよいか.	農村 29(4): 27-29.
加藤仁平	1951	甘藷挿苗後に於ける災害はどうしたらよいか.	農村 29(6): 17-18.
加藤仁平	1954	低温寡照を予期した地帯別甘藷作りの工夫.	農村 32(7): 26-30.
加藤仁平	1955	甘藷の挿苗.	農村 33(6): 39.
加藤仁平	1955	甘藷の処理を有利にする一、二の考え方.	農村 33(9): 46-48.
加藤勝市	2013	“ちちぶ太白”復活への道 -ちちぶ太白サツマイモ生産組合の歩み-	いも類振興情報 115: 42-46.
加藤俊次郎	1950	畜力による甘藷の収穫.	農業世界 45(8): 36-
加藤 照	1950	サツマイモの転作に取入れる落花生栽培の急所.	農耕と園芸 5(4): 17-18.
川口久米吉	1943	砂丘開拓と甘藷栽培.	農業世界 38(4): 38-
河西孝司	1979	かんしょの色をよくする作り方.	農業技術研究 33(2): 48-52.
河野隆徳	2010	業務・加工用野菜をつくる (2) 焼きイモねらいなら小イモがいい デンプン別出荷で周年おいしく--JAなめがた甘藷部会の取り組み.	現代農業 2010(11): 188-193.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
河野喜行・鶴田祥平・松木五楼・永沢勝雄・田野寛一・丸山義二・佐々木清綱・松原茂樹・石黒嘉門・渡辺誠三・門田寅太郎・位田藤久太郎・櫻井豊・小島一政・西村甲一・宮坂梧朗・穂坂八郎	1950	イモの大作に何を取入れるか.	農業日本 5(1): 26-27.
川崎重治	1988	サツマイモが収穫時に黒ずむ……. (自給野菜119番).	現代農業 1988(4): 195-196.
川瀬正久	2020	サツマイモは小さな幸せの源.	現代農業 2020(1): 311.
川城英夫	1990	サツマイモの皮目症. (根菜の障害, 病害を斬る 7).	現代農業 1990(5): 291-295.
川城英夫	1991	サツマイモ これぞ名人芸! (根菜プロの秘技を探る 4).	現代農業 1991(11): 230-233.
木村 博	1956	甘藷の新しい貯ぞう法.	農村 34(10): 53-54.
樹下毎郎	1951	甘藷品種の変遷と今後の選定の方向.	農村 29(3): 24-25.
樹下 生	1950	甘藷の植付に際して.	農村 28(6): 13-14.
北井利治ら	1994	おいもだいすき.	いも類振興情報 40: 23-25.
北爪源弓	1951	甘藷栽培の体験を語る.	農村 29(4): 16-17.
小林榮一	1919	甘藷につきての研究.	農業世界 14(2): 94-
小林利則	1950	甘藷の間作と輪作法.	農業世界 45(7): 56-
小林利則	1950	甘藷優良品種の増殖法.	農業世界 45(8): 106-109.
児玉敏夫	1952	サツマイモの早掘り対策 -その適地と栽培法-	農村文化 31(3): 18-22.
児玉敏夫	1953	甘藷の直播栽培法.	農業世界 48(3): 66-69.
児玉敏夫	1954	これからの甘藷作.	富民 26(3): 38-42.
児玉敏夫	1960	増収が期待されるサツマイモの直播栽培法と注意.	農業世界 55(5): 168-
児玉敏夫	1955	収量を高めるサツマイモの挿苗のコツ.	農村文化 34(6): 15-19.
児島美都子	1951	甘藷の数量と値段.	農業毎日 5(2): 46-47.
小巻克巳	1998	エレガントサマー 繊維・栄養万全, 葉柄を食べるサツマイモ. (特集:農家の店, 農家の加工品がキラリ光るこの品種・品目 農家の6次産業化で生きてくるもの).	現代農業 1998(2): 97.
小松カツノ	2011	産地農家の食卓レシピ(74) サツマイモのつき揚げ.	現代農業 2011(2): 344-345.
近藤 泉(絵)	1989	サツマイモシロップ. (本ものづくりネットワーク).	現代農業 1989(12): 30-31.
近藤正雄	1933	「甘藷」の二期作栽培法.	農業世界 28(8): 49-
近藤二郎	1951	精農の経営と技術に学ぶ(6) -驚異の甘藷増収栽培法-	富民 23(12): 57-59.
小沼藤雄	2020	モグラ植えて、儲かる早掘りサツマイモ.	現代農業 2020(4): 154-157.
河野隆徳	2010	業務・加工用野菜をつくる(2) 焼きイモねらいなら小イモがいい デンプン別出荷で周年おいしく-JAなめがた甘藷部会の取り組み.	現代農業 89(11): 188-193.
小竹博之	2012	笑顔のサツマイモ収穫.	いも類振興情報 113: 36-37.
朽木直文	1988	サツマイモを夏までもたせる.	現代農業 1988(3): 39.
熊谷 亨	2010	サツマイモの生産と品種[第1回] わが国の生産, 利用, 品種の動向.	農耕と園芸 65(6): 104-105.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
熊谷 亨	2010	サツマイモの生産と品種[第2回] 用途編(1)食用.	農耕と園芸 65(7): 46-47.
熊谷 亨	2010	しっとり系ミニサツマイモ ひめあやか. (こんなものもあるぞ ちょっと変わった直売所向き品種. , 特集:直売所名人はどうやってタネを買っているか),	現代農業 2010(2): 104.
黒川 計	1952	いも類栽培の現状と将来性.	農業世界 47(5): 43-
黒須 祥	2008	暑いハウスにはサツマイモマルチ.	現代農業 2008(6): 38.
草薙洋子	2007	仔芋のツブマイモ七条マルチ用底植え. (病虫・野草一挙増収術 第1弾)	現代農業 2007(4): 302-303.
櫛間義幸	2021	収穫まで気づかずに愕然とする 厄介なサツマイモ基腐病. (脅威!? 新顔病害虫たちの正体).	現代農業 2021(6): 145-149.
間宮 廣	1950	技術的に見たこれからの甘藷作.	富民 22(3): 36-39.
間宮 広	1952	甘藷と落花生栽培技術の盲点をつく.	農業技術研究 6(2): 19-21.
間宮 広	1953	甘藷の塊根はどんな苗によくつくか.	農業技術研究 7(4): 14-15.
間宮 広	1955	甘藷の皮の色をよく作るには.	農業技術研究 9(7): 38.
丸山義二	1950	手軽で完全な甘藷の貯蔵法.	農業世界 45(12): 80-83.
丸山義二	1953	直播甘藷で反当三千貫.	農業世界 48(6): 86-88.
丸山義二	1954	反当五000貫の甘藷栽培 (高知県に秋沢亀三さんを訪ねて).	農業世界 49(5): 82-
松原茂樹	1949	甘藷のキュアリング貯蔵の方法と効果.	農業世界 44(9): 10-
松原茂樹	1949	もうサツマイモは腐らない.	農村文化 28(8): 45-50.
松木 功	2013	搾り粕をサツマイモ畑に、黒砂糖を田んぼに、明らかに味がよくなる. (サトウキビでぜいたく堆肥).	現代農業 2013(10): 180-182.
南 洋	2001	サツマイモは、収穫後のイモヅルから苗をとろう. 低コストで簡単、挿芽苗栽培.	現代農業 2001(9): 96-101.
南 洋	2002	サツマイモ挿芽苗栽培. イモヅルから苗を採ろう! (廃物活用のケチケチ菜 8).	現代農業 2002(8): 286-289.
三島弘毅	1993	「七色サツマイモ」が評判!? 農協青年部が売り出した.	現代農業 1993(1): 42.
三井榮三	1946	甘藷と馬鈴薯の増収法.	農業世界 41(6): 23-
三井榮三	1946	甘藷の肥培管理と収穫上の注意.	農業世界 41(9): 26-
三井榮三	1948	甘藷、馬鈴薯の作り方.	農業世界 43(3): 30-
三井榮三	1950	サツマイモの代作に落花生を作ろう.	農村文化 29(3): 21-24.
三浦春夫	1953	いも類の優良品種と新品種.	農業世界 48(4): 54-
宮竹昭秀	2017	コンテナ1杯分が3分で洗えるサツマイモ洗浄機を自作. (特集:洗うをラクに、おもしろく. , 野菜を洗う).	現代農業 2017(11): 64-65.
宮脇健太郎	2009	サツマイモが腐らない横穴式貯蔵法.	現代農業 2009(11): 43.
宮崎丈史	1991	サツマイモ 腐らせないでながーく貯蔵する.	現代農業 1991(12): 212-216.
宮崎輝久	1982	「サツマイモ」の効率的多収穫栽培法 - 10アール当り5トン穫り-.	農業技術研究 36(3): 49-51.
三好 洋	1985	砂地から始まったサツマイモづくり. (土の個性を読む(11)).	現代農業 1985(3): 218-219.
水口祐蔵	1952	さつま芋の育苗と優良品種2,3.	農業信州 35(4): 30-34.
森 弘	2006	サツマイモ茎葉サイレージで肉牛の肉質アップ.	現代農業 2006(11): 154-255.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
森田 久	1944	甘藷の家庭的低温乾燥法.	農業世界 39(1): 50-
森田眞次	1937	小澤式甘藷増収栽培の實驗記.	農業世界 32(1): 96-101?
森田眞次	1944	さつま芋の箱作り.	農業世界 39(1): 52-
元沢洋子	2009	切り口見せたら売れた！(焼きイモ人気品種. , 特集:直売所名人になる！品種編).	現代農業 2009(2): 106-107.
村上厚介	2020	一株増収術 どでかいサツマイモが鈴なり革新甘藷作法。(特集:ぶったまげ！常識を超える野菜の非常識栽培).	現代農業 2020(4): 54-59.
村上 斉	2014	サツマイモの茎葉で夏場の豚のストレス軽減.	現代農業 2014(9): 258-259.
村上カツ子	2012	イモを畑で貯蔵する。(1日2万円売れんとイヤ！直売所名人の畑から10).	現代農業 2012(11): 302-305.
村松傳藏	1938	甘藷味噌の製造法.	現代農業 4(5): 18-24.
長野七郎	2006	感動のサツマイモドブ록 あの美味しさをもう一度。(特集:サツマイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 102-105.
長田龍太郎	1987	青果用サツマイモ ウィルスフリー苗活用で市場の人気を高めた産地。(知らなきゃ損する先端種子産業情報).	現代農業 1987(2): 183-185.
永尾俊一	2010	第192回公開講座 いもたこなんきんグローバル物語 ー大阪名物から世界へ	セミナー年報 147-173.(含抄録)
長竹与一衛	1953	私たちは畜力を利用してこのように甘藷を作っている.	農村 31(10): 32-35.
名倉幸男	1942	種いも不要 甘藷の水耕育苗法.	農業世界 37(1): 92-
中島 明	2009	サツマイモ 米袋に入れてハウスに置くと甘くなる,(とっておきのイモ保存術).	現代農業 2009(12): 302-303.
中島與一	1921	千葉特産甘藷千葉赤.	農業世界 16(8): 70-
中村恵美子	2015	サツマイモ苗にかぶせた竹, 雨除け効果も?	現代農業 2015(8): 373.
中洲正義	1949	甘藷の植付と品種の問題.	農村 27(5): 23-24.
中山龍平	1995	北海道でサツマイモが穫れたよ.	現代農業 1995(7): 55.
中谷 誠	2005	“サツマイモ”, 家庭菜園レベルアップ教室 根菜2.	農文教, 東京, pp.49-84.
成田靖大	2017	北海道のかんしょ(サツマイモ)を全国へ.	農家の友 69(8): 49-51.
成沢久子	2008	サツマイモの葉 おいしいうえに眼にいい。(特集:葉っぱビジネス 可能性無限大!)	現代農業 2008(7): 93.
新倉久美子	2003	家族みんなでサツマイモの「仲秋揚げ」.(二十四節気のふるさと薬膳 9).	現代農業 2003(9): 294-295.
新美 洋	2013	ダイコンとサツマイモがラクにとれる 平高ウネ連続使用。(特集:ウネ立て名人になる!).	現代農業 2013(4): 70-71.
西村良平	1999	サツマイモ大産地のマルチフィルムは, どんなふう回收されて, どこへ行くのか?(廃プラ問題には, ちゃんと向き合うしかない).	現代農業 1999(9): 316-323.
新田熊五郎	1900	甘藷貯蔵法.	農業世界 2(23): 449.
(農文協)編集部	1959	サツマイモづくりも変ってきた.	農村文化 38(5): 58-59.
(農文協)編集部	1988	サツマイモを甘くする太陽熱ワラぶとん.	現代農業 1988(4): 46.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
(農文協編集部)	1988	カライモ(サツマイモ)の可能性無限大 5 色のカラーイモ知ってますか？	現代農業 1988(8): 46-47.
(農文協編集部)	1989	サツマイモ(金時) カイヨウ病で収量・品 質低下. (有機質肥料を生かして病気・ 障害を克服事例集-根茎菜, イモ/有 機質肥料で無病・高品質の施肥改善).	現代農業 1989(10): 170- 171.
(農文協編集部)	1993	一瞬にしてサツマイモの植え付けが完了 する方法.	現代農業 1993(2): 67.
(農文協編集部)	1993	大麦とサツマイモでじっくり育てた「うまさ」 で豚肉産直. (ちょっとはみ出して, いき いき養 7).	現代農業 1993(2): 220-223.
(農文協編集部)	2004	イモ4種類、朝市で大好評. (大人気野菜 の注目品種動向2004/サツマイモ・ジャ ガイモ まずはカラフル, いよいよおいし く).	現代農業 2004(2): 74-75.
(農文協編集部)	2004	土管でサツマイモ. (春まで新鮮! おい しい! 野菜・果物 貯蔵の知恵袋).	現代農業 2004(11): 308- 309.
(農文協編集部)	2005	サツマイモは新月の5日前に定植すると よく育つ. (特集: 月と農業).	現代農業 2005(3): 57.
(農文協編集部)	2006	今, 焼きイモがブーム 銀座でもYAKI- IMOショップに女性が行列. , イモソムリ エのいる焼きイモ専門店「cadeau de CHAIMON銀座」, (特集: サツマイモVS ジャガイモ).	現代農業 2006(1): 60-61.
(農文協編集部)	2006	タケノコのアク抜き サツマイモや冷やご 飯でもできるよ.	現代農業 2006(5): 319.
(農文協編集部)	2006	しっとり系安納芋で冷凍加工 焼きイモ四 姉妹が届ける極甘スイーツ. (特集: サツ マイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 62-67.
(農文協編集部)	2006	ホクホク系五郎島金時で焼きイモ 袋のま まレンジでチン, 焼きイモペーストも人 気. (特集: サツマイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 68-73.
(農文協編集部)	2006	焼きイモ焼く道具 ドラム缶で作った自作 焼きイモ器. (特集: サツマイモVSジャガ イモ).	現代農業 2006(11): 76-77.
(農文協編集部)	2006	絵とき 焼きイモはなぜ甘くなる? (特集: サツマイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 81.
(農文協編集部)	2006	モミガラ保存で6月までおいしいサツマイ モ. (特集: サツマイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 112.
(農文協編集部)	2006	イモの上手な保存法. (特集 サツマイモ vsジャガイモ)	現代農業 85(11): 112-119.
(農文協編集部)	2007	サツマイモはやっぱり菅野式. (痛快! 野菜一株増収術 第1弾).	現代農業 2007(4): 304.
(農文協編集部)	2009	夏は暑さに強いパリパリ夏菜, 秋はサツ マイモをずらして稼ぐ. (人が出さない時 期をねらう. , 特集: 直売所名人になる! 品種編).	現代農業 2009(2): 84-85.
(農文協編集部)	2009	ナス科野菜, サツマイモとマメ科. (混植 で生育をよくするマメ科. , 特集: マメ科を 活かす).	現代農業 2009(5): 64-65..

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
(農文協編集部)	2009	太陽熱+電気のハイブリッド型 サツマイモ育苗装置. (こんなのつくったアイデア農機具).	現代農業 2009(5): 265-266..

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
(農文協編集部)	2009	サツマイモ、サトイモ、コンニャクイモ… モミガラ貯蔵うまくやるコツ。(とっておきのイモ保存術).	現代農業 2009(12): 300-301.
(農文協編集部)	2011	サツマイモ苗を切り分けて植えてみた.	現代農業 2011(5): 16-19.
(農文協編集部)	2011	平掘りでできるサツマイモのセグロ植え. (異常気象を乗り越える しまじきのマール)	現代農業 2011(5): 174-175.
(農文協編集部)	2011	サツマイモ 切り分け苗の直立挿しで甘いイモがたくさん.	現代農業 2011(5): 312-313.
(農文協編集部)	2012	多品種の焼きイモ直売所つくった!(特集:みんな大好き!イモ品種大全,焼きイモ干しイモ大流行!サツマイモ).	現代農業 2012(2): 84-85.
(農文協編集部)	2012	見つけた!「究極の干しイモ」に向く品種.(特集:みんな大好き!イモ品種大全,焼きイモ干しイモ大流行!サツマイモ).	現代農業 2012(2): 86-87.
(農文協編集部)	2012	サツマイモの植え方で収量比べ.(特集:技あり!植え方でガラリッ,技あり!イモの植え方).	現代農業 2012(4): 100-101.
(農文協編集部)	2012	切り分け苗の垂直植えでサツマイモをラクに多収.(特集:技あり!植え方でガラリッ,技あり!イモの植え方).	現代農業 2012(4): 102.
(農文協編集部)	2012	サツマイモの着き方の生理.(特集:技あり!植え方でガラリッ,技あり!イモの植え方).	現代農業 2012(4): 103.
(農文協編集部)	2012	木酢の流し込みと葉面散布で,自慢のサツマイモ.	現代農業 2012(6): 142-143.
(農文協編集部)	2012	水不足でも,直播のサツマイモは元気でした.	現代農業 2012(11): 372-372.
(農文協編集部)	2013	サツマイモをインブタから守った 刈網と有刺鉄線の立体柵.(収穫の秋 鳥獣を畑に入れない!).	現代農業 2013(9): 238-239.
(農文協編集部)	2014	米,マメ,サツマイモ 色品種料理をめしあがれ.(特集:色品種の便利帖).	現代農業 2014(2): 128-129.
(農文協編集部)	2014	イモがたくさんつく サツマイモのくん炭床育苗.(父ちゃんたちのイモづくりが熱い!).	現代農業 2014(5): 310.
(農文協編集部)	2014	サツマイモ センチュウとコガネムシが減る品種輪作.(父ちゃんたちのイモづくりが熱い!).	現代農業 2014(5): 311.
(農文協編集部)	2014	つらさげイモが甘くなるのは,なぜ?(特集:貯蔵・保存のワザ拝見,貯蔵でずらし販売).	現代農業 2014(12): 64.
(農文協編集部)	2014	サツマイモ・サトイモ イネの育苗用保温シートで.(特集:貯蔵・保存のワザ拝見,イモを上手に保存したい).	現代農業 2014(12): 73.
(農文協編集部)	2014	イモを上手に保存したい, 図解 貯蔵成功のカギ.(特集:貯蔵・保存のワザ拝見).	現代農業 2014(12): 82-87.
(農文協編集部)	2015	揃いがよくて,クズイモがでない 菅野式サツマイモの若苗・摘心・しおれ定植.	現代農業 2015(5): 292-297.
(農文協編集部)	2017	厄介なコウブシはサツマイモ緑肥で抑える.(特集:初期除草の知恵 虎の巻).	現代農業 2017(5): 60-617.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
(農文協編集部)	2019	サツマイモに連作障害が出た畑を、食品残渣で復活させた。(特集:連作障害ってホントはなに?)	現代農業 2019(10): 78-79.
(農文協編集部)	2020	これは絶品!「焼き芋の干しいも」(栃木・元澤鋭州)。(ますます暑い!農家のサツマイモ加工)。	現代農業 2020(12): 257-259.
(農文協編集部)	2020	干しいも・焼きイモ・こっばもち。(ますます暑い!農家のサツマイモ加工)。	現代農業 2020(12): 256.
(農文協編集部)	2021	サツマイモのセンチウ撃退 サブソイラの爪で土壤消毒剤かん注。(作業が楽&スピーディこんな防除機を作った!)	現代農業 2021(6): 246-247.
(農文教編集部)	2021	NEWS 鹿児島県がサツマイモ基腐病対策としても提案。(縦穴掘り 手軽に地下へ水を抜く)	現代農業 2021(12): 41.
野田文子	2020	干しいものような焼きイモ? 規格外のイモも「アグリいもっこ」に。(ますます暑い!農家のサツマイモ加工)。	現代農業 2020(12): 263-264.
野田智昭	2012	道内で注目されるサツマイモの栽培技術の確立とカボチャの遅出しを目指した貯蔵・管理技術の実用化に取り組む。	農耕と園芸 67(12): 62-65.
農林水産省九州農業試験場	1988	サツマイモ サツマヒカリ。(62年登録の新品種/大豆,大麦,イモ類の新品種)。	現代農業 1988(2): 165-466.
沼尻勝人	2014	苗半作!!その次は… 野菜づくりの一枚上手(第11回) ジャガイモ,サトイモ,サツマイモ。	農耕と園芸 69(11): 50-53.
小原 赴	1943	全国行脚 甘藷苗床様式の踏査(一)。	農業世界 38(1): 98-
小原哲二郎	1950	甘藷澱粉の製造法。	農業世界 45(11): 96-
小田鬼八	1944	甘藷の正しい作り方。	農業世界 39(6): 7-
小川 圭	1985	サツマイモ 貯蔵中の腐敗を防ぐには。	現代農業 1985(12): 270-270
小川 奎	1986	苗への菌接種がサツマイモつる割病をおさえる。(微生物を生かして土壤病害をふせぐ)。	現代農業 1986(6): 86-89.
小木 章	2016	地中も防虫ネットで一〇〇%無傷のサツマイモ栽培。	現代農業 2015(8): 356.
小倉隆人(写真)・矢野さき子	1990	国産小麦パンがサツマイモや豆やご飯と出会ってこんなに素敵に!	現代農業 1990(8): 9-11.
大平修身	1987	農家の病虫害減らし耳より情報 サツマイモのカイヨウ病。(作目別,病気別 難病,連作障害を減らす施肥,資材,土づくりサツマイモ)。	現代農業 1987(10): 115.
大石憲司	1959	これは有利!サツマイモの二期作栽培。	農村文化 38(6): 66-67.
岡部善治郎	1950	これからのさつま芋栽培の方向。	農業信州 33(2): 30-31.
岡田敏幸	1989	経営委譲年金をもらうことになっている者です 貯蔵しているサツマイモに贈与税がかかると言われたが……。 (農業者年金相談(17))	現代農業 1989(4): 136-137.
大木八史郎	1992	サツマイモ 「ベニアズマ」は「金時」の前作。(名人とよばれる人の防除術)。	現代農業 1992(6): 128-129.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
奥村万利子	2017	リンゴとサツマイモのマイピュレでスイーツグラタン. (あら、ビックリ 米米新メニュー12).	現代農業 2017(12): 290-291.
奥野成倫	2006	イモ焼酎廃液に雑草抑制成分あり! (特集 サツマイモvsジャガイモ).	現代農業 2006(11): 122-123.
大野富美江	1956	サツマイモでつくる 美味しい食品.	農業世界 51(12): 165-
大野吉信	1928	薩摩薯の作り方.	農業世界 23(6): 24-
小野田 清	2020	ジャガイモ・リンゴ・ナシも焼ける ガス式焼きイモ機「ピカイチ」. (ますます熱い! 農家のサツマイモ加工).	現代農業 2020(12): 267.
織部幸五郎	1948	1. 甘藷挿苗上の注意.	農業技術研究 2(6): 28.
織部幸五郎	1950	今年の甘藷品種の選び方.	農業技術研究 4(5): 24-25.
大嶋保夫	1995	サツマイモ関東109号. (健康にいい作物, 機能性の品種, 品目選び).	現代農業 1995(2): 75-76.
大富喜久雄	2016	サツマイモ苗, 五月下旬が定植適期.	現代農業 2016(12): 332-352
大坪夕希栄	2004	干しイモの作り方.	現代農業 2004(10): 329.
大塚裕樹	2020	甘さがさらにアップ 雪中熟成干しイモ. (ますます熱い! 農家のサツマイモ加工).	現代農業 2020(12): 260-262.
大山玲瓏	1943	甘藷増産の技術的改善事項.	農業世界 38(4): 74-
(株)六晃	2006	焼きイモ焼く道具 木質ペレットで焼きイモ. (特集:サツマイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 79.
斉藤勝司	2016	見たい 知りたい 最先端!! 共生微生物を活用して生産性を高めるサツマイモ育苗法を開発.	農耕と園芸 71(10): 54-57.
斎藤知満	2009	サツマイモも株間二七cmでM・Sサイズに. (特集:ザ・直売所農法 栽培技術も大変革).	現代農業 2009(8): 70.
阪部熊吉	1919	甘藷文學.	農業世界 14(6): 116-
境 哲文	2012	育苗がいない, 植え付けもラク サツマイモの直播栽培.	現代農業 2012(4): 104-107.
酒井鐵次郎	1900	甘藷試験成績.	農業世界 2(8): 151-152.
坂本 敏	1990	サツマイモ 新しい特性で売出し中! 新品種情報.	現代農業 1990(2): 278-281.
佐久間いつ子	2001	紅いもの紫色に魅せられて夜も眠れません. (自家用畑は楽しみ広場 わが家畑通信 12).	現代農業 2001(12): 114-117.
佐野信一	2015	凍みにくいサツマイモ品種の開発を望む.	現代農業 2015(6): 381.
笹川睦男	1951	今年のサツマイモの生産をどうするか.	農業日本 6(3): 33-37.
佐々木 博	1987	これは簡単! サツマイモの腐れ止め対策.	現代農業 1987(3): 40-41.
佐藤愛子	2012	サツマイモづくりにテンションがあがります.	現代農業 2012(4): 378-380.
佐藤花三郎	1901	甘藷の用途.	農業世界 3(5): 94.
佐藤 圭	2005	サツマイモは軸までおいしい.	現代農業 2005(10): 55.
佐藤展之	1982	野菜作り農家訪問記 (14) - 中津川正数氏 (浜松市) のタマネギ・早掘カンショ栽培 -.	農業技術研究 36(6): 44-45.
佐藤民夫	2012	六月までサツマイモを出荷 モミガラ貯蔵と電熱マット貯蔵. (特集:遅出しで当てる, 貯蔵して遅出し).	現代農業 2012(8): 118-120.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
佐藤靖臣	1951	高価を狙うサツマイモ早掘り栽培.	農耕と園芸 6(3): 14-15.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
佐藤 康	1958	サツマツルの貯蔵法.	農村文化 37(11): 13.
瀬利 隆	2014	我ら焼きイモ農家 真空パック販売も始めました. (焼きイモ いまどきの売り方).	現代農業 2014(11): 306-307.
芹澤臺平	1934	甘藷切干製造用 簡易皮剝器に就て.	農業世界 29(15): 216-
瀬戸信吉	1899	甘藷貯蔵法.	農業世界 1(7): 104.
渋谷俊雄	2012	「日本一焼きイモ好き」の男が選んだベスト3品種. (特集:みんな大好き! イモ品種大全, 焼きイモ干しイモ大流行! サツマイモ).	現代農業 2012(2): 78-83.
渋谷泰正	2019	品種の違いを知ってほしいから サツマイモ食べ比べセット (品種セットで売り上げアップ).	現代農業 2019(2): 151-157.
繁村 親	1948	何故に甘藷は降霜前に収穫すべきや.	農業技術研究 2(10): 14-17.
椎名 健	2000	サツマイモに悪さするモグラはニンニクで撃退. 臭いにモグラもよりつかない.	現代農業 2000(1): 44.
島本久子	2006	いつでも、何にでも 紫サツマイモのマッシュ. (特集:サツマイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 86-87.
島本久子	2007	サツマイモは葉っぱも食べられるんですね.	現代農業 2007(4): 381.
清水 守	2014	サツマイモのキュアリングに成功. (特集:コンテナ大活躍, コンテナでサツマイモ貯蔵).	現代農業 2014(11): 100-102.
清水 守	2014	サツマイモ 発泡スチロール箱と電気ヒーターで. (特集:貯蔵・保存のワザ拝見, イモを上手に保存したい).	現代農業 2014(12): 72.
下小園義丸	1988	「いも焼酎」の醍醐味とこれから.	いも類振興情報 15: 24-26.
下村 篤・池上 明	2007	わが上伊那は今, 焼酎で盛り上がっている. (まだイケる サツマイモで焼酎).	現代農業 2007(12): 229-233.
下村 篤	2007	焼酎にこもる魂. (まだイケる サツマイモで焼酎).	現代農業 2007(12): 230.
下村松之助	1942	甘藷の多収穫栽培の要點.	農業世界 37(5): 44-
下澤政弥	2007	今も昔も酒屋は地産地消の要. (まだイケる サツマイモで焼酎).	現代農業 2007(12): 232-233.
新規作物導入推進協議会(岡山県総社市)	2006	サツマイモ すいおう. (特集:品種を届ける 食べ方提案).	現代農業 2006(2): 87.
塩田富子	2006	これぞ! 究極の干しイモづくり. (特集:サツマイモVSジャガイモ).	現代農業 2006(11): 89-91.
白浜賢一	1950	甘藷の新しい粉衣貯蔵法 -新しい経営と技術-	農業世界 46(12): 110-
白石 徹	2007	消滅寸前だった島のイモをオーナー制度で復活させる.	現代農業 2007(12): 234-237.
曾田 稔	2013	無病サツマイモ苗供給で特産品化を支える出雲農林高校.	いも類振興情報 114: 44-47.
末包清重	1937	甘藷の早熟栽培法.	農業世界 32(1): 102-
菅野元一	2001	菅野式サツマイモの省力多収栽培. 「摘芯若苗の萎れ定植」で, 6t, 8t!	現代農業 2001(5): 110-113.
菅野元一	2014	東北でも越冬できる! サツマイモ貯蔵のコツ. (特集:貯蔵・保存のワザ拝見, イモを上手に保存したい).	現代農業 2014(12): 66-69.
菅野元一	2016	サツマイモ 萌芽の遅い品種は熟成で味がのる!? (熟成で味にコクが出る品種).	現代農業 2016(2): 228.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
杉井四郎	1954	〔何故ならば〕甘藷に燐酸は何故必要か.	農業技術研究 8(7): 44.
隅田幸男	1995	冬に恋しいサツマイモをおいしく貯蔵.	現代農業 1994(11): 90-91.
鈴木和子	2011	サツマイモは水で掘るとききれいに掘れる.	現代農業 2011(10): 379-380
鈴木和夫	1924	遠州特産 甘藷切干の製造法.	農業世界 19(14): 78-
鈴木康三	1941	甘藷に対する生長ホルモンの効果.	農業世界 36(2): 70-
鈴木芳光	1954	「甘藷の早掘り」について.	農業技術研究 8(6): 18-20.
田上義也	1946	甘藷の貯蔵方法.	農業世界 41(10): 22-
田口重雄	1985	都市に農村の良さをわかっ「さつまいも」.	いも類振興情報 4: 15-19.
田口忠義	1939	酒精原料甘藷増収の要點.	現代農業 5(5): 28-32.
高濱雅幹	2015	北海道でもできる! おいしいサツマイモの作り方.	農家の友 67(8): 48-50.
高千穂太郎	2003	わずか3日で感激, イモ焼酎編. (特集: ドブログ復権で, 農家の発酵文化を取り戻す).	現代農業 2003(1): 80-83.
高橋広樹	2019	サツマイモ. (野菜を見る, 測る, 対話する 21)	現代農業 2019(9): 164-167.
高橋新治	1941	甘藷の二千貫取増収栽培.	農業世界 36(1): 135-
高橋しんじ	1997	3カ月練りに練った! 最短距離のサツマイモ作業場. (作業場おじゃまします 9).	現代農業 1997(12): 246-269.
高橋しんじ(絵と文)	2000	サツマイモのらくらくコンテナ引き上げ作業機.	現代農業 2000(4): 246-249.
鷹巣辰也	1996	サツマイモの保管を完璧にする竹枝のひと刺し.	現代農業 1996(1): 38
鷹巣辰也	1999	サツマイモのツルでつくる佃煮はおいしいよ!	現代農業 1998(12): 42.
高杉喜一	1951	甘藷の上手な貯蔵法.	農産: 家庭と農藝 6(11): 10-11
高柳高千代	1955	屑サツマイモのじか植栽培.	農村文化 34(11): 86-87.
武田英之	1987	指導機関の最新研究, 対策 サツマイモの立枯れ病. (作目別, 病気別 難病, 連作障害を減らす施肥, 資材, 土づくり サツマイモ).	現代農業 1987(10): 116-117.
武田健太郎	2019	アジアでサツマイモが人気, 若者集める過疎地の農業法人 くしまアオイファーム サツマイモでアジア開拓.	日経ビジネス 2019(3/11号)
武田浩太郎	2014	サツマイモサラダ. (産地農家の食卓レシピ 119).	現代農業 2014(11): 286-287.
竹本幸司	2020	お客さんが自然と集まる ドラム缶焼きイモ機とサツマイモスティック. (ますます熱い! 農家のサツマイモ加工).	現代農業 2020(12): 265-266.
玉木昭子(取材・絵)	1989	とっくり穴で大量貯蔵(サツマイモ・生姜). (保存食を豊かにたくわえる 14).	現代農業 1989(8): 34-35.
棚谷保男・永尾俊一	2016	サツマイモの生産から加工品まで体験できるなめがたファーマーズヴィレッジ.	いも類振興情報 128: 12-16.
田宮誠司	2003	パープルスイートロード. (おもしろ販売できそうな目玉品種一覧).	現代農業 2003(2): 95-96.
田中 守	2016	サツマイモ 新品種からゆたか. 超早掘りで通年貯蔵も目指す. (熟成で味にコクが出る品種).	現代農業 2016(2): 229.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
田中康弘(撮影), 渋谷俊雄・立川晴一(取材対象)	2012	焼きイモ大流行ー品種ごとの味比べも楽しい.	現代農業 2012(2): 11-15.
峠田 等	2017	サトイモ, サツマイモは, 苗で稼ぐ. (ハウスなし, トラクタなしで12a 340万円稼ぐ)	現代農業 2017(5): 182-185.
寺田修二	2012	サツマイモのオイスターソースがけ. (産地農家の食卓レシピ 94).	現代農業 2012(10): 340-341.
徳野雅仁(イラスト)	2000	サツマイモになる根はどれ? (野菜を観る, 育てる 3).	現代農業 2000(5): 32-33.
徳野雅仁	2001	サツマイモを早く出す, 甘くする種芋のムロ貯蔵, 苗作り.	現代農業 2001(1): 100-103.
トミタ・イチロー(絵)	1987	サツマイモにアサガオ咲かそ. (親子で発見・驚き農業じっけん(5)).	現代農業 1987(7): 50-51.
トミタ・イチロー(絵)	1990	サツマイモのたくみなワザもしょうかーい. (親子で発見・驚き農業じっけん 32).	現代農業 1990(7): 50-51.
土田 直	1944	甘藷の戦時型 増収栽培法.	農業世界 39(6): 2-
辻 千鶴	2017	サツマイモのつるでクリスマスリース作り. (田畑のもので楽しい・儲かる 農家のクリスマス飾り).	現代農業 2017(12): 308-309.
鶴田ほどり	1985	なぜか子どもに好評 さつまいも入り団子汁. (季節の体にあわせた料理術 おせちの合間に生きるさわやか料理).	現代農業 1985(1): 71.
築山正義	1952	甘藷栽培法の研究.	農業世界 47(7): 104-105.
内田茉莉・峠田 等	2015	サツマイモは, 竹をかぶせるだけ定植で収量アップ.	現代農業 2015(5): 37.
内田のり子	2014	生で, 焼きイモで, サツマイモを周年販売 つらさげイモと貯蔵イモ. (特集:貯蔵・保存のワザ拝見, 貯蔵でずらし販売).	現代農業 2014(12): 58-63.
上原 守	1944	果樹園跡地の甘藷栽培.	農業世界 39(4): 14-
上松次夫	1963	サツマイモ・ジャガイモの優良新品種.	農業世界 58(5): 96-
鶴川喜久雄	1919	甘藷多収穫栽培法.	農業世界 14(8): 30-
鶴 恭平	1944	日本一の甘藷供出村.	農業世界 39(3): 30-
梅景忠夫	2021	小さい畑に サツマイモのつる上伸栽培.	現代農業 2021(5): 273-274.
梅村芳樹	1988	サツマイモの素性調べ.	現代農業 1988(10): 184-185.
梅村芳樹	1988	生食用, 加工食品用サツマイモ 挿苗時の葉っぱ4枚を生かして反収4tどりの秘訣. (基本食糧(米, 穀物, イモ)減農薬増収の施肥改善).	現代農業 1988(10): 184-187.
梅村芳樹(撮影)	1988	えっこれがみーんなサツマイモ!	現代農業 1988(11): 9-11.
梅村芳樹	1988	サツマイモの可能性は無限大! (特集:食べもの加工で輸入農産物をはね返すーここまでやれる地域農産物の徹底利用).	現代農業 1988(11): 66-73.
梅村芳樹	1989	サツマイモ 甘さ, 栄養, 色 個性派品種ズバリ公開! (国産, 地場産時代を拓く 麦, 豆, いも, そば品種情報).	現代農業 1989(2): 110-113.
梅村芳樹	1989	在来品種はヤセ地・少肥でこそ実力を発揮する! (個性派サツマイモを作りこなす(上)).	現代農業 1989(7): 234-235.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
梅村芳樹	1989	無チツソ・無農薬 ゆったり育てて個性で勝負！（個性派サツマイモを作りこなす（中））.	現代農業 1989(8): 202-203.
梅村芳樹	1989	季節感生かした品種組合せの直売で！（個性派サツマイモを作りこなす（下））.	現代農業 1989(9): 200-203.
梅村芳樹	1998	個性派ジャガイモ, サツマイモ 料理法つきだとガンガン売れるぞ. (特集:農家の店, 農家の加工品がキラリ光るこの品種・品目 農家の6次産業化で生きてくるもの).	現代農業 1998(2): 94-96.
海野敬人	2014	サツマイモ 干しイモ農家のキュアリング. (特集:貯蔵・保存のワザ拝見, イモを上手に保存したい).	現代農業 2014(12): 74-75.
渡辺一郎	1955	甘藷早掘りの問題点.	農業世界 50(6): 119-
渡邊智子	2014	納得の大学イモができた. (菜園修業中, 加工もフル回転！10).	現代農業 2014(10): 344-347.
渡邊誠三	1936	短蔓甘藷二種の栽培.	農業世界 31(11): 132-
渡邊誠三・小田川賢司・船串 武・穴澤松五郎・島田治一・宮内元治・石毛榮一・崎山喜三郎	1942	甘藷多収穫の秘訣を訊く(現地座談會).	農業世界 37(4): 16-
渡邊誠三・他	1950	早掘り千貫を狙うサツマイモ栽培.	農耕と園芸 5(4): 14-16.
山田英次	1990	みんなでIMO作戦プランを.	いも類振興情報 23: 24-26.
山田英次	2019	さいたま市見沼グリーンセンターの紅赤栽培試験事業 ～IT農業やサツマイモ栽培のグローバルGAP取得などの取組	いも類振興情報 139: 60-62.
山口至一	1953	これからの芋作りはこういう点を考えたい.	農業技術研究 7(6): 28-31.
山口至一	1955	甘藷の品種と育苗のねらい.	農芸 8(3): ???
山口至一	1955	甘藷の植付け (1).	農芸 8(5): ???
山口尚夫	1956	作物 ムギ, サツマイモ, ナタネ, オカボ, 苗代の管理.	農村文化 35(5): 76-77.
山口尚夫	1956	作物 サツマイモ, オカボの手入れ イナ作整地から田植までの手入れ.	農村文化 35(6): 66-67.
山川 理	1992	サツマイモ 青果用, 加工食品用にユニーク品種続々登場.	現代農業 1992(2): 104-107.
山川 理	1996	夢のひろがるサツマイモ品種.	現代農業 1996(12): 240-260.
山本嘉兵衛	1948	甘藷苗の育て方はこれでやろう.	菜園 9: 32-
山下純夫	1953	甘藷九州一三号の栽培研究.	農業世界 48(3): 118-
山崎兵四郎	1927	『さつまいも』の利用法.	農業世界 22(13): 68-
山崎正枝	1962	実験教室 サツマイモの育ち方から栽培法の改善点の検討.	農業世界 57(11): 164-
山崎正枝	1966	畑作=サツマイモ栽培改善研究.	農業世界 61(6): 210-
山崎正枝	1967	畑作=サツマイモ畑の耕法と施肥位置.	農業世界 62(6): 211-
山崎正枝	1967	実験教室 サツマイモの地下みぞ貯蔵の温度調節.	農業世界 62(11): 150-
矢野哲男	2002	ジャガイモ, サツマイモ. 作ってみたい, 食べてみたい 新品種・在来品種. (作ってみよう 人気急上昇の野菜).	現代農業 2002(2): 114-118.
安田知義	2019	焼成ガラス・貝殻資材でサツマイモが太った.	現代農業 2019(10): 125.

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
依田賢吾	2005	冷めても固くならないサトイモ・サツマイモ入りもち.	現代農業 2005(1): 43.
ヨシダケン(イラスト・文)	2009	米ドブロックにひけをとらないサツマイモドブロック. (ドブロック宣言 1).	現代農業 2009(1): 32-33.
古田久仁子	2018	こちら6次化調査隊 サツマイモの素材を活かしてるぜ!	農耕と園芸 73(5): 104-106.
よしだ種苗	1991	ツクバコマチ. (バイテクが生んだ新品種, バイテクの畜産利用).	現代農業 1991(2): 222.
吉田嘉秋	1924	甘藷苗賣買上の注意.	農業世界 19(8): 30-
吉原亀太郎	1900	甘藷貯蔵一法.	農業世界 2(7): 135.
吉川和敏	2018	サツマイモ 密植+舟底植えのSサイズが直売所で人気. (野菜の密播・密植サイズ・スピード自由自在).	現代農業 2018(4): 96-97.
吉永 優	2004	サラダに, パンに, 花壇用に, ユニークなサツマイモ.	現代農業 2004(2): 76-79.
吉永 優	2012	写真図解 よくわかるサツマイモの品種. (特集:みんな大好き! イモ品種大全, 焼きイモ干しイモ大流行! サツマイモ).	現代農業 2012(2): 90-91.
吉永 優	2014	サツマイモの入手方法.	いも類振興情報 118: 48.
吉岡千夜	2021	サツマイモの安定生産と販売への歩み.	農家の友 73(2): 34-37.
吉野 実	1965	口絵説明 サツマイモの裂かひの原因と対策.	農業世界 60(4): 192-
湯浅初太郎	1900	下總甘藷栽培調査.	農業世界 2(10): 192-195.
湯浅初太郎	1900	下總甘藷栽培調査.	農業世界 2(11): 211-213.
—	1917	甘藷.	農業世界 12(15): 117-
—	1923	甘藷增收法=老農の實驗談.	農業世界 18(15): 99-
—	1950	甘藷主餌養鶏の飼料配合.	農業世界 45(6): 104-
—	1950	甘藷蔓の貯蔵方法について.	農村 28(10): 24-25.
—	1951	甘藷の增收特殊栽培.	農業世界 46(3): 44-47.
—	1952	早掘りサツマの有利な賣り方.	農村文化 31(7): 17.
—	1957	サツマイモの直播栽培法.	農業世界 52(4): 130-
—	1957	サツマイモの肥大に及ぼす地温と高温障害.	農業世界 52(7): 179-
—	1958	サツマイモ直播栽培の適地と不適地.	農業世界 53(2): 153-
—	1958	実用技術 サツマイモの二期作で反収十 万円 (静岡県大須賀町大淵).	農業日本 13(10): 110-112.
—	1959	サツマイモ収量に対する土壤粗密度の 重要性.	農業世界 54(2): 145-
—	1959	イモ類の育苗改善と栽培計画.	農業世界 54(3): 185-
—	1960	農芸相談[新設の職業訓練所に入所する には・ジャガイモの長期貯蔵・農薬混合 の新肥料・サイレージ添加剤ダイアグリ ン・サツマイモを豚の飼料にする].	農業世界 55(9): 196-
—	1961	水稻早期苗代の床面と水位・サツマイモ 早掘り栽培の苗植法・イタリアンライグラス の增收法.	農業世界 56(8): 144-
—	1967	農芸相談(サツマイモの新しい掘取機・フ キの促成栽培の要点・新開田に多い赤 枯病の防除法・新しい名称登録に内定し た種苗・その他).	農業世界 62(10): 166-

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
—	1995	(Tさんの手紙) 今までクズ芋しかとれなかった畑なのに、石灰追肥で紅色のきれいなサツマイモ。(土には過剰といわれるけれど、じつは足りない石灰とカリ).	現代農業 1995(10): 242-243.
—	2008	高い技術で引き出すサツマイモの魅力で加賀野菜ブランドをけん引ー石川県金沢市JA金沢市五郎島さつまいも部会.	農耕と園芸 63(11): 83-88.
—	2012	サツマイモ→冷凍焼きいも ニーズをつかむために作る 鹿児島県曾於市 吉川農園 吉川和敏さん。(特集 オレたちが加工に挑戦する理由)	地上 66(10): 25-28.
—	2012	焼きイモ干しイモ大流行！サツマイモ。しっとり系、ホクホク系、葉や葉柄を食べるのに向いたサツマイモ品種。(特集:みんな大好き！イモ品種大全).	現代農業 2012(2): 92-93.
—	2013	ダイコンとサツマイモのウネ連続利用栽培の方法。(特集:ウネ立て名人になる!).	現代農業 2013(4): 71.
—	2013	につぼんの食材紀行 宮崎県都城市庄内町 黄金千貫が芋焼酎の逸品『黒霧島』になるまで。(特集 甘藷 さつまいも)	食生活 107(11): 6-11.
—	2017	ジャガイモ、カボチャ、サツマイモ、イチゴ野菜で作る絶品・手作りアイス 新潟県三条市・高橋芙蓉子さん。(すぐに作れて、すごくおいしい 手作りアイス&シャーベット)	現代農業 2017: 296-301.
—	2018	JA YOUTHのページ 現場発! 盟You伝 愛知県 JA愛知西青年部 マンネリ化とは無縁で活動継続 サツマイモを地域との架け橋に.	地上 (Good earth) 72(2): 56-58.
—	2019	農研機構 サツマイモとクリの新品種マッチングフェアレポート.	農耕と園芸 74(2): 64-66.
—	2021	サツマイモ基腐病菌の新しい検出・同定技術を開発:リアルタイムPCRにより迅速かつ正確な診断が可能に. 農研機構.	自然と農業 103: 37-40.
—	2021	北海道でも基腐病感染を確認: サツマイモ基腐病の感染拡大を防ぐ.	週刊農林 (2459):2021.9.25 p.11.
—	2021	サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策.(上手な土壌病害虫対策情報)	技術と普及 58(7): 44-45.

560 その他

雑草防除・輸送等

香月みなみ・岩崎浩一・末吉武志	2014	環境保全型雑草抑制技術の開発ー焼酎廃液による雑草抑制効果および作物への影響ー.	農業食料工学会九州支部誌 63: 1-5.
兒玉敏夫	1950	サツマイモとバレイショ.	農及園 (別冊): 46-48.
小中伸夫	1978	サツマイモに対するコリンの効果と利用.	雑草とその防除 15: 54-56.
栗田悦二	1961	除草剤によるサツマイモ雑草防除に関する試験.	茨城県病害虫研究会報 1: 15-16.
中澤芳則	2004	最近の九州におけるいも作の研究及び技術の変遷.(九州農業研究の歩みと展望: 過去20年間の総括)(50周年記念号)	日作九州支報 70: 169-173.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
山田 盾・八尋 健・生駒 泰基	1989	過剰肥沃度, 線虫のクリーニング・クロープとしての甘藷.	いも類振興情報 18: 15-19.